

平成30年度

主要施策の成果



©青山剛昌／小学館

目 次

○ 一般会計

議会事務局、監査委員事務局	1	農業委員会	49
総務課	4	産業振興課	52
企画財政課	15	観光交流課	68
税務課	20	地域整備課	72
住民生活課	22	教育総務課	75
福祉課	32	生涯学習課	89
健康推進課	41		

○ 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計	107	栄財産区特別会計	119
介護保険事業特別会計	109	合併処理浄化槽事業特別会計	120
住宅新築資金等貸付事業特別会計	114	大栄歴史文化学習館特別会計	121
下水道事業特別会計	115	後期高齢者医療事業特別会計	123
農業集落排水事業特別会計	117	水道事業会計	124
風力発電事業特別会計	118		

○ 資料編

平成30年度各会計別決算状況	127
平成30年度普通会計決算状況	135
財政状況・財政指標の推移	139
財政健全化判断比率	143
地方債の状況(目的別)	144

※表紙写真

上段左／地元の食材を使用した「サプライズ給食」

上段右／由良宿団地建替工事(第2期) 完成

下段左／エアコン整備事業(中学校) 完成

下段右／「青山剛昌ふるさと館」入館者100万人 達成

款	1 議会費	項	1 議会費	予算現額	決算額
		目	1 議会費	100,875千円	100,170千円

①議員経費事業 2,864千円

(1) 本会議の開催状況

区分	平成30年						平成31年		
	第3回 臨時会	第4回 臨時会	第5回 定例会	第6回 定例会	第7回 臨時会	第8回 定例会	第1回 臨時会	第2回 定例会	
招集日	4/19	5/18	6/19	9/6	10/17	12/7	2/4	3/5	
会期	1	1	14	16	1	14	1	16	
会議日数	1	1	5	6	1	5	1	6	
議案	町長提出	7	4	15	25	6	21	5	38
	委員会提出			3	3	0	0		3
	議員提出			0	0	0	1		0
一般質問	—	—	13人	8人	—	13人	—	9人	
	—	—	21問	15問	—	24問	—	21問	
傍聴者数	0	0	18	8	0	29	1	14	

(2) 委員会、全員協議会の開催状況

区分	全員協議会	議会運営委員会	広報広聴常任委員会	総務教育常任委員会	民生経済常任委員会
会議日数	14	12	23	4	6

区分	特別委員会	
	道の駅整備	北条川放水路
会議日数	3	1

(3) 請願・陳情状況

区分	受理件数	審査件数	その他
請願	4	5	0
陳情	12	11	0

(4) 意見書提出状況

提出件数 5件

(5) 調査研究活動及び議員研修旅費 1,573千円

【議員先進地視察調査研究】

○総務教育常任委員会

- 10/10～11 ・島根県浜田市役所
(シングルペアレント移住定住支援事業と子育て支援施策の概要および成果について)
- ・島根県邑南町役場
(日本一の子育て村構想について)



○民生経済常任委員会

- 10/10～12 ・島根県出雲市
道の駅 キララ多伎
- ・山口県萩市
道の駅 萩しーまーと
(目的地となる道の駅のありかたについて)
- ・島根県雲南市役所
(地域自主組織による課題解決型の住民自治について)



(先進地視察調査)

【議員研修】

- ・町村議会議長・副議長研修会(東京都中野区 中野サンプラザホール) 【議長・副議長】
- ・新議員・新任議会事務局長・職員研修会(倉吉市) 【議員3人】
- ・町村議会広報クリニック(東京都) 【広報委員】
- ・町村議会議員特別セミナー(滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所) 【議員3人】
- ・鳥取県町村議会広報研修会(三朝町) 【広報委員】
- ・鳥取県町村議会議員研修会(三朝町) 【全議員】
- ・中部町議会議員研修(湯梨浜町 水明荘) 【全議員】
- ・北栄町議会議員研修(北栄町 北栄町役場) 【全議員】



(6) 議長交際費 236千円

議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に要した経費
慶弔費等 25件

(議員研修)

(7) 議会報告会(議会出前座談会)開催状況

6回 (比山、岩坪、西穂波、由良宿2区、由良宿1区、大島)



(8) 高校生議会

鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会13人の高校生が
参加し、一般質問(19問)を実施。
議長(1名)・高校生議員(16名)

(議会出前座談会)

(9) 議会だより発行事業 1,005千円

議会の情報公開を図った。

発行回数 年4回 発行部数 5,400部

【成果】 議会だよりを発行し、情報公開、情報発信を積極的に行った。
議会報告会を開催し、町民との意見交換の場を設け、町民参加を
推進した。また、先進地への調査研究や議員研修に参加する
ことで、自己研さんと資質の向上を図り、適正で効率的な町政運営の確保に努めた。
高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうよう努めた。

②事務局経費事業 5,434千円

- ・会議録調製並びに検索システム委託 3,224千円
- 定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開した。

【成果】 議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。

(議長交際費の公開、会議結果の公表、視察報告等)

③議会関係負担金事業 1,873千円

- ・県議長会負担金 1,715千円
- ・中部議長会負担金 158千円



(高校生議会)

款	2 総務費	項	6 監査委員費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 監査委員費	1,307千円	1,292千円

①監査委員事業 1,292千円

- (1) 監査委員 2人
- ・識見監査委員(代表監査委員)
 - ・議会選出監査委員



(現金実査)

(2) 活動状況

- 検査
- ・例月現金出納検査 12回(毎月1回)
 - ・現金及び現金等価物実査 (年1回)



(定期監査 調書の聞き取り)

- 監査
- ・定期監査 (年2回)
- 5月
- ・補助金状況について
 - ・遊具安全点検について(レークサイド大栄を現地点検)
 - ・現地視察(旧北条庁舎基礎改修工事現場、由良宿団地立替工事現場(第2期))

- 11月
- ・工事状況について
 - ・委託状況について
 - ・遊具安全点検について
 - ・現地視察(災害用備蓄倉庫)

- 審査
- ・決算審査 (12会計)
 - ・基金の運用状況審査 (16件)
 - ・普通会計の財政健全化審査 (11件)
 - ・公営企業会計の経営健全化審査 (1件)



(定期監査 現地点検)

- 各種研修会
- ・鳥取県町村監査委員研修会(湯梨浜町 水明荘)
 - ・中部町村監査委員協議会研修会 (湯梨浜町 水明荘)
 - ・自治体の内部統制と監査機能研修(滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所)

【成果】 年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営確保のため、計画的に監査を実施した。監査結果は講評や町長報告によりフィードバックを行ったほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																												
		目	1 一般管理費	699,573千円	681,464千円																												
<p>①一般管理事業 90,821 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員研修関係 3,003 千円 団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独で財政研修等を実施した。 (研修参加の状況) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央研修</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>実務研修(県外)</td> <td>5人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>県自治研修</td> <td>64人</td> <td>47人</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>町単独研修</td> <td>1,106人</td> <td>1,302人</td> <td>649人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 町長交際費 1,129 千円 (交際費の支出件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出件数</td> <td>92件</td> <td>123件</td> <td>122件</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28年度	H29年度	H30年度	中央研修	3人	6人	7人	実務研修(県外)	5人	2人	3人	県自治研修	64人	47人	49人	町単独研修	1,106人	1,302人	649人	年度	H28年度	H29年度	H30年度	支出件数	92件	123件	122件
年度	H28年度	H29年度	H30年度																														
中央研修	3人	6人	7人																														
実務研修(県外)	5人	2人	3人																														
県自治研修	64人	47人	49人																														
町単独研修	1,106人	1,302人	649人																														
年度	H28年度	H29年度	H30年度																														
支出件数	92件	123件	122件																														
<p>【成果】 職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行った。</p>																																	
<p>②電算処理委託事業 60,982 千円</p> <p>事務の効率化を目的に整備した公会計、住基、税務、上下水道、介護保険、給与、農業行政、国民健康保険、保育料、特別医療、後期高齢、選挙、町営住宅などのシステムを維持管理した。</p> <p>システム運用委託: (株)鳥取県情報センター</p>																																	
<p>【成果】 各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。</p>																																	
<p>③一般管理関係負担金事業 2,815 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 県、中部町村会負担金 2,752 千円 行政不服審査会共同設置負担金 24 千円 																																	
<p>【成果】 各種団体等への負担を行い、事務運営等の効率化を図った。</p>																																	
<p>④事務用品一括購入事業 2,236 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務用品等消耗品費 2,236 千円 																																	
<p>【成果】 事務用品等を一括購入することで経費節減を行った。</p>																																	
<p>⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業 23,892 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理費(一般管理費、議会費、監査委員費等) 21,134 千円 休日急患診療所及び病院群輪番制病院運営費 2,758 千円 																																	
<p>【成果】 負担により、休日急患診療所等の運営を行った。</p>																																	
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																												
		目	3 会計管理費	110千円	96千円																												
<p>①会計管理事業 96 千円</p> <p>銀行オンラインシステム回線使用料、事務用品の購入に要した経費</p>																																	

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	4 財産管理費	299,261千円	267,612千円
		①町有財産管理事業		23,088 千円	
		・町有建物災害共済保険料		6,351 千円	
		・町有施設電気設備保安委託料		3,910 千円	
		・緑ヶ丘地区法面对策工事等		7,372 千円(令和元年度繰越あり)	
		②大栄庁舎管理事業		29,077 千円	
		大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。			
		・修繕費(照明等修繕)		1,751 千円	
		・委託料(清掃、冷暖房機保守、植木管理など)		5,542 千円	
		・庁舎3階トイレ洋式化工事		1,490 千円	
		・内装クロス張替工事		594 千円	
		・階段室アルミサッシ改修工事		7,487 千円	
		・音声誘導システム設置工事		907 千円	
		・備品購入費(事務イス、紙折り機など)		1,630 千円	
		【成果】 管理・修繕を行い、業務の円滑な推進に寄与した。			
		③公用車管理事業		8,625 千円	
		(大栄庁舎集中管理車両)		(単位:台)	
		区 分	H28年度	H29年度	H30年度
		乗合自動車(マイクロバス)	1台	1台	1台
		普通乗用自動車	2台	3台	3台
		軽自動車	8台	11台	11台
		【成果】 適切な管理を行うことにより、安全かつ円滑に運営することができた。			
		④コナン駅前広場等管理事業		1,378 千円	
		コナン駅前広場及び旧鳥取県運転免許試験場の維持管理を実施。主な経費は次のとおり。			
		・光熱水費	593 千円	・修繕費(建物・設備)	154 千円
		・清掃委託料	627 千円		
		⑤防災行政無線維持管理事業		12,746 千円	
		防災行政無線の維持管理等を行った。主な経費は次のとおり。			
		・防災行政無線保守点検業務委託料	4,691 千円		
		・複数親局制御装置更新	5,940 千円		
		【成果】 防災行政無線設備を維持管理することにより、情報伝達手段の確保を図った。			
		⑥天神いこいの広場管理事業		738 千円	
		天神いこいの広場の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。			
		・光熱水費	132 千円		
		・修繕費(遊具修繕等)	231 千円		
		・維持管理委託料(みどり2区)、トイレ清掃委託料	368 千円		
		⑦天神桜つつみ管理事業		320 千円	
		天神桜つつみ(2か所)の維持管理を行った。主な経費は次のとおり。			
		・維持管理委託料(江北/東新田場)	320 千円		

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	5 北条庁舎管理費	67,433千円	66,587千円

①北条庁舎管理事業 66,587 千円(現年+繰越)

旧北条庁舎の維持管理の警備、事務等に必要な経費を支払った。また、庁舎の耐震工事を実施し、町の第2防災拠点としての施設整備を行った。

- 一般管理費 13,434 千円
 - ・光熱水費 5,254 千円
 - ・修繕費(空調機設置等) 2,141 千円
 - ・工事請負費(漏水防止、車庫外壁改修等) 4,360 千円
- 庁舎耐震工事(繰越) 53,153 千円

【成果】 管理・修繕を行い、業務の円滑な推進に寄与することができた。また庁舎統合後の施設を”防災の拠点”及び文化財保管倉庫として用いるための整備を進めた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	6 北条支所管理費	20,353千円	9,499千円

①北条支所管理事業 6,425 千円

北条支所として総合窓口業務を行うとともに北条健康福祉センターの維持管理を行った。

- ・施設修繕等工事費 2,723 千円
(男子トイレ洋式化、視覚障がい者音声誘導システム設置、地下ピット吊金取替等)
(窓口取扱件数の状況)

年度	H28年度	H29年度	H30年度
窓口取扱数	17,410件	15,473件	13,467件
うち現金取扱数	7,620件	5,981件	5,630件

(北条健康福祉センターの利用状況)

年度	H28年度	H29年度	H30年度
回数	232回	446回	445回
利用者	4,873人	7,571人	7,330人

②公用車管理事業 2,713 千円

(北条庁舎集中管理車両) (単位:台)

区分	H28年度	H29年度	H30年度
普通乗用自動車	1台	0台	0台
軽自動車	5台	2台	1台

【成果】 適切な管理を行うことにより、安全かつ円滑に運営した。

③北条地区振興事業 361 千円

平成29年度庁舎統合をきっかけに北条地区の賑わい創出を議題として毎月1回住民有志が集い、未来志向の発想で取り組みの方向性などを自由に語り合った。

(主な経費)

- ・印刷製本費(チラシ製作) 157 千円
- ・備品購入費(プロジェクター等) 130 千円

【成果】 「あつまらいや北条」により、住民が集い交流する場として11月に「第1回北条ふるさとまつり」を実施。賑わいの創出・住民交流の場を提供することができた。3月には「茶臼山桜まつり」を開催し、「北条」の地勢や歴史などをあらためて交流しながら知る機会を提供した。



にぎわった北条ふるさとまつり

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																				
		目	7 北条改善センター費	5,451千円	5,324千円																				
<p>①北条農村環境改善センター管理事業 5,324千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 2,258千円 ・施設修繕費(大研修室照明LED化等) 2,058千円 ・公衆無線LAN設備工事 182千円 <p>(センターの利用状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>171回</td> <td>262回</td> <td>233回</td> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>8,856人</td> <td>12,546人</td> <td>11,837人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 適切な維持管理により、多くの方の施設利用ができた。</p>						年度	H28年度	H29年度	H30年度	回数	171回	262回	233回	利用者	8,856人	12,546人	11,837人								
年度	H28年度	H29年度	H30年度																						
回数	171回	262回	233回																						
利用者	8,856人	12,546人	11,837人																						
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																				
		目	8 大栄改善センター費	3,146千円	2,845千円																				
<p>①大栄農村環境改善センター管理事業 2,845千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕費(ピアノ台車など) 708千円 ・非常階段手摺修繕工事 464千円 ・パーテーション設置工事 810千円 <p>(センターの利用状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>526回</td> <td>941回</td> <td>1,037回</td> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>15,882人</td> <td>19,231人</td> <td>19,959人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 適切な維持管理により、多くの方の施設利用ができた。</p>						年度	H28年度	H29年度	H30年度	回数	526回	941回	1,037回	利用者	15,882人	19,231人	19,959人								
年度	H28年度	H29年度	H30年度																						
回数	526回	941回	1,037回																						
利用者	15,882人	19,231人	19,959人																						
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																				
		目	10 自治会活動促進費	14,625千円	14,079千円																				
<p>①自治会総合交付金事業 14,079千円 ※風のまちづくり事業充当(1,025千円)</p> <p>(1)自治会運営交付金 12,162千円 自治組織の活性化を図るため、全63自治会に事務費等の補助を行った。</p> <p>(2)防犯灯維持管理交付金 892千円 61自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。</p> <p>(3)再生可能エネルギー交付金 1,025千円 63自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。</p> <p>【成果】 行政(町)と地域(自治会)との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。</p>																									
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																				
		目	11 交通安全対策費	5,342千円	4,849千円																				
<p>①交通安全対策事業 2,094千円</p> <p>交通指導員を配置し、街頭監視及び交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。</p> <p>(交通指導員等の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交通指導員数(定員22名)</td> <td>19人</td> <td>18人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>活動延人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>研修長時間指導</td> <td>42人</td> <td>40人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>啓発パトロール等</td> <td>351人</td> <td>362人</td> <td>344人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28年度	H29年度	H30年度	交通指導員数(定員22名)	19人	18人	20人	活動延人数				研修長時間指導	42人	40人	36人	啓発パトロール等	351人	362人	344人
年度	H28年度	H29年度	H30年度																						
交通指導員数(定員22名)	19人	18人	20人																						
活動延人数																									
研修長時間指導	42人	40人	36人																						
啓発パトロール等	351人	362人	344人																						

(交通死亡事故の状況)

年度	H28年度	H29年度	H30年度
交通事故死亡者数(町内発生)	1人	0人	0人
飲酒運転検挙者数(町民検挙)	1人	4人	4人

【成果】 全国交通安全運動期間の取り組みを中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施した。

②交通安全施設維持管理事業／交通安全施設整備事業 2,216 千円

カーブミラーの修繕、整備を行った。

(カーブミラー整備等の状況)

年度	H28年度	H29年度	H30年度
カーブミラー修繕	41基	33基	26基
カーブミラー設置	1基	1基	2基

【成果】 カーブミラーの新設・修繕により、町内の交通安全に寄与した。

③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業 217 千円

- ・交通安全協会倉吉地区協会負担金 6 千円
- ・交通安全協会北条支部活動費補助金 189 千円

【成果】 交通安全協会への負担金・補助金の交付により、高齢者宅訪問、街頭啓発、町内パレードなどの交通安全普及活動が実践された。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	84,770千円	35,906千円

①光ファイバーネットワーク施設管理事業 35,906 千円

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成、農業構造の改善を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。

(主な経費)

- ・光ファイバーネットワーク機器使用料、機器保守料 17,682 千円
- ・電柱共架料、自営柱用地借上料 6,655 千円
- ・伝送路修繕工事 993 千円
- ・伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事 8,070 千円
- ・備品購入(V-ONU 20個、D-ONU 25個、PSU 20個) 2,420 千円

(テレビ等の加入状況)

区分	H28年度	H29年度	H30年度
テレビ契約加入率	85.7%	86.8%	84.6%
インターネット契約加入率	32.1%	32.5%	33.3%

【成果】 光ファイバーネットワーク施設を維持管理することにより、安定した各種サービス提供を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	13 情報処理費	17,987千円	17,761千円

①情報処理事業 17,761 千円

機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理等を行った。

- ・行政情報システム保守委託 10,164 千円
- ・パソコンリース等経費 2,359 千円
- ・サーバ室設備工事(エアコン改修) 639 千円

【成果】 地域イントラネットの必要な機器を更新するなど、庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																																				
		目	14 防犯対策費	4,989千円	4,798千円																																				
<p>①防犯対策事業 4,798千円 ※風のまちづくり事業充当(3,348千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED化対策工事請負費 3,348千円 ・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金 80千円 (防犯灯整備等の状況) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公設防犯灯整備</td> <td>96灯</td> <td>35灯</td> <td>36灯</td> </tr> <tr> <td>うちLED化変更</td> <td>51灯</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>自治会整備補助</td> <td>10自治会</td> <td>15自治会</td> <td>4自治会</td> </tr> <tr> <td>防犯カメラ整備</td> <td>1台</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 公設防犯灯の新設・修繕等により、町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。</p>						年度	H28年度	H29年度	H30年度	公設防犯灯整備	96灯	35灯	36灯	うちLED化変更	51灯	-	-	自治会整備補助	10自治会	15自治会	4自治会	防犯カメラ整備	1台	-	-																
年度	H28年度	H29年度	H30年度																																						
公設防犯灯整備	96灯	35灯	36灯																																						
うちLED化変更	51灯	-	-																																						
自治会整備補助	10自治会	15自治会	4自治会																																						
防犯カメラ整備	1台	-	-																																						
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																																				
		目	15 諸費	925千円	906千円																																				
<p>①諸費事業 900千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉地区防犯協議会負担金 251千円 ・安全運転運行管理者協議会負担金 30千円 <p>②自衛隊募集事業 6千円</p> <p>自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動及び出身自衛官の慰問や新入隊員の激励を実施した。 (新入隊の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北栄町内</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28年度	H29年度	H30年度	北栄町内	4人	4人	0人																												
年度	H28年度	H29年度	H30年度																																						
北栄町内	4人	4人	0人																																						
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額																																				
		目	19 災害復興支援費	23,903千円	19,738千円																																				
<p>①一般管理事業 755千円(繰越)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北栄町震災記録誌作成(300部) 755千円 <p>②被災者住宅修繕支援金事業 3,930千円</p> <p>住家被害の程度が10%未満の被害に対し、損害割合に応じて支援金を支払い。 (支援状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>4%超</th> <th>3%超</th> <th>2%超</th> <th>1%超</th> <th>1%以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28年度</td> <td>834件</td> <td>258件</td> <td>77件</td> <td>42件</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>H29年度</td> <td>150件</td> <td>32件</td> <td>8件</td> <td>8件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>H30年度</td> <td>71件</td> <td>6件</td> <td>1件</td> <td>-</td> <td>11件</td> </tr> </tbody> </table> <p>③被災者住宅再建支援金事業 9,611千円</p> <p>住家被害の損害割合と再建方法に応じて、支援金を支払い。 (支援状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>半壊</td> <td>7件</td> <td>17件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>一部損壊(10%以上20%未満)</td> <td>96件</td> <td>321件</td> <td>30件</td> </tr> </tbody> </table>						区分	4%超	3%超	2%超	1%超	1%以下	H28年度	834件	258件	77件	42件	93件	H29年度	150件	32件	8件	8件	24件	H30年度	71件	6件	1件	-	11件	区分	H28年度	H29年度	H30年度	半壊	7件	17件	2件	一部損壊(10%以上20%未満)	96件	321件	30件
区分	4%超	3%超	2%超	1%超	1%以下																																				
H28年度	834件	258件	77件	42件	93件																																				
H29年度	150件	32件	8件	8件	24件																																				
H30年度	71件	6件	1件	-	11件																																				
区分	H28年度	H29年度	H30年度																																						
半壊	7件	17件	2件																																						
一部損壊(10%以上20%未満)	96件	321件	30件																																						

④被災者非住家復旧支援補助金事業 4,956 千円

被害にあった非住家を建替・購入や補修による復旧で、再建方法に応じて、補助金を支払い。
(補助状況)

区 分	H28年度	H29年度	H30年度
建替・購入	3 件	15 件	5 件
補修	57 件	157 件	11 件

⑤被災者建築物等撤去支援補助金事業 486 千円

被害にあった建物や構築物の撤去に対し、補助金を支払い。
(補助状況)

H28年度	H29年度	H30年度
33 件	76 件	7 件

【成果】 地震で被害を受けた家屋等の復旧や撤去等を支援することで、復旧への推進を図った。
本事業は平成30年10月末をもって終了。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 選挙管理委員会費	345千円	174千円

①選挙管理委員会事業 174 千円

選挙管理委員会の開催 6回開催

・委員会の主な内容

各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定
住民投票資格者名簿の作成、投票機会の確保対策と実施

【成果】 選挙人名簿の登録・管理を正確に行った。また、投票機会の確保対策を講じた。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 選挙啓発費	74千円	26千円

①選挙啓発事業 26 千円 (県明るい選挙推進負担金含む)

実施事業等

北栄町明るい選挙推進協議会の開催 平成31年2月15日開催

主権者教育に関する授業(選挙出前講座)の開催 平成30年11月22日開催

明るい選挙啓発ポスター募集事業 平成30年5月～9月募集(応募者0人)

鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金 4千円

【成果】 選挙権年齢の引下げ(満18歳以上)を踏まえ、町内の高校で主権者教育に関する授業(選挙出前講座や模擬投票)を実施し、明るい選挙の推進を行った。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 鳥取県知事・議会議員選挙費	6,362千円	4,104千円

①鳥取県知事・議会議員選挙事業 4,104 千円

投票日 平成31年4月7日 投票率 知事 60.75% 県議会 60.42%

【成果】 鳥取県知事等選挙の管理執行を正確に行った。また、投票機会の確保対策を講じた。

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																																																																																		
		目	10 大倉土地改良区総代選挙費	44千円	43千円																																																																																		
<p>①大倉土地改良区総代選挙費 43 千円 無投票（投票予定日：平成30年12月11日）</p> <p>【成果】 大倉土地改良区総代選挙の管理執行を正確に行った。</p>																																																																																							
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																																																																																		
		目	11 大栄町土地改良区総代選挙費	44千円	43千円																																																																																		
<p>①大栄町土地改良区総代選挙費 43 千円 無投票（投票予定日：平成30年12月12日）</p> <p>【成果】 大栄町土地改良区総代選挙の管理執行を正確に行った。</p>																																																																																							
款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額																																																																																		
		目	1 常備消防費	199,425千円	198,084千円																																																																																		
<p>①中部ふるさと広域連合負担金(消防)事業 198,084 千円 常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。 (火災発生件数等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">火災発生</td> <td>北栄町内</td> <td>1件</td> <td>12件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>広域連合内</td> <td>32件</td> <td>31件</td> <td>28件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">救急出動</td> <td>北栄町内</td> <td>588件</td> <td>600件</td> <td>568件</td> </tr> <tr> <td>広域連合内</td> <td>4,869件</td> <td>4,871件</td> <td>4,808件</td> </tr> </tbody> </table>						区 分		H28年度	H29年度	H30年度	火災発生	北栄町内	1件	12件	2件	広域連合内	32件	31件	28件	救急出動	北栄町内	588件	600件	568件	広域連合内	4,869件	4,871件	4,808件																																																											
区 分		H28年度	H29年度	H30年度																																																																																			
火災発生	北栄町内	1件	12件	2件																																																																																			
	広域連合内	32件	31件	28件																																																																																			
救急出動	北栄町内	588件	600件	568件																																																																																			
	広域連合内	4,869件	4,871件	4,808件																																																																																			
款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額																																																																																		
		目	2 非常備消防費	17,770千円	16,340千円																																																																																		
<p>①消防団活動事業 13,155 千円 町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。 (町消防団の状況) (人数は年度末)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体制</td> <td>1本部・5分団</td> <td>1本部・5分団</td> <td>1本部・5分団</td> </tr> <tr> <td>実数/定員</td> <td>102人/110人</td> <td>101人/110人</td> <td>98人/110人</td> </tr> <tr> <td>うち女性団員数</td> <td>4人</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(町消防団の出動等の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">H28年度</th> <th colspan="2">H29年度</th> <th colspan="2">H30年度</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>延人数</th> <th>件数</th> <th>延人数</th> <th>件数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">出 動</td> <td>火 災</td> <td>1件</td> <td>0人</td> <td>12件</td> <td>311人</td> <td>2件</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>非火災</td> <td>3件</td> <td>71人</td> <td>7件</td> <td>135人</td> <td>1件</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>捜 索</td> <td>0件</td> <td>0人</td> <td>0件</td> <td>0人</td> <td>0件</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>警 戒</td> <td>2件</td> <td>82人</td> <td>4件</td> <td>87人</td> <td>5件</td> <td>203人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">操法水防訓練等</td> <td>18件</td> <td>659人</td> <td>24件</td> <td>711人</td> <td>24件</td> <td>790人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">会議・研修等</td> <td>33件</td> <td>198人</td> <td>34件</td> <td>174人</td> <td>29件</td> <td>156人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">火災予防広報等</td> <td>41件</td> <td>362人</td> <td>40件</td> <td>375人</td> <td>44件</td> <td>390人</td> </tr> </tbody> </table>						年 度	H28年度	H29年度	H30年度	体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団	実数/定員	102人/110人	101人/110人	98人/110人	うち女性団員数	4人	4人	4人	区分	H28年度		H29年度		H30年度		件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	出 動	火 災	1件	0人	12件	311人	2件	63人	非火災	3件	71人	7件	135人	1件	22人	捜 索	0件	0人	0件	0人	0件	0人	警 戒	2件	82人	4件	87人	5件	203人	操法水防訓練等		18件	659人	24件	711人	24件	790人	会議・研修等		33件	198人	34件	174人	29件	156人	火災予防広報等		41件	362人	40件	375人	44件	390人
年 度	H28年度	H29年度	H30年度																																																																																				
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団																																																																																				
実数/定員	102人/110人	101人/110人	98人/110人																																																																																				
うち女性団員数	4人	4人	4人																																																																																				
区分	H28年度		H29年度		H30年度																																																																																		
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数																																																																																	
出 動	火 災	1件	0人	12件	311人	2件	63人																																																																																
	非火災	3件	71人	7件	135人	1件	22人																																																																																
	捜 索	0件	0人	0件	0人	0件	0人																																																																																
	警 戒	2件	82人	4件	87人	5件	203人																																																																																
操法水防訓練等		18件	659人	24件	711人	24件	790人																																																																																
会議・研修等		33件	198人	34件	174人	29件	156人																																																																																
火災予防広報等		41件	362人	40件	375人	44件	390人																																																																																

(消防ポンプ操法大会の状況)

大会名等		H28年度		H29年度		H30年度	
町操法大会	優勝	第4分団Aチーム		第4分団Aチーム		第4分団Aチーム	
	2位	第4分団Bチーム		第3分団Aチーム		第3分団Aチーム	
	3位	第3分団Aチーム		第4分団Bチーム		第3分団Bチーム	
郡操法大会	出場	第4分団	第3分団	第4分団	第3分団	第4分団	第3分団
	順位	優勝	7位	優勝	5位	優勝	4位
県操法大会	出場	第4分団		第4分団		第4分団	
	順位	優勝		6位		2位	

【成果】 火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練などの訓練活動や、女性消防団員などによる防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

②消防関係負担事業 3,185 千円

- ・県、郡消防協会負担金 344 千円
- ・鳥取県町村消防災害補償組合負担金 407 千円
- ・消防団員退職報奨金掛金負担金 2,112 千円

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	3 消防施設費	7,572千円	7,425千円

①消防施設設置事業 7,425 千円

自治会にある消火栓等消防水利の維持や確保を図るとともに、消防設備の改修等を行った。
(消火栓修繕等の状況)

区分	H28年度	H29年度	H30年度
消火栓修繕	7か所	7か所	9か所
消火栓新設	2か所	-	-
その他	消防車庫整備	防火水槽整備1	-

【成果】 消火栓等の維持管理を行い、火災予防・消防団活動の安全確保を行った。

款	8 消防費	項	1 消防費	予算現額	決算額
		目	4 災害対策費	41,538千円	31,144千円

①災害対策事業 6,069 千円

(防災訓練等の状況)

区分		H28年度	H29年度	H30年度
防災会議	開催日	H29.3.8		H31.3.19
	内容	県中部地震の検証		計画の見直し等
防災訓練	開催日	H29.9.3		H30.9.2
	主会場	鳥取県中部地震のため中止		大栄小学校
	想定	地震		水害
防災士 資格取得	町職員	10人	2人	1人
	一般	-	4人	3人

(警報等による町の警戒等体制の配備状況)

区分	H28年度	H29年度	H30年度
警戒体制配備	大雨等5、大雪3	大雨等4	大雨等4
非常体制配備	地震1	-	大雨等1
避難所開設	地震1	大雨等2	大雨等3
避難勧告・指示	-	-	勧告1

【成果】 防災士養成、備蓄品の整備等により防災体制の充実を図った。防災士養成は目標(12人)に届かなかった。



平成31年3月完成防災マップ

防災訓練で県担当者から「水害・土砂災害」の説明を受ける参加者

②自主防災組織育成事業 4,978 千円

自主防災組織、自衛消防団の運営及び訓練や資機材購入に対して、交付金等を支給した。
(自主防災組織等の状況)

区 分		H28年度	H29年度	H30年度
自主防災	組織設置数	46組織	46組織	47組織
	訓練活動数	39組織	42組織	35組織
	資機材整備数	5組織	4組織	9組織
自衛消防	自衛消防団(隊)数	50団、5隊	50団、4隊	50団、4隊
	消防器具整備数	35組織	39組織	38組織

【成果】 育成事業の周知等により、組織数の増加、資機材の装備につながった。自主防災組織の設置について、自治会長会等で説明等を行ったが、1組織増にとどまった。

③緊急防災・減災事業 2,276 千円

・全国瞬時警報システム(J-アラート)新型受信機更新 2,276 千円
(告知機の設置状況)

区 分	H28年度末	H29年度末	H30年度末
一般家庭	4,857個	4,871個	4,898個
企業等	57個	57個	59個
自治会・公共施設	136個	136個	136個

④空き家対策事業／老朽危険空き家等除却支援事業 13,456 千円

・空き家審議会の開催 3回
(空き家除却費助成等の状況)

区 分		H28年度	H29年度	H30年度
老朽危険空き家	件数	8件	4件	9件
	除却費助成金額	7,674千円	5,670千円	8,937千円
空き家把握数(年度末)		-	283件	313件

【成果】 老朽危険空き家の撤去に対し、費用の一部を補助することで、所有者の負担軽減を図り、地域住民の安心・安全に寄与した。

⑤自治会除雪活動支援事業 381 千円

(除雪等補助の状況)

区 分		H29年度	H30年度
除雪経費補助	自治会数	13自治会	-
	金額	301千円	-
除雪機購入補助	自治会数	-	2自治会
	金額	-	381千円

【成果】 除雪機購入支援により、積雪時における自治会内生活道路の通行環境の改善を図った。

⑥被災者住宅再建支援基金積立事業 1,270 千円

指定自然災害により住宅に著しい被害を受けた世帯へ給付金を支給するため、県及び県内市町村が相互扶助の観点から基金に拠出するもの。

H30拠出額 1,270 千円(世帯数等指標に基づき、H30年度～10年間拠出)

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	1 一般管理費	699,573千円	681,464千円

①ふるさと北栄基金事業 193,072千円

頂戴した寄附金を次年度の財源とするため基金への積み立てを行った。

年度	H28	H29	H30
基金残高(千円)	365,644	167,470 (354,855)	109,816 (193,072)

()内は、寄附金額

※平成29年度から、寄附金から経費(返礼品など)を差し引いた額を積み立てた。

【成果】 返礼品を充実させ新たなポータルサイトの開設を行ったが、返礼率を3割以下に見直したため前年より寄附金は減少した。事務費を差し引いた額を積み立て次年度の財源とすることができた。

②行政改革事業 28,212千円

行政改革の取り組み

行政改革の取組を進めるため、以下の事業を行った。

- ・支所窓口業務の民間委託を継続し、新たに大栄庁舎窓口業務、庶務業務を民間委託した。

【成果】 民間委託範囲を拡充したことで、窓口サービスのワンストップ化による住民の利便性の向上と職員の負担軽減及び職員が行う事務の質の向上を図ることができた。

③統一的な基準による地方公会計整備事業2,916千円

平成29年度決算に係る財務書類の作成支援業務を委託した。

【成果】 統一的な基準による平成29年度決算財務書類を作成して明らかになった財務情報を公表することにより、従来の現金主義会計による決算を補完することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	2 広報費	4,940千円	4,831千円

①広報事業 4,831千円

- ・町報印刷 3,696千円

「広報 北栄」を発行し、行政情報の提供、町の動きの紹介等を行い住民と行政の一体化を図った。

年度	H28	H29	H30
延べページ数	246ページ	244ページ	248ページ
ページ単価(円)	16,200	15,120	14,904
発行部数(部/月)	5,600	5,600	5,600

【成果】 ドローンや動画を活用し、より興味を持っていただける広報誌を提供できた。

- ・ホームページ保守業務 758千円
ホームページで情報提供を行った。

- ・情報発信の取り組み

フェイスブック、ユーチューブ、ツイッター、インスタグラムなどを活用し、町のイベントや行政情報など、こまめに情報を発信した。

年度	H28	H29	H30
北栄町フェイスブックサイトの登録者数	2,634	2,947	3,510
北栄町フェイスブックサイトの記事投稿件数	1,153	761	762

【成果】 町の魅力を即時的に情報発信することができた。
英語による町の動画発信をきっかけに、アメリカの人気司会者コナン・オブライエン氏が来町し、アメリカの番組や全国ニュースに取り上げられた。



コナン・オブライエン氏が来町、ハンバーガー1,000個がふるまわれた。(9月6日)

- ・外部広報誌仕分け作業委託料 110 千円
県等が発行する広報誌の仕分け作業を障がい者就労施設に委託した。

【成果】 障がいのある方の経済的自立及び就労機会の確保を図ることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	4 財産管理費	299,261千円	267,612千円

①町有財産管理事業(企画財政課所管分) 3, 758千円

町有地の維持管理、町有地売却業務の民間委託、不要財産の売却を行った。

年度	H28	H29	H30
売却額(千円)	1,095	11,693	72,762

【成果】 町有地、町有財産の管理を行い、財産を適切に維持することができた。
また、未利用町有地、不要財産を売却することにより、歳入の確保に努めることができた。

②財政調整基金積立金事業 101, 628千円

将来の財政対応のため町の「貯金」にあたる財政調整基金の積み立てを行った。

年度	H28	H29	H30
基金残高(千円)	1,221,853	1,450,063	1,551,691

【成果】 健全な財政運営により、積み増しをすることができた。

③減債基金積立金事業 13千円

将来の起債償還財源となる減債基金の積み立てを行った。

年度	H28	H29	H30
基金残高(千円)	44,023	44,036	44,049

【成果】 基金利子分により、積み増しをすることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	39,720千円	36,154千円

①企画事業 2, 274千円

倉吉未来中心管理運営負担金	1,820 千円
地域づくり講演会、先進地視察	172 千円
政策研究調査	20 千円

【成果】 講演、先進地視察等により、政策に対する見識を深めることができた。
・地域づくり講演会等:「講演会・これからの地域づくり(講師:みんなの集落研究所)」「地域づくり交流会 in 北栄(講師:雲南市板持課長)」「地域づくりバスツアー in 雲南市」
・政策研究調査:「子ども家庭総合支援拠点等視察研修」「総合戦略・総合計画セミナー」

②女性団体連絡協議会補助金事業 208千円

町内11団体で組織する女性団体連絡協議会に対し、補助金を交付した。

【成果】 男女共同参画フォーラムの開催等、男女共同参画社会の実現に向けて広く町民に啓発を図る女性団体連絡協議会の活動に対し補助金を交付した。

③地域の自立活性化活動支援交付金事業 1,845千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、人的及び財政的支援を行った。

年度	H28	H29	H30
交付金交付コミュニティ数	4団体	4団体	7団体

【成果】 地域振興につながるイベントや取り組みが実施されたことにより、地域活性化が図られた。



北条ふるさとまつり(11月4日)



木とねっこプレーパーク(7月19日)

④交通対策事業 14,572千円

・路線維持費補助金 12,947千円

輸送人員の減少により地域住民の生活に必要なバス路線の維持が困難となっていることから、補助制度により生活交通路線として必要なバス路線の運行維持を図った。

種類		補助金額(千円)				
		H28	H29	H30		
日交	国庫	北条線(西倉吉～倉吉駅～江北～由良駅)	路線維持費補填分	2,061	2,980	3,153
			路線維持費嵩上げ分		1,359	918
	計		2,061	4,339	4,071	
日ノ丸バス	国庫	赤碕線(倉吉駅～由良駅入口～赤碕駅)	路線維持費補填分	4,206	4,818	4,887
			路線維持費嵩上げ分	2,455	3,473	3,346
	広域	栄線(倉吉駅～西亀谷)	広域バス路線維持費分	457	471	643
	計		7,118	8,762	8,876	
	合計		9,179	13,101	12,947	

・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金 669千円

利用者の減少により地域住民の日常生活に必要なバス路線の維持が困難な地域において、住民の生活交通の確保を図る事業(乗りあいタクシー)に対し補助を行った。

年度		H28	H29	H30
乗りあいタクシー	利用者数(人)	422	392	306
	補助金額(千円)	871	830	669

・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金 0千円

空港連絡バスの倉吉駅から青山剛昌ふるさと館の運行に必要な経費を補助することにより、運行の維持を図った。(利用者数の増により、補助実績は0円)

年度		H28	H29※	H30
鳥取砂丘コナン空港連絡バス	利用者数(人)	650	708	1,360
	補助金額(千円)	0	814	0

※H29補助要件を改正

【成果】 地域住民の生活交通路線及び観光客の移動手段を確保するため、補助制度によりバス路線、乗りあいタクシーの運行の維持を図った。

・由良駅前階段手すり・点字ブロック設置工事 583 千円
 北栄町身体障がい者福祉協議会の改善要望をもとに、由良駅のバリアフリー化を進めるため、前階段の左右両側に手すりを設置し、誘導点字ブロックを増設した。

【成果】 駅のバリアフリー化を進め、安全性を高めた。

⑤コミュニティ助成事業 2,400千円

一般財団法人自治総合センターが実施する助成事業で、コミュニティの健全な発展を図るために、活動に必要な施設や設備の整備に対する助成金を交付した。

年度	H28	H29	H30
交付金交付自治会	六尾、比山、北条島、由良宿1区 ※由良宿1区はコミュニティセンター新築	国坂浜、中央団地	下種

【成果】 整備により、自治会活動の活性化を図るとともに、自治会に安心して集える環境を整えた。

⑥しあわせ♡創生事業 200千円

鳥取中部ふるさと広域連合において、中部市町共同で婚活事業を行った。
 婚活セミナー2回、イベント・パーティ2回、結婚支援員情報交換会1回

【成果】 婚活イベント・パーティでの連絡先交換者:延べ13組(うち町内3組)

⑦官学連携事業 57千円

高校、大学と連携し、地域課題の研究を行った。
 ・地域探究の時間(鳥取中央育英高校) ・地方創生政策体験学習(鳥取大学)
 ・Let's Go北栄ツアー(鳥取中央育英高校、鳥取大学、由良宿まちづくりの会、東伯青年会議所)

【成果】 官学連携事業により地域の課題解決、地域価値の創造に取り組むとともに、将来地域を担う人材育成に寄与した。Let's Go 北栄ツアーは、一般財団法人地域活性化センター発行冊子「人口の社会減を克服する特色ある取組」に掲載された。



地域探究の時間 校内発表会(11月14日)



Let's Go 北栄ツアー(5月20日)

⑧震災復興イベント事業 4,175千円

NHK公開放送「のど自慢」を開催し、県中部地震から復興した姿を内外にアピールした。
 日:10月13日(土)予選会、14日(日)12:00～生放送
 場:大栄体育館

【成果】 特産品のねばりっこや町の紹介VTRも放送され、北栄町の魅力が全国に発信された。



出場20組のうち、9組が町内出場者。チャンピオンも町民(平田美貴さん)が選ばれた。

款	2 総務費	項	5 統計調査費	予算現額	決算額								
		目	1 統計費	707千円	589千円								
<p>①統計調査事業 589千円 主な調査 工業統計調査 住宅・土地統計調査 漁業センサス</p> <p>【成果】 各種統計調査を円滑に進めることができた。</p>													
款	10 公債費	項	1 公債費	予算現額	決算額								
		目	1 元金	940,194千円	915,851千円								
<p>①町債償還元金事業 915,851千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起債残高(千円)</td> <td>7,910,900</td> <td>7,522,021</td> <td>7,404,470</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 適切な管理と償還により、残高は着実に減少している。</p>						年度	H28	H29	H30	起債残高(千円)	7,910,900	7,522,021	7,404,470
年度	H28	H29	H30										
起債残高(千円)	7,910,900	7,522,021	7,404,470										
款	10 公債費	項	1 公債費	予算現額	決算額								
		目	2 利子	57,336千円	50,872千円								
<p>①町債償還利子事業 50,872千円</p>													

款	2 総務費	項	2 徴税费	予算現額	決算額																																																																				
		目	1 税務総務費	105,975千円	105,334千円																																																																				
<p>①税務総務事業 7,488 千円</p> <p>臨時職員賃金 3,183 千円 土地管理システム経費 863 千円 コンビニ収納手数料 678 千円 など</p> <p>【成果】 経常的な税務事務を実施した。</p>																																																																									
<p>②税務総務関係負担金事業 780 千円</p> <p>軽自動車事務取扱事務費 465 千円 評価システム研究センター会費 45 千円 など</p> <p>【成果】 負担により必要な税務情報を入手した。</p>																																																																									
<p>③中部ふるさと広域連合負担金事業 5,356 千円 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>滞納徴収分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広域連合負担金</td> <td>8,167</td> <td>9,321</td> <td>8,828</td> <td>※国保会計分を含む。</td> </tr> <tr> <td>広域連合徴収額</td> <td>15,142</td> <td>15,190</td> <td>6,795</td> <td>※延滞金含む</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">年度</th> <th colspan="4">徴収状況</th> <th colspan="4">処理状況</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">委託金額 (A)</th> <th colspan="2">徴収額</th> <th rowspan="2">徴収率 (B)/(A)</th> <th rowspan="2">受託 人数</th> <th colspan="3">処理人数</th> <th rowspan="2">処理率</th> </tr> <tr> <th>本税(B)</th> <th>延滞金</th> <th>完結</th> <th>執行停止</th> <th>取消</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>17,044</td> <td>10,378</td> <td>4,764</td> <td>60.89%</td> <td>75</td> <td>40</td> <td>3</td> <td></td> <td>57.33%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>15,813</td> <td>10,396</td> <td>4,794</td> <td>65.74%</td> <td>78</td> <td>56</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>76.92%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>10,546</td> <td>4,852</td> <td>1,943</td> <td>46.01%</td> <td>70</td> <td>48</td> <td>2</td> <td></td> <td>71.43%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 30年度は、28,29年度と比較し、徴収額、徴収率は下がったものの、滞納処分を取組により滞納額は着実に減少している。</p>						滞納徴収分	H28	H29	H30		広域連合負担金	8,167	9,321	8,828	※国保会計分を含む。	広域連合徴収額	15,142	15,190	6,795	※延滞金含む	年度	徴収状況				処理状況				委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率	本税(B)	延滞金	完結	執行停止	取消	H28	17,044	10,378	4,764	60.89%	75	40	3		57.33%	H29	15,813	10,396	4,794	65.74%	78	56	3	1	76.92%	H30	10,546	4,852	1,943	46.01%	70	48	2		71.43%
滞納徴収分	H28	H29	H30																																																																						
広域連合負担金	8,167	9,321	8,828	※国保会計分を含む。																																																																					
広域連合徴収額	15,142	15,190	6,795	※延滞金含む																																																																					
年度	徴収状況				処理状況																																																																				
	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率																																																																
		本税(B)	延滞金			完結	執行停止	取消																																																																	
H28	17,044	10,378	4,764	60.89%	75	40	3		57.33%																																																																
H29	15,813	10,396	4,794	65.74%	78	56	3	1	76.92%																																																																
H30	10,546	4,852	1,943	46.01%	70	48	2		71.43%																																																																
<p>④家屋全棟調査事業 21,230 千円</p> <p>業務委託料 21,230 千円</p> <p>【成果】 29年度から31年度までの3ヵ年度委託事業の2年目として、現地調査により課税台帳の突合をすすめた。</p>																																																																									
款	2 総務費	項	2 徴税费	予算現額	決算額																																																																				
		目	2 賦課徴収費	4,487千円	3,676千円																																																																				
<p>①賦課徴収事務事業 3,676 千円</p> <p>過誤納還付金 2,864 千円 納付書等印刷費 686 千円 など</p> <p>【成果】 きめ細やかな催告や調査を実施し、高い徴収率を維持することができた。</p>																																																																									

・徴収率の状況

(単位:千円・%)

区 分	徴収率 $b/(a-c)$			H30年度の収納状況		
	H28	H29	H30	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税(個人+法人)	99.1	99.4	99.4	622,104	618,062	183
現年課税分	99.5	99.7	99.6	618,903	616,219	0
滞納繰越分	61.9	66.8	61.1	3,201	1,843	183
固定資産税	97.8	98.4	98.7	661,296	651,350	1,047
現年課税分	99.5	99.4	99.6	651,044	648,318	0
滞納繰越分	28.5	39.1	32.9	10,252	3,032	1,047
軽自動車税	98.7	99.3	99.4	60,814	60,456	4
現年課税分	99.6	99.7	99.7	60,425	60,222	0
滞納繰越分	30.3	56.9	61.0	389	234	4
町たばこ税	100.0	100.0	100.0	92,764	92,764	0
現年課税分	100.0	100.0	100.0	92,764	92,764	0
小 計 (税合計)	98.5	99.0	99.1	1,436,978	1,422,632	1,234
現年課税分	99.5	99.6	99.6	1,423,136	1,417,523	0
滞納繰越分	36.2	48.0	40.5	13,842	5,109	1,234
国民健康保険税	96.2	97.8	97.9	469,319	459,185	76
現年課税分	98.2	99.0	98.7	459,217	453,261	0
滞納繰越分	55.2	65.0	59.1	10,102	5,924	76
介護保険料	99.0	99.2	99.6	363,299	361,653	326
現年課税分	99.6	99.6	99.8	360,591	359,912	0
滞納繰越分	45.6	59.6	73.1	2,708	1,741	326
後期高齢者医療保険料	99.6	99.4	99.7	117,743	117,362	4
現年課税分	99.7	99.6	99.9	117,108	117,016	0
滞納繰越分	50.5	29.9	54.9	635	346	4
小 計 (保険合計)	97.6	98.5	98.8	950,361	938,200	406
現年課税分	98.8	99.3	99.3	936,916	930,189	0
滞納繰越分	53.6	63.4	61.4	13,445	8,011	406
合 計	98.2	98.8	99.0	2,387,339	2,360,832	1,640
現年課税分	99.3	99.4	99.5	2,360,052	2,347,712	0
滞納繰越分	45.7	56.5	51.2	27,287	13,120	1,640

・税等の収納比率 (上段:30年度、中段:29年度、下段28年度)

区 分	口座振替	コンビニ	町差押え	広域連合	特別徴収	窓口等	合計
町・県民税	17.4 %	3.3 %	0.0 %	0.1 %	67.0 %	12.1 %	100%
	18.1 %	4.0 %	0.1 %	0.3 %	65.6 %	11.9 %	100%
	17.4 %	4.0 %	0.1 %	0.3 %	66.4 %	11.8 %	100%
固定資産税	51.2 %	7.4 %	0.2 %	0.1 %	- %	41.1 %	100%
	52.6 %	7.1 %	0.1 %	0.2 %	- %	40.0 %	100%
	53.2 %	6.7 %	0.1 %	0.3 %	- %	39.7 %	100%
軽自動車税	48.2 %	27.4 %	0.1 %	0.3 %	- %	24.0 %	100%
	48.6 %	25.0 %	0.1 %	0.3 %	- %	26.0 %	100%
	50.5 %	26.3 %	0.1 %	0.3 %	- %	22.8 %	100%
国民健康保険税	66.5 %	7.7 %	0.4 %	0.6 %	12.0 %	12.8 %	100%
	67.0 %	7.6 %	0.3 %	1.3 %	11.3 %	12.5 %	100%
	66.9 %	6.2 %	0.4 %	1.2 %	10.5 %	14.8 %	100%
介護保険料	1.6 %	1.7 %	0.2 %	- %	93.9 %	2.6 %	100%
	1.5 %	1.6 %	0.1 %	- %	93.1 %	3.7 %	100%
	1.8 %	1.6 %	0.2 %	- %	92.4 %	4.0 %	100%
後期高齢者医療保険料	15.6 %	1.0 %	0.2 %	- %	76.1 %	7.1 %	100%
	15.6 %	1.3 %	0.0 %	- %	75.8 %	7.3 %	100%
	14.1 %	1.8 %	0.1 %	- %	74.8 %	9.2 %	100%

※それぞれの合計が小数点以下の関係で100%にならない場合があります。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	39,720千円	36,154千円

①消費者行政推進事業 850千円

消費生活相談窓口(住民生活課内)及び中部消費生活センター(専門相談員設置)にて消費者相談の受付・対応を行った。

年 度	H28	H29	H30
相談受付件数	64	88	78

町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。

5月の消費者月間には、消費者の目線から暮らしの中の安心・安全について学ぶ「事業所見学」を実施、さらに8月には、小学生向けの消費者講座を実施した。

・研修会(民生児童委員)	1回
・自治会出前講座	3回
・消費者講座、イベント等での啓発活動	計3回
・チラシ、パンフレット配布等での啓発活動	計3回 ほか

【成果】 専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。地域住民への各種啓発活動(消費者講座等)により、架空請求などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。

②持続可能な発展を目指す自治体会議事業 340千円

- ・持続可能な発展を目指す自治体会議旅費等
- ・自治体相互視察 10/25、26 北栄町で開催(7自治体、32名が参加)

【成果】 人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が、地域資源を活かしたエネルギー分野の取り組みを通して、経済好循環に向けたモデル設計と人材育成を行った。

款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	予算現額	決算額
		目	1 戸籍住民基本台帳費	26,221千円	25,819千円

①戸籍及び住民登録事務事業 4,506千円

・住民基本台帳事務関係

平成31年3月末の住民基本台帳人口は15,045人、世帯数は5,352世帯で、平成30年3月末と比較して人口は151人減少し、世帯は32世帯の増加であった。

(1)住民基本台帳人口及び世帯数(年齢階層別人口)

単位:人

年 度		H28	H29	H30	対前年比
年 齢	区 分				
年少人口 (0～14歳)	男	998	998	968	△ 30
	女	959	933	909	△ 24
	計	1,957	1,931	1,877	△ 54
	構成比率	12.75%	12.71%	12.48%	-0.23%
生産年齢人口 (15～64歳)	男	4,296	4,187	4,109	△ 78
	女	4,238	4,130	4,015	△ 115
	計	8,534	8,317	8,124	△ 193
	構成比率	55.62%	54.73%	54.00%	-0.73%
老年人口 (65歳以上)	男	2,050	2,102	2,156	54
	女	2,803	2,846	2,888	42
	計	4,853	4,948	5,044	96
	構成比率	31.63%	32.56%	33.53%	0.97%
合計	男	7,344	7,287	7,233	△ 54
	女	8,000	7,909	7,812	△ 97
	計	15,344	15,196	15,045	△ 151
世帯数		5,310世帯	5,320世帯	5,352世帯	32世帯
(再掲) 75歳以上	男	900	903	939	36
	女	1,600	1,599	1,605	6
	計	2,500	2,502	2,544	42
	構成比率	16.29%	16.46%	16.91%	0.45%

(2)住民基本台帳関係事務処理数

単位:人

年 度	H28	H29	H30
転入者	394	364	343
出生者	103	100	89
その他	1	0	8
計(A)	498	464	440
転出者	426	416	398
死亡者	211	195	190
その他	2	2	3
計(B)	639	613	591

単位:件

種 別	件 数
転 居	94
世帯変更	155
職権修正	193
違反通知	0
戸籍の附票	2,408
計	2,850

社会増減	△ 32	△ 52	△ 55
自然増減	△ 108	△ 95	△ 101
その他	△ 1	△ 2	5
計(A)-(B)	△ 141	△ 149	△ 151

(3)印鑑登録関係件数

単位:件

年 度	H28	H29	H30
登 録	619	501	517
(うち再登録)	(180)	(231)	(229)
抹 消	527	573	565
年度末登録者数	10,752人	10,680人	10,632人

・戸籍事務関係事業

(1) 本籍数及び本籍人口など

年 度	H28	H29	H30
本 籍 数	8,514戸籍	8,466戸籍	8,399戸籍
本 籍 人 口	20,692人	20,494人	20,274人

(2) 戸籍届書の取扱い件数

単位:件

事 件 の 種 類	年 度	H28	H29	H30
出 生		201	171	194
国 籍 留 保		0	0	0
認 知		0	5	4
養 子 縁 組		28	19	27
養 子 離 縁		16	9	6
離縁の際に称していた氏を称する届		5	0	0
婚 姻		209	229	201
離 婚		61	52	35
離婚の際に称していた氏を称する届		20	18	18
親 権 変 更		6	0	0
死 亡		273	261	253
失 踪		0	0	0
復 氏		1	0	0
姻 族 関 係 終 了		0	0	0
入 籍		60	47	27
分 籍		1	4	5
帰 化		0	0	0
国 籍 喪 失		2	0	3
氏 の 変 更		0	1	3
転 籍		49	69	64
戸 籍 訂 正		7	26	10
続 柄 の 記 載 更 正		0	1	0
そ の 他		5	2	1
不 受 理 申 出		0	2	0
合 計		944	916	851

年 度	H28	H29	H30
新 戸 籍 編 製	109	123	95
戸 籍 全 部 消 除	155	170	162

・住民票・戸籍など取扱い件数

単位:件

区 分 年 度	有 料			無 料		
	H28	H29	H30	H28	H29	H30
住民票謄抄本	5,673	5,520	5,329	246	419	228
記載事項証明	189	143	160	2	1	2
戸籍の附票 閲 覧	321	315	310	690	980	871
小 計	6,382	6,058	6,022	4,834	9,010	4,796
印鑑登録証明書	4,375	4,599	4,111	24	77	17
身分証明書	156	211	127	0	0	0
その他証明	170	114	223	57	63	9
小 計	4,701	4,924	4,461	81	140	26
計	11,083	10,982	10,483	4,915	9,150	4,822

戸籍謄抄本	2,888	3,011	2,743	774	995	926
除籍謄抄本	2,589	2,653	2,112	1,633	1,992	2,096
戸籍記載事項証明	0	0	0	2	0	0
受 理 証 明	13	20	15	0	0	0
届書に基づく証明	3	3	0	0	0	0
計	5,493	5,687	4,870	2,409	2,987	3,022

合 計	16,576	16,669	15,353	7,324	12,137	7,844
-----	--------	--------	--------	-------	--------	-------

【成果】 法令等に基づく届出の処理、証明発行を適正に行った。

②個人番号カード事務事業 1,208千円

通知カード及び個人番号カードの作成、発送等の関連事務を地方公共団体情報システム機構に委任するために要する経費(事務費交付金)

単位:枚

年 度	H28	H29	H30
個人番号カード交付枚数	522	149	138

【成果】 個人番号カードの交付、通知カードの再発行等の手続きについて、適正かつ円滑に行うことができた。

款	3 民生費	項	3 国民年金事務取扱費	予算現額	決算額
		目	1 国民年金事務取扱費	953千円	946千円

①国民年金事務取扱事業 946千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理するとともに、相談窓口として制度説明、指導、助言を行い、納付率向上に努めた。

また、年金事務所との情報共有(年金加入状況、所得状況)により、年金加入者に不利益が生じることがないように必要な情報を提供するなど、サービス向上に努めた。

抛出年金被保険者数

単位:人

年度	H28	H29	H30
1号	1,753	1,628	1,555
3号	590	569	540
任意	19	25	25
合計	2,362	2,222	2,120

窓口事務受付件数

単位:件

区 分	H28	H29	H30
資格取得	195	193	139
種別変更	30	28	23
保険料減免	518	417	396
学生納付特例	109	110	122
年金裁定請求	17	18	5
未支給請求	44	48	38
その他	899	448	384
計	1,812	1,262	1,107

【成果】 国民年金加入者の年金相談、年金手続きを行い、適正なサービスの提供を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	7 環境衛生費	19,700千円	17,821千円

①環境衛生事業 3,463千円

- ・クリーンランドほうき管理委員会開催(2/21)
- ・環境推進委員会開催(3/27)

- ・ほくえい環境バスツアーの開催(11/30)
ほうきりサイクルセンター等の見学

- ・環境学習会

	H28	H29	H30
開催数	1小学校	1小学校	1小学校 2自治会

- ・子どもエコクラブ活動支援補助金
(町内の保育所、こども園、小・中学校等)

	H28	H29	H30
活動人数	1,918人	1,734人	1,645人



環境バスツアーの様子(Kセンター)

- ・地球環境を考える自治体サミット参加

	H28	H29	H30
開催地	福井県小浜市	福岡県大木町	北海道本別町
開催日	10/20,21	11/10,11	10/11,12

- ・環境首都創造フォーラム参加

	H28	H29	H30
開催地	山口県宇部市	奈良県奈良市	京都府京都市
開催日	1/18,19	11/20,21	1/17,18

【成果】 環境基本計画に沿った環境衛生事業、環境教育を実施し、住民の環境意識の高揚が図られた。

②広域連合負担金(火葬)事業 8,562千円

斎場の管理運営に要した経費

- ・中部ふるさと斎場 7,974千円
- ・琴浦斎場(相互利用負担金) 588千円

【成果】 中部ふるさと斎場の維持管理に寄与した。

③猫避妊・去勢手術費補助金事業 143千円

補助金申請件数・金額 21件 143千円

【成果】 飼い主のいない猫のむやみな繁殖を防ぐことができた。

④犬登録等事業 105千円

狂犬病予防注射集団接種 12会場で実施

単位:頭

	H28	H29	H30
登録数	851	787	758

【成果】 犬の狂犬病予防注射事務を実施し、適正管理の啓発を行った。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	8 環境保全費	31,250千円	28,334千円

①再生可能エネルギー導入事業 5,336千円
木質バイオマス導入計画策定事業 11,905千円

木質バイオマスエネルギー活用推進協議会

- ・協議会開催 4回(4/12、6/15、11/9、2/1)
- ・先進地視察(12/6)岡山県美咲町、兵庫県多可町

バイオマス産業都市構想策定支援業務(繰越) 4,968千円

木質バイオマスエネルギー導入計画策定事業 11,905千円

【成果】 11/7北栄町が鳥取県内初で国からバイオマス産業都市に認定された。
また、環境省の補助事業の採択を受け、木質バイオマスの供給、熱利用、熱電併給などについて、詳細調査を行い、協議会委員の意見を伺いながら「北栄町木質バイオマスエネルギー導入計画」を策定した。

②省エネルギー普及啓発事業 65千円 ※風のまちづくり事業充当(65千円)

- ・子ども版環境家計簿「かんきょうチェックノート」配布(小学4年生)

配布 130人 提出 49人 (回収率 37.7%)

【成果】 夏休みに小学4年生を対象に、子ども版環境家計簿「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギー実践の普及啓発ができた。

③創エネ設備等設置費補助金事業 4,332千円 ※風のまちづくり事業充当(2,219千円)

町内の住宅等に太陽光発電システム又創エネルギー設備等を設置する者に、設置費用の一部を補助した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質バイオマス	太陽熱	蓄電池
H28	16	87.72kW	2件	0件	0件
H29	10	46.93kW	0件	0件	2件
H30	14	63.39kW	4件	3件	3件

【成果】 太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助することで再エネ及び省エネ設備導入を推進した。

④電気自動車急速充電器管理事業 1,587千円 ※風のまちづくり事業充当(473千円)

青山剛昌ふるさと館駐車場、道の駅北条公園に設置している電気自動車急速充電器の管理

【成果】 青山剛昌ふるさと館、道の駅北条公園の電気自動車急速充電器を維持管理し、EV利用者の利便性を確保した。

⑤省エネ住宅リフォーム補助金事業 5,109千円 ※風のまちづくり事業充当(5,109千円)

平成26年度から実施していた住宅リフォーム資金助成事業(商工費)を、省エネ推進のための断熱改修などの省エネリフォームに特化し、改修費用の一部を補助した。

【実績】

	H28	H29	H30
申請件数(件)	30	46	27
補助対象経費(円)	13,925,283	28,947,687	21,017,621
補助金支給額(円)	1,228,000	9,312,000	5,109,000

※平成28、29年度については、住宅リフォーム資金助成事業の省エネ加算分

【成果】 住宅の断熱改修や省エネ設備の設置に係る費用の一部を助成することにより、快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギーを進めていくことができた。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額			
		目	1 塵芥処理費	100,587千円	95,701千円			
①塵芥処理事業		466千円						
<ul style="list-style-type: none"> ・H31ごみ収集日程表作成 5,500部 ・リサイクルステーション管理 ・国坂浜土砂捨場管理 								
②一般廃棄物収集事業		32,764千円						
<p>ごみ収集所に排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を委託した。</p> <p>《収集量》 (単位:t)</p>								
		可燃ごみ	不燃ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
H28		3,322	185	228	63	103	24	45
H29		3,481	143	206	49	105	20	29
H30		3,542	140	208	45	95	20	30
③広域連合負担金(ごみ)事業		48,642千円						
<p>ほうきリサイクルセンター(ごみ処理施設)、クリーンランドほうき(最終処分場)の管理運営に要した経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理費 40,458千円 ・ごみ処理施設建設費 0千円 ・最終処分場建設費 8,184千円 								
④再生資源収集委託事業		6,034千円						
<p>再生資源の収集・運搬・処理業務を委託した。</p> <p>《収集量》 (単位:t)</p>								
		ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着
H28		18	3	101	42	2	93	37
H29		18	3	87	42	2	88	34
H30		20	3	79	42	1	87	32
《廃食用油回収量実績》								
		収集量(kg)						
H28		9,718	(鳥取県中部地震により10月の回収を中止)					
H29		11,906						
H30		12,502						
⑤再生資源回収団体事業		752千円						
<p>再生資源の回収を行った団体に対し助成金を交付した。</p> <p>実施団体数 75 団体</p> <p>《回収量》</p>								
		古紙	缶	びん				
H28		230 t	24 t	2,599本				
H29		215 t	24 t	2,885本				
H30		207 t	23 t	2,586本				
《ごみの排出状況》								
		総排出量	うち再生資源	リサイクル率				
		①	②	②/①				
H28		4,530 t	809 t	17.9%				
H29		4,563 t	747 t	16.4%				
H30		4,590 t	725 t	15.8%				

⑥統一指定ごみ袋事業 5,173千円

町指定ごみ袋作成 大:480,000枚 (960箱)
小: 80,000枚 (160箱)

⑦海岸漂着物処理事業 1,845千円

海岸における漂着廃棄物を一掃するため、海岸沿岸自治会に清掃を依頼し、手数料を交付
実施自治会・・・16自治会

⑧不法投棄対策事業 24千円

不法投棄防止のため、パトロールや看板設置のほか自治会等の不法投棄物撤去の支援を
行った。
不法投棄廃棄物等撤去補助金 1件 7千円

【成果】 ごみの分別・収集を適正に行えるよう環境整備、体制を整えるとともに、ごみの減量化・
再資源化を普及した。
地域の美化活動や不法投棄対策事業を推進することで、美しい環境を守るとともに、環
境保全意識の高揚を図った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額
		目	2 し尿処理費	6,216千円	6,147千円

①広域連合負担金(し尿)事業 6,147千円

クリーンセンター(し尿処理施設)の管理運営に要する経費

【成果】 クリーンセンターの維持管理に寄与した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額
		目	1 町営住宅管理費	2,655千円	1,969千円

①町営住宅管理事業 1,969千円


3団地118戸を管理。
年度内の入居件数は0件、退去件数は3件で、3月末現在の入居率は72.9%となっている。

・町営住宅の入居状況 (平成31年3月31日現在)
単位:戸

団地名	管理戸数	入居戸数
由良宿団地	58	36
六尾北団地	45	44
向山団地	15	6
町営住宅合計	118	86

【成果】 適正に管理し、入居者に良好な住環境を提供した。

款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額															
		目	2 由良宿団地建設費	366,394千円	357,314千円															
<p>①由良宿団地建替事業 357,314千円</p> <p>平成27年度から建替事業に着手した由良宿団地について、平成29年9月に第1期工事(1棟18戸)が、平成31年3月に第2期工事(1棟24戸)が完了した。</p> <p>【成果】 地域住宅計画に基づく集約建替への進捗を図り、良質な住環境の整備を行った。</p>																				
 <p>完成した由良宿団地C棟</p>																				
款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額															
		目	3 県営住宅費	689千円	600千円															
<p>①県営住宅団地管理事業 600千円</p> <p>県から3団地22戸の管理委託を受けている。 年度内の入居件数は2件、退去件数は1件で、3月末現在の入居率は95.5%となっている。 ・県営住宅の入居状況 (平成31年3月31日現在)</p> <p style="text-align: right;">単位:戸</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>管理戸数</th> <th>入居戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄第1団地</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>栄第2団地</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>大野団地</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>県営住宅合計</td> <td>22</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 適正に管理し、入居者に良好な住環境を提供した。</p>						団地名	管理戸数	入居戸数	栄第1団地	8	7	栄第2団地	8	8	大野団地	6	6	県営住宅合計	22	21
団地名	管理戸数	入居戸数																		
栄第1団地	8	7																		
栄第2団地	8	8																		
大野団地	6	6																		
県営住宅合計	22	21																		
款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額															
		目	4 中央団地用途廃止費	57千円	55千円															
<p>①中央団地用途廃止事業 55千円</p> <p>平成29年3月31日に用途廃止した町営中央団地の売却にあたり、所有権移転登記など必要な措置を行った。</p> <p>【成果】 用途廃止後の売却を円滑に行うことができた。</p>																				
款	7 土木費	項	4 住宅費	予算現額	決算額															
		目	5 向山団地用途廃止費	120千円	100千円															
<p>①向山団地用途廃止事業 100千円</p> <p>用途廃止に伴う移転費用の補助を行った。</p> <p>【成果】 用途廃止に向けて円滑な移転を行うことができた。</p>																				

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	382,672千円	370,841千円
<p>①社会を明るくする運動事業 140千円 全国統一の「社会を明るくする運動」月間(7月)に保護司等による啓発、小・中学生の標語の展示などを行った。</p> <p>【成果】 街頭啓発活動2回、標語の放送、展示で町民に啓発した。</p>					
<p>②戦没者追悼式事業 126千円 諸英霊に対し、町主催の追悼式を行った。 期 日 平成30年4月25日 場 所 大栄農村環境改善センター 参列者数 遺族66名、来賓21名</p> <p>【成果】 遺族、来賓とともに戦没者の慰霊を行い、世界平和を祈念した。</p>					
					
<p>③民生児童委員協議会事業 2,703千円 地域福祉向上のため活動する民生委員・児童委員、主任児童委員に対し、活動費として補助金を交付する。また、中部協議会へ負担金を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町協議会(委員45人)への活動補助 2,545千円 ・ 中部民生委員協議会負担金 158千円 <p>【成果】 独居高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発、研修会参加による資質向上に努め、地域福祉を進めた。</p>					
<p>④社会福祉費補助金事業 140千円 町遺族会(3地区)の活動に対して、補助金を交付した。</p> <p>【成果】 各遺族会の活性化を進めた。</p>					
<p>⑤社会福祉協議会補助金事業 15,083千円 地域福祉事業の推進のため、町社会福祉協議会に補助金を交付した。また、県社協として行う事業に負担金を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町社会福祉協議会補助金 15,017千円 ・ 鳥取県社会福祉協議会負担金 66千円 <p>【成果】 社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、配食サービス事業の補助等で福祉サービスの充実を進めた。</p>					
<p>⑥介護保険特別会計繰出金事業 207,754千円 介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護給付費町負担分 183,857千円 ・ 地域支援(介護予防)事業分 5,623千円 ・ 地域支援(包括的支援・任意)事業分 3,562千円 ・ 一般事務費分 13,228千円 ・ 低所得者軽減分 1,484千円 <p>【成果】 介護保険特別会計の健全な運営を図った。</p>					

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	3 老人福祉費	18,810千円	17,450千円

①老人福祉事業 496千円

米寿(数え年の88歳)、金婚(結婚50年)の方に祝詞、記念品を贈り祝意を表した。

	H28	H29	H30
米寿	120 人	114 人	120 人
金婚	37 組	36 組	42 組

【成果】 町の幹部が直接長寿のお祝いを述べ、ご労苦をねぎらった。

②敬老会事業 2,466千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき 1,000円の補助を行った。

	H28	H29	H30
自治会数	52	53	53
対象者数	2,421 人	2,433 人	2,466 人

【成果】 自治会単位で実施することにより、自治会の多世代との交流が図られ、敬老や支え合いの気持ちにつながっている。

③老人保護措置事業 6,571千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	H28	H29	H30
入所者数	6 人	4 人	6 人

【成果】 入所により高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができています。

④北栄町シルバー人材センター負担金事業 4,200千円

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、北栄町シルバー人材センターの事業安定のため運営補助を行った。

	H28	H29	H30
会員数	167 人	170 人	170 人

【成果】 高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

⑤老人クラブ補助金事業 2,160千円

老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動・運営に対し補助を行い、高齢者が地域で役割を果たすなど社会参加を促進する。

会員数	補助金額	H28	H29	H30
50人～	60,000円	7	5	5
40人～49人	50,000円	4	5	2
30人～39人	40,000円	11	10	9
20人～29人	30,000円	2	2	4
10人～19人	20,000円	2	1	1
合 計	クラブ数	26	23	21
	補助金額	1,160 千円	1,030 千円	900 千円

・老人クラブ連合会補助 1,260千円

【成果】 仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動を促した。

⑥成年後見支援センター事業 663千円

中部圏域で成年後見ネットワーク倉吉に委託してセンターを設置し、困難事例の専門職による相談、申し立て事務、制度の広報、啓発を進めた。

		H28	H29	H30
後見委任数		2	3	4
相談 件数	高齢者	7	7	9
	障がい者	9	4	4

(延べ件数)

【成果】 困難事例が増える中、中部市町が協力して法人後見ができる体制が出来ている。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 介護予防生活支援費	83,135千円	82,160千円

①タクシー利用料助成事業 7,289千円

高齢者の方や障がい等特別な事情で移動手段に困っている方、免許証を自主返納された方へタクシー利用料を助成し、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

年度	H28	H29	H30
登録者数	166 人	503 人	602 人
延利用件数	3,499 件	7,996 件	10,463 件
助成額	2,304 千円	5,327 千円	6,894 千円

【成果】 平成29年度から町外への利用も可能としたことから、登録者・利用件数も伸び続けており、高齢者の方等への日常生活の支援につながっている。

②外出支援サービス事業 9,130千円

要支援・要介護の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する方、または障がいのある方で通院の必要性がある方に対し、公共交通機関利用困難な場合にタクシー利用の病院送迎サービスを行い、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	H28	H29	H30
登録者数	220 人	196 人	221 人
延利用人数	3,757 人	5,047 人	4,941 人
助成額	7,510 千円	9,626 千円	9,067 千円

【成果】 タクシーを利用した通院送迎を行い利用者の通院に利便を図り、身体状況の悪化等の防止につながった。

③介護予防地域支え合い事業 5,193千円

- ・いきいきサロン 5,039千円

高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施し、介護予防につなげる。

	H28	H29	H30
自治会数	41	43	45
開催回数	880 回	906 回	964 回
参加延べ人数	12,210 人	11,919 人	12,432 人

- ・災害時要支援者台帳管理システム事業 154千円
災害時要支援者として登載する対象者のデータ管理のため、システムの保守管理を委託している。

地域包括支援センター相談件数

	H28	H29	H30
一般相談	1,394 件	1,435 件	1,368 件
地域支援	815 件	1,033 件	1,146 件
予防給付	1,148 件	1,533 件	1,182 件
計	3,357 件	4,001 件	3,696 件

【成果】 介護に関する相談に応じ、自立支援の意識、高齢者の閉じこもり防止等による介護予防、災害時だけでなく平時の見守りによる地域支え愛の必要性を啓発した。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 障害者福祉費	489,456千円	464,960千円

①障がい者福祉関係負担補助金事業 634千円

町身体障がい者福祉協会などの活動に対する補助を行い、障がい者福祉の増進を図る。

- ・町身体障がい者福祉協会補助金 385千円
- ・町心身障がい児者育成会(ひまわり会)補助金 180千円
- ・町精神障がい者家族会補助金 20千円
- ・東伯郡身体障害者福祉協会負担金 49千円

【成果】 障がい者が団体の活動に参加し交流することで、更生意欲、自立支援、社会参加の意欲を高めた。

②中度心身障がい者医療扶助事業 3,890千円

中度の心身障がい者(身体障害者手帳3、4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた者)で町民税非課税者に対し医療費を助成することにより、特別医療助成制度対象外の障がい者の医療費負担の軽減を図る。

	H28	H29	H30
件数	281	342	298
金額(千円)	4,048	4,053	3,890

【成果】 町費による医療費負担で、中度障がい者の健康保持、負担軽減を図った。

③障害支援区分認定事務事業 681千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	H28	H29	H30
認定件数	48 件	32 件	49 件

【成果】 認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズに障害福祉サービス利用につなげた。

④自立支援給付事業 388,744千円

障害者総合支援法に基づき、障がい児・者の障害福祉サービス利用の支援を行った。

【主な経費】

	H28		H29		H30	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
居宅介護、重度訪問介護等	281	24,768	239	15,739	258	11,350
上記以外の介護給付費等	2,197	339,421	2,194	348,370	2,227	350,740
サービス利用計画作成費	310	5,074	322	4,917	376	5,241
補装具費	35	3,147	31	2,989	28	2,091

【成果】 心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活につなげた。

⑤自立支援医療給付事業 15,621千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付し、身体等の障がいの軽減、機能回復を図る。(更生医療、育成医療、療養介護医療)

	H28		H29		H30	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
更生医療	792	7,060	863	7,548	956	11,434
育成医療	8	452	23	672	13	145
療養介護医療	80	5,774	79	5,780	59	4,042

【成果】 医療費助成により、自立した日常生活、社会生活につなげた。

⑥障がい者地域生活支援事業 46,631千円

【主な事業】

- ・相談支援事業

3,032千円

障がい者地域生活支援センターを設置し、障がいのある人やその家族の相談支援を行う。

	H28	H29	H30
町障がい者地域生活支援センター	761件	854件	787件
障がい者虐待相談数(実数)	4件	2件	5件
中部障害者地域生活支援センター(仁厚会へ委託)	728件	262件	590件

(延べ件数)

- ・中部圏域障がい者地域自立支援協議会事務局運営事業

851千円

相談支援事業を効果的に実施するため、圏域自立支援協議会事務局に専門職を配置。

- ・意思疎通支援事業

3,737千円

聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行う。

委託先:公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	H28	H29	H30
延べ派遣依頼件数	150件	168件	276件

- ・日常生活用具給付等事業

4,512千円

障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行う。

	H28	H29	H30
延べ利用件数	313件	284件	348件

- ・移動支援事業

4,877千円

屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行う。

	H28	H29	H30
延べ利用者数	136人	141人	161人

- ・日中一時支援事業

13,827千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保する。

	H28	H29	H30
延べ利用者数	205人	225人	283人

- ・地域活動支援センター事業

15,532千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供する。

	H28	H29	H30
延べ利用者数	175人	197人	168人

【成果】 障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加を促した。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業 301千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行う。

【成果】 グループホーム等の利用者が安心安全な生活を送ることができた。

⑧障がい者相談員設置事業 86千円

身体・知的・精神障がい者相談員を各1人委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作る。

【成果】 身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制が出来ている。

⑨特別障害者手当等給付事業 5,900千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し、精神的・物理的な負担を軽減するため、手当等を給付する。

年 度	H28	H29	H30
受給者数(延べ)	311 人	281 人	276 人

【成果】 在宅で生活する重度の障がい児・者の負担を軽減した。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 生活困窮者自立支援費	12,786千円	11,844千円

①生活困窮者自立相談支援事業 6,082千円

- ・ 自立相談支援事業 6,082千円

困窮者の自立相談支援事業の適正実施に係る、相談支援員、就労支援員など職員配置費用

年 度	H28	H29	H30
新規相談者数	37	24	23

地域づくりモデル事業では、延べ4名が雇用され、収入を得るだけでなく、社会参加促進や生活習慣の改善がなされた。

【成果】 相談支援や就労支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進が図られた。

②就労準備支援事業 3,996千円

- ・ 家計相談支援事業 98千円

債務整理や家計収支の適正化を支援し、生活の再建を図る家計相談支援事業に係る委託料

年 度	H28	H29	H30
延利用者数	15	20	17

- ・ 学習支援事業 496千円

生活困窮世帯の中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業に係る委託料等

年 度	H28	H29	H30
延利用者数	354	881	669

- ・ 就労準備支援事業 1,876千円

一般就労困難者に対して、基礎能力形成を目的とした支援付きの就労訓練事業に係る委託料

年 度	H28	H29	H30
延利用者数	37	92	83

【成果】 各種任意事業の実施を通じて生活困窮者の自立促進が図られた。

③我が事丸ごと地域づくり推進事業 686千円

横断的な相談体制の構築に向け、関係者研修及び複合的課題のある個別ケースの検討会の開催費用

年 度	H28	H29	H30
ケース検討会数	—	—	6

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 臨時福祉給付費	55千円	55千円

①過年度分臨時福祉給付金返還金 55千円

過年度分補助金額確定に伴う返還金。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額																	
		目	4 母子父子福祉費	40,399千円	36,589千円																	
<p>①母子父子福祉事業 44千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭の小中入学支度金 20千円 ひとり親で所得税非課税世帯に対し入学支度金を給付 10,000円×2人 災害遺児手当 24千円 義務教育修了前の児童のある養育者が、事故等により死亡または障害の状態になった住民税非課税世帯の場合、児童一人当たり月額2,000円を支給 <p>【成果】 災害遺児やひとり親世帯の児童の健全育成、経済的な支援を行った。</p>																						
<p>②母子福祉事業 36,545千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 母子生活支援施設措置委託料 31,576千円 配偶者がいないまたはこれに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。 ひとり親家庭学習支援事業 2,087千円 ひとり親世帯の中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業に係る委託料(生活困窮者自立支援事業における学習支援事業と対象者により費用を按分) 母子寡婦福祉資金の貸付 2,000千円 要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円(無利子)の貸付を行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借入件数</td> <td>7 件</td> <td>6 件</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>借入金総額</td> <td>1,300 千円</td> <td>1,100 千円</td> <td>930 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 母子寡婦貸付や、施設に保護し就労、子育て支援等の指導をし自立生活を促した。</p>							H28	H29	H30	借入件数	7 件	6 件	5 件	借入金総額	1,300 千円	1,100 千円	930 千円					
	H28	H29	H30																			
借入件数	7 件	6 件	5 件																			
借入金総額	1,300 千円	1,100 千円	930 千円																			
款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額																	
		目	6 児童手当費	235,021千円	230,534千円																	
<p>①児童手当等給付事業 230,485千円</p> <p>次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>一人当たり月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">0歳～3歳未満</td> <td>15,000 円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3歳以上小学校修了前</td> <td>第1子、第2子</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>15,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">中学生</td> <td>10,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">所得制限対象</td> <td>5,000 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童手当対象児童数 延べ 20,513人</p> <p>【成果】 児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定を図った。</p>						区分		一人当たり月額	0歳～3歳未満		15,000 円	3歳以上小学校修了前	第1子、第2子	10,000 円	第3子以降	15,000 円	中学生		10,000 円	所得制限対象		5,000 円
区分		一人当たり月額																				
0歳～3歳未満		15,000 円																				
3歳以上小学校修了前	第1子、第2子	10,000 円																				
	第3子以降	15,000 円																				
中学生		10,000 円																				
所得制限対象		5,000 円																				
款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額																	
		目	7 児童扶養手当費	72,132千円	70,700千円																	
<p>①児童扶養手当給付事業 70,665千円</p> <p>ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭の生活の安定と自立を助けるため手当を支給した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象児童数</th> <th>全部支給</th> <th>一部支給</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人</td> <td>月額 42,500円</td> <td>月額 42,490円～10,030円</td> </tr> <tr> <td>2人目</td> <td>月額 10,040円</td> <td>月額 10,030円～5,020円</td> </tr> <tr> <td>3人目以降</td> <td>月額 6,020円</td> <td>月額 6,010円～3,010円</td> </tr> </tbody> </table>						対象児童数	全部支給	一部支給	1人	月額 42,500円	月額 42,490円～10,030円	2人目	月額 10,040円	月額 10,030円～5,020円	3人目以降	月額 6,020円	月額 6,010円～3,010円					
対象児童数	全部支給	一部支給																				
1人	月額 42,500円	月額 42,490円～10,030円																				
2人目	月額 10,040円	月額 10,030円～5,020円																				
3人目以降	月額 6,020円	月額 6,010円～3,010円																				

実支給家庭数	H28	H29	H30
母子家庭数	123 世帯	127 世帯	117 世帯
父子家庭数	22 世帯	18 世帯	12 世帯

【成果】 受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 児童措置費	29,951千円	27,731千円

①障害児通所給付事業 27,731千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

【主な経費】

	H28		H29		H30	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
児童発達支援	106	4,412	68	2,846	78	3,531
医療型児童発達支援	49	531	26	176	32	358
放課後等デイサービス	302	22,561	303	22,400	354	19,087
保育所等訪問支援	4	60	8	78	10	99
相談支援	84	1,507	68	1,134	99	1,150

【成果】 発達障がいを含めた障がい児・者に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 生活保護総務費	66,866千円	66,261千円

①生活保護総務事業 12,587千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理する。

生活保護 人員体制 所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2名

- ・嘱託医報酬 332千円
- ・生活保護システム保守委託料 7,553千円
- ・被保護者夏季見舞金 256千円
- ・レセプト管理システム委託料 1,089千円 千円

年 度	H28	H29	H30
総務事業費	3,949千円	7,475千円	12,587千円

【成果】 生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予算現額	決算額
		目	2 生活保護扶助費	111,568千円	105,971千円

①生活保護扶助事業 105,971千円

生活に困窮する者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

- ・生活扶助 41,456千円
- ・医療扶助 51,310千円
- ・介護扶助 1,899千円

年度	H26末	H27末	H28末	H29末	H30末
受給者数	70人	76人	70人	69人	63人
世帯数	55世帯	59世帯	57世帯	54世帯	51世帯
扶助費	94,683千円	97,988千円	140,795千円	128,602千円	94,665千円

年度	H26	H27	H28	H29	H30	
相談数	32件	31件	23件	19件	22件	
申請数	15件	12件	6件	9件	11件	
結果	決定	9件	11件	5件	8件	9件
	却下	2件	1件	1件	1件	2件
	取下	4件	0件	0件	0件	0件
廃止	10件	7件	7件	12件	12件	
内訳	就労	3件	1件	0件	0件	2件
	死亡	2件	2件	2件	8件	6件
	その他	5件	4件	5件	4件	4件

【成果】 生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	1 社会福祉総務費	382,672千円	370,841千円

①国民健康保険特別会計繰出金事業 126,210千円

・保険基盤安定分	99,280 千円	・出産育児一時金分	3,175 千円
・保険財政安定化支援分	5,008 千円	・事務費、職員給与分	18,424 千円
・赤字補てん分	0 千円	・追加健診分	323 千円

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	2 特別医療費助成事業費	105,977千円	100,440千円

①特別医療費助成事業 98,483千円

対象者にかかる医療費を助成した。

・特別医療費審査手数料	68,976 件	2,436 千円
・特別医療費助成費	34,417 件	96,022 千円

金額:千円

	H28年度			H29年度			H30年度		
	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額
身障1,2級	261	6,729	47,863	259	6,794	46,269	245	6,706	43,681
重度知的障がい者	42	1,066	2,369	37	1,021	2,163	40	964	3,279
精神障がい者	9	206	2,076	9	201	2,541	9	238	3,511
特定疾病	2	25	248	2	15	199	1	14	196
ひとり親家庭	78	961	2,496	71	829	2,395	68	827	1,608
小児	2,496	25,248	43,942	2,486	26,101	42,839	2,434	25,668	43,747
合計	2,888	34,235	98,994	2,864	34,961	96,406	2,797	34,417	96,022

【成果】

・小児は18歳までを助成対象とし、対象者の医療費負担を軽減することができた。

②未熟児養育医療事業 536千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

(単位:件、千円)

	H28年度		H29年度		H30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	4	504	5	1,489	1	123

【成果】

対象者の医療費負担を軽減することができた。

③特定不妊治療費助成金交付事業 1421千円

	H28年度	H29年度	H30年度
特定不妊治療	28件 (人数15人)	27件 (人数16人)	14件 (人数 8人)
人工授精			3件 (人数 3人)
金額(千円)	3,440	3,231	1,421

【成果】 一人175,000円/回を上限に助成を行い、対象者の負担を軽減することができた。年度助成の回数制限をなくしたことで、治療が受けやすくなり、負担軽減につながった。H30年度より人工授精を助成対象とすることで、早期治療をうながすとともに費用負担の軽減につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	1 保健衛生総務費	8,788千円	8,543千円

①保健衛生総務事業 3,512千円

保健事業の推進のための各種事業を行った。

- ・健康推進員活動支援
- ・健康計画推進委員会の開催 2回
- ・公用車の燃料費及び管理費

【成果】健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。

②健康管理システム委託事業 5,029千円

健康かるてシステムを活用し各種健診・予防接種の通知や、健診結果・予防接種の管理を実施し、庁舎内での情報共有を図った。

【成果】健診結果、予防接種履歴等をシステムで一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等に役立った。

③献血事業 2千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

区分	H28年度		H29年度		H30年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	181人	146人	171人	147人	166人	132人
実施回数	3日(延べ12会場)		3日(延べ12会場)		3日(延べ11会場)	

※地震により1回中止

【成果】巡回可能会場数が減少する中、献血協力者の確保に努めた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	2 健康増進センター費	3,839千円	3,827千円

①健康増進センター管理事業 3,827千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。

(利用状況)

区分	利用者数		
	H28年度	H29年度	H30年度
健診棟	4,496人	4,034人	4,692人
調理室	799人	817人	1,401人
会議室	2,089人	1,307人	3,302人

※トレーニング室は、北栄子育て支援センターが通年利用

(利用内容)

区分	利用回数		
	H28年度	H29年度	H30年度
母子保健事業・成人健診事業	90回	82回	82回
子育て支援センター	通年利用	通年利用	通年利用
その他各種会議等	66回	85回	111回

【成果】施設の維持管理を行い、保健事業や子育て事業の場として活用した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	3 感染症等予防費	40,336千円	38,465千円

①感染症等予防事業 38,465千円

・定期予防接種

予防接種法に基づき、乳幼児・児童・生徒及び65歳以上の高齢者等に対する定期予防接種を実施し、感染症の予防を図った。

(延人数)

区 分	接種者数		
	H28年度	H29年度	H30年度
三種混合(DTP) (H28.7接種終了)	0人	0人	0人
四種混合(DTP-IPV)	429人	401人	384人
二種混合(DT)	104人	148人	105人
ポリオ(IPV)	3人	0人	0人
麻しん風しん混合	242人	235人	220人
日本脳炎	566人	570人	667人
BCG	106人	86人	105人
ヒブワクチン	401人	403人	370人
小児肺炎球菌ワクチン	404人	402人	368人
子宮頸がん予防ワクチン	0人	1人	3人
水痘	195人	199人	174人
B型肝炎 (H28.10～)	168人	287人	280人
高齢者インフルエンザ	2,860人	2,801人	2,955人
高齢者肺炎球菌	409人	455人	485人

※子宮頸がん予防ワクチンは平成25年6月から積極的勧奨を控えることとなっている。

・任意予防接種 費用助成

なるべく受けておきたい予防接種について、任意接種に係る費用の一部助成を行い、感染症の予防を図った。

(延人数)

区 分	接種者数		
	H28年度	H29年度	H30年度
乳幼児インフルエンザ	727人	757人	785人
小学生インフルエンザ (H27.10～)	604人	550人	608人
中学生インフルエンザ (H27.10～)	178人	162人	172人
ロタウイルス (H27.4～)	162人	118人	183人
おたふくかぜ	84人	99人	84人
風しん(大人)	15人	12人	38人

【成果】 医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	4 母子衛生費	12,230千円	11,711千円

①母子衛生事業 11,711千円

・乳幼児健康診査事業

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。

5歳児は保護者の希望等による相談(医師・心理士・就学に関する)を行った。

年度	項目	実施回数	対象者	受診者	要精密	追跡観察	要治療
28	乳児	6回	107人	106人	5人	9人	0人
	1歳6か月児	6回	116人	115人	2人	28人	0人
	3歳児	6回	131人	130人	14人	43人	2人
	5歳児	7回	131人	130人	11人	22人	0人
29	乳児	6回	91人	88人	2人	11人	0人
	1歳6か月児	6回	105人	100人	4人	10人	0人
	3歳児	6回	128人	123人	22人	41人	1人
	5歳児	5回	44人	41人	8人	7人	0人
30	乳児	6回	103人	103人	2人	3人	0人
	1歳6か月児	6回	93人	93人	2人	12人	0人
	3歳児	6回	121人	121人	15人	44人	2人
	5歳児	4回	25人	25人	9人	5人	0人

・妊婦乳児一般健康診査事業

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

項目	H28年度	H29年度	H30年度
妊婦一般健康診査	1,313件	1,330件	1164件
乳児一般健康診査	211件	185件	199件

※延べ件数

・乳幼児健康相談及び健康教室事業

各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	H28年度			H29年度			H30年度		
	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者
離乳食講習会	6回	102人	46人	6回	101人	37人	6回	94人	50人
1歳児教室	4回	111人	22人	4回	106人	31人	6回	117人	58人
2歳児教室	6回	115人	86人	6回	112人	80人	6回	106人	79人
2歳6か月児教室	4回	126人	80人	4回	119人	72人	4回	108人	68人

・訪問指導

	H28年度	H29年度	H30年度
妊産婦	108人	120人	145人
乳児	118人	98人	112人

※延べ人数

・歯科対策事業

(1歳6か月児、3歳児健診を除く)

項目		H28年度			H29年度			H30年度		
		回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者
フッ素塗布	3歳未満	10回	241人	166人	10回	231人	152人	10回	214人	147人
	3歳以上	1園	36人	34人	6園	360人	320人	6園	368人	312人
フッ化物洗口	年中・年長	5園	199人	183人	5園	212人	197人	5園	204人	197人
歯磨き指導(夏・冬)		12回	727人	685人	12園	720人	658人	12園	736人	687人

※フッ素塗布3歳以上は年1回実施。

平成28年度は北条みどり保育園のみ実施。平成29年度から全園で実施。

※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施

※フッ化物洗口は町立4園、私立1園の4・5歳児を対象に実施した:実人数。

・妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診事業

	対象者	対象者数	受診者数
妊婦歯科健診	妊婦の方	101人	36人
ふしめ歯科検診	40.45.50.55 60.65.70歳	1570人	100人

・保育所・こども園食育事業

こども園の食育年間計画に基づき食育事業を町内5園で実施した。子どもが主役のクッキング活動や手洗いチェックなど、体験型食育を実施した。



【成果】

・こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。

・食育事業では、子どもたちが食材に触れたり、調理による変化を観察したりと五感を使って体験することができ、食に対する関心が高まった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	5 健康支援費	45,907千円	42,868千円

①健康診査等事業 40,975千円

・基本健康診査、特定健診

病気の早期発見、早期治療、また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的に実施した。

健診区分	受診者数			
	H28年度	H29年度	H30年度	
基本健康診査	162人	163人	155人	
特定健診(国保)	1,254人	1,270人	1,378人	
内訳	集団健診	887人	850人	909人
	個別健診	275人	267人	322人
	人間ドック	92人	153人	117人
特定健診(国保外)	81人	91人	87人	
後期高齢者健診	368人	406人	389人	

*費用は国保会計で支出

*支出なし

・各種がん検診

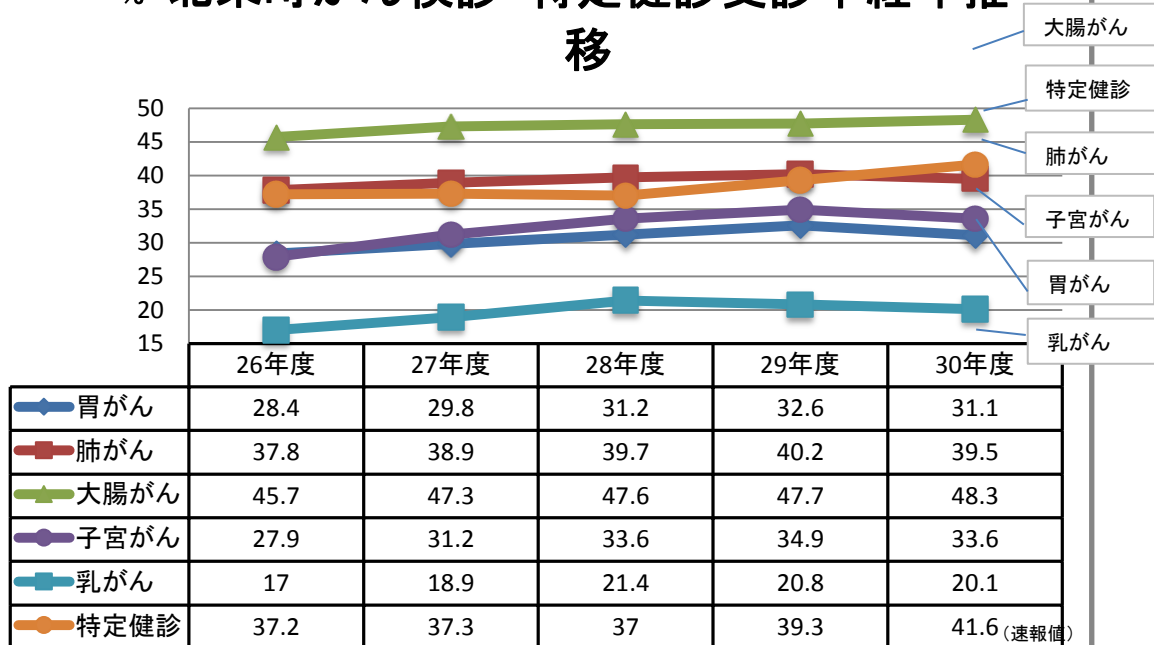
がんは、総死亡の3割を占めており全がん死亡率は現在も増加傾向にある。がん検診により早期発見し、早期治療を行うことでがん死亡を減少させるために実施した。

※精密受診者はR1年6月15日現在

年度	検診区分	受診者数				うち要精密 ()は受診者	精密受診 率(%)
		集団検診	人間ドック	個別検診	合計		
28	胃がん検診	589人	230人	904人	1,723人	61人(49)	80.3
	結核・肺がん検診	1,813人	233人	142人	2,188人	58人(53)	91.4
	喀痰検査	21人	2人	9人	32人	0人	
	前立腺がん検診	241人	103人		344人	15人(9)	60.0
	肝炎ウイルス検査	65人	233人	37人	335人	0人	
	子宮がん検診	849人		343人	1,192人	3人(3)	100.0
	乳がん検診	583人		115人	698人	47人(45)	95.7
29	大腸がん検診	2,656人	233人		2,889人	232人(166)	71.6
	胃がん検診	610人	329人	858人	1,797人	79人(67)	84.8
	結核・肺がん検診	1,749人	331人	137人	2,217人	32人(23)	71.9
	喀痰検査	18人	5人	10人	33人	0人	
	前立腺がん検診	218人	126人		344人	13人(10)	76.9
	肝炎ウイルス検査	49人	331人	64人	444人	2人(2)	100.0
	子宮がん検診	828人		409人	1,237人	4人(4)	100.0
大腸がん検診	乳がん検診	559人		119人	678人	34人(33)	97.1
	2,547人	331人		2,878人	200人(141)	70.5	

年度	検診区分	受診者数				うち要精密 ()は受診者	精密受診 率(%)
		集団検診	人間ドック	個別検診	合計		
30	胃がん検診	550人	265人	903人	1,718人	69人(58)	84.1%
	結核・肺がん検診	1,496人	266人	291人	1,981人	62人(53)	85.5%
	喀痰検査	12人	4人	13人	29人	0人	
	前立腺がん検診	206人	85人		291人	18人(14)	77.7%
	肝炎ウイルス検査	122人	265人	72人	459人	5人(2)	40%
	子宮がん検診	773人		420人	1,193人	8人(6)	75%
	乳がん検診	533人		122人	655人	49人(48)	98.0%
	大腸がん検診	2,655人	263人		2,918人	194人(144)	74.2%

％ 北栄町がん検診・特定健診受診率経年推移



・人間ドック委託 (対象年齢 40歳、45歳、50歳、55歳、61歳、65歳)

受診者	H28年度	H29年度	H30年度
男性	114人	139人	110人
女性	119人	192人	156人
計	233人	331人	266人

※H29年度から対象年齢に65歳を追加。
 ※H30年から中部医師会へ委託開始。
 中部26医療機関へ検診場所を拡大。

・訪問指導

健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	H28年度	H29年度	H30年度
特定保健指導	22人	68人	80人
健診事後指導	68人	62人	33人

(実人数)

【成果】 ・各がん検診を実施し、胃・肺・大腸・子宮・乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。

②健康支援事業 1,484千円

食生活改善推進員に健康づくりや食育推進に関する知識をさらに深める学習会を開催し、推進員が各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項目	対象者	H28年度		H29年度		H30年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	7回	157人	8回	169人	8回	177人
伝達講習会	自治会住民	17回	312人	20回	301人	19回	286人
食生活改善推進員養成講座		6回	101人			6回	111人

【成果】

- ・28自治会(延べ37自治会)で伝達講習会を実施し、望ましい食習慣の啓発を行った。
- ・302軒でみそ汁等の塩分測定を実施し、減塩の意識啓発を行った。
- ・他の組織・団体と連携した推進活動を実施し、食育の普及を図った。
(町、小・中学校、学校栄養職員、公民館、社協、健康サポーター他)
- ・健康相談及び健康教育事業
健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	H28年度		H29年度		H30年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	7回	908人	6回	620人	8回	700人
いきいき健康講座(各自治会)	32回	565人	40回	843人	44回	720人
その他の健康教室(出前講座等)	8回	115人	6回	61人	6回	113人
※健診事後教室	7回	101人	9回	386人	7回	150人
生活習慣病予防講演会					(血圧)	47人
こころの健康講演会	2回	300人				
健康フェスタ			(運動)	270人		

※健診事後教室:「食べ方講座」「運動教室」

- ・小学校食育事業『弁当の日』の取り組み(H25年度より)
小学校、栄養教諭、食生活改善推進員と連携して実施した。
家庭科の授業を利用して小学5年生が弁当作りを行った。小学6年生が弁当の日に取り組んだ。
- ・健康ポイントラリー事業
健(検)診事業(赤シール)と、健康づくり事業(青シール)の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方(抽選で150名)に、健康に関する賞品を贈呈した。
事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健(検)診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	28年度(新)	29年度	30年度
		377人	377人

※応募条件変更あり

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合91.7% (応募時アンケートより)

※いきいき健康講座の参加者増につながった。

健康講座応募者割合 H29:9%(174ポイント) ⇒ H30:9%(217ポイント)

※()は発行したポイント

- ・ヘルスアップ教室 (糖尿病性腎症重症化予防)
糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会とした。
参加者36人、延べ60人(医師講演会21人、食事教室23人、運動教室8人、血液検査8人)
※採血(血糖値,腎機能)受検者8人中 維持・改善5人
- ・まちの保健室
気軽に立ち寄り、健康チェックや健康相談をすることで生活習慣の振り返りをする機会として、いきいき健康講座のメニューに入れて実施。鳥取看護大学に委託し、町と共同開催。
土下、米里で実施。参加者計56人

【成果】

- ・いきいき健康講座は、メニューを増やしたことで開催する自治会が増え、健康への意識向上につながったと考える。
- ・血圧講演会は、健診結果から血圧高値者へは個別案内をし、試食で家との味付けの比較や減塩の工夫を体験する機会とした。また講演会開催後に高値者17名へ連絡し、高値者全員その後の意識の変化や実践、血圧測定の機会につながっていることを確認した。
- ・運動教室終了後、B&Gの運動教室に参加、運動継続につながった。トレーニングマシンの運動教室では、終了後、男性や若い女性は自主活動で運動継続できた。
- ・家庭科での弁当作りを同日公開参観日に実施し、保護者に参観してもらうことで家庭での食育啓発につながった。



③生活習慣病予防事業

393千円

・子どものよい生活習慣づくり事業

子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生希望者に脂質検査と生活習慣アンケートを行い、親子を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。大栄小は町独自で、北条小は授業参観にあわせて実施し、喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意など、生活習慣病予防について学んだ。

H28年度			H29年度			H30年度		
対象者	受検者	受検率	対象者	受検者	受検率	対象者	受検者	受検率
251人	180人	71.1%	126人	35人	27.8%	134人	41人	30.6%

※対象者：H28は小学5年生と中学2年生

※対象者：H29～は小学6年生

・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌事業

中学3年生を対象に、将来に向けて胃がんを予防する目的で行った。

項目	H28年度	H29年度	H30年度
一次検査受診率	77.4 %	78.6 %	83.7 %
真の陽性率	5.5 %	6.1 %	3.3 %

【成果】 児童だけでなく、保護者にとってもよい生活習慣づくりのきっかけになった。

④健康づくり人材育成事業

16千円

健康サポーターは、砂丘まつり等イベントで健康劇を披露したり、運動教室でレクリエーションを担当するなど自主的に活動を続けている。また、自治会や事業所を対象に各1回ずつ各種団体と連携を図りながら出前健康講座を企画、運営した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予算現額	決算額
		目	6 後期高齢者医療対策費	231,586千円	228,417千円

①後期高齢者医療対策事業 184,607千円

後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分	172,380千円
後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分	12,227千円

【成果】

後期高齢者医療に関する給付及び事務を広域連合で行うことにより効率的な運営となっている。

②後期高齢者重複・頻回受診者訪問指導事業 39千円

【成果】

医療費適正化のため、重複受診者11名、頻回受診者1名に対して訪問指導を行った。

③後期高齢者医療特別会計繰出金事業 43,771千円

・基盤安定分	41,635千円	・一般事務費等分	1,941千円
・健診個人負担分	195千円		

【成果】 健診費用の個人負担分を町が負担し、後期高齢者の健診の個人負担を無料とした。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	1 農業委員会費	52,440千円	51,688千円

①農業委員会総務事業 21,455千円

総会開催等の委員会事務を行う。

- (1) 現員 26人 うち農業委員 13人 農地利用最適化推進委員 13人
- (2) 総会開催状況 総会12回

・農地法事務処理状況

処理件数

年度	H28	H29	H30
農地法第3条	31	25	10
農地法第4条	4	9	1
農地法第5条	15	16	19
農地法第3条の3	33	49	54
農地法第18条	60	56	50
非農地証明	7	5	7
2a未満転用	3	2	0
土地改良届	1	0	0
計	154	162	141

- 農地法第3条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定
- 農地法第4条 : 所有者による農地の転用
- 農地法第5条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用
- 農地法第3条の3 : 相続等の権利取得の届出
- 農地法第18条 : 農地使用貸借等の解約
- 非農地証明 : 非農地であることの承認
- 2a未満転用 : 小規模な農業用施設設置に係る転用
- 土地改良届 : 水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況

処理件数

年度	H28	H29	H30
利用権設定(筆)	929	707	976
うち解除条件付	24	14	12
所有権移転	5	11	4
計	934	718	980

(3) 委員会活動状況

- 農地委員会 営農状況調査2回、営農状況・意向調査1地区
- 農政委員会 青年農業者研修会2回、意見書提出1回
- 広報委員会 農業委員会だより『菜種』発行4回



営農状況・意向調査(上種)



第7回青年農業者研修会



菜種

(4) 農振法事務処理状況

処理件数

年度	H28	H29	H30
軽微変更	1	3	1
重要変更	8	12	7
計	9	15	8

軽微変更 : 用途変更等

重要変更 : 農用地区域からの除外(農地転用)等

【成果】 農地法、農業経営基盤強化促進法、農振法の趣旨に基づき、農地を守り活かすことができた。

②農地流動化推進事業助成金事業 10,287千円

認定農業者等の農地の賃借を助成金で支援し、経営規模の拡大と農地の流動化を図る。

・助成要件 平成30年1月1日から平成30年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者 (2,000円/10a・年)

年度	H28	H29	H30
対象者(人)	27	41	32
うち家族経営協定締結者	11	14	13
対象面積(m ²)	348,657.84	719,924.03	650,144.92
うち家族経営協定締結者	90,408.00	107,904.06	129,540.90

・認定農業者以外 (1,000円/10a・年)

年度	H28	H29	H30
対象者(人)	64	71	60
うち家族経営協定締結者	4	5	4
対象面積(m ²)	232,061.82	272,872.00	275,787.40
うち家族経営協定締結者	17,668.00	37,116.00	16,806.00

【成果】 認定農業者等の経営規模の拡大、農地の流動化、及び、遊休農地の発生防止と解消を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	2 農業経営基盤強化費	24千円	24千円

①農業経営基盤強化事業 24千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行う。

【成果】 国有農地の有効活用を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	3 農業者年金費	718千円	718千円

①農業者年金事業 718千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進、及び、北条支部農業者年金友の会の運営を行う。

・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者 (人)			
年度	H28	H29	H30
新農業者年金	48	49	44
うち新規加入者	1	4	3

受給待期者			
年度	H28	H29	H30
旧農業者年金	25	24	20
新農業者年金	19	20	23

受給者 (人)			
年度	H28	H29	H30
旧農業者年金	245	229	216
新農業者年金	17	18	22

農業者年金友の会会員数			
年度	H28	H29	H30
北条支部	43	35	34

【成果】 農業者に豊かで安定した老後の生活を提供できた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	17 農地中間管理費	3,812千円	3,809千円

①農地中間管理事業 3,809千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図る。

・機構集積協力金交付事業 1,400千円

年度	H28		H29		H30	
協力金名	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)	件数	面積(m ²)
地域集積協力金	-	-	-	-	-	-
経営転換協力金	2	10,271.00	5	17,593.00	4	20,560.00
耕作者集積協力金	-	-	-	-	-	-

・中間管理事業による実績

年度	H28		H29		H30	
マッチング (中間管理権設定)	筆数	面積(m ²)	筆数	面積(m ²)	筆数	面積(m ²)
	123	233,035.00	203	310,644.00	316	383,010.00

【成果】 担い手への農地の集積を推進することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	16 移住推進費	21,993千円	17,534千円

①上種・両高尾地区地域おこし協力隊事業 3,339千円 ※国事業(特交)

有害鳥獣の捕獲活動、生態調査、被害現場の確認、有害鳥獣マップの作成を行った。また、竹材活用の一環として竹灯籠の制作に取り組みながら、地域行事への積極的な参加を行った。

【成果】 有害鳥獣の捕獲による被害軽減、竹材活用及び地域行事参加により、地域力の維持・強化に向けた合意形成を図ることができた。

②イチゴ産地化地域おこし協力隊事業 14,195千円 ※国事業(特交)

イチゴの栽培やイチゴのPR活動を行った。また先進地視察や研修に参加し、栽培技術の向上に努めた。その他にも、祭りや清掃活動等の地域行事に参加した。

【成果】 視察研修にて交配用ミツバチの飼育方法を学び、より効果的な栽培技術の習得を図った。また地域行事の参加により、地域住民との信頼関係の構築を図った。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	5 農業振興費	382,484千円	311,741千円

①農業振興事業 395千円

大栄西瓜マスコットキャラクター「夏味ちゃん」の着ぐるみのイベント参加やうちわ等のグッズ作成を通して、消費拡大に向けたPR活動を行った。

夏味ちゃんうちわ 2,000枚



②経営改善支援活動事業 428千円

- ・農業経営基盤強化資金利子補助金(*県1/2、町1/2) 138千円 *県事業
- ・果樹共済農家負担軽減補助金(*県1/2、自己負担1/2) 260千円 *町=自己負担1/2の20%
- ・米価下落緊急対策資金利子補助金(*県1/3、町1/3、JA1/3) 14千円 *町1/3
- ・認定農業者審査会報償費(審査会開催日:6/4、11/29、1/31) 16千円 *町単独事業
- *審査内容(6/4)新規5件・更新4件・変更1件、(11/29)新3・更2・変1、(1/31)新5・更3
- *審査委員=農家代表2人、学識経験者1人、普及所1人、農業委員2人、JA(営農センター)1人、産業振興課1人

【過去の実績】

年度	H28	H29	H30
農業経営基盤強化資金利子補助	13	8	6
果樹等経営安定化資金利子補助	1	1	
自作農維持資金利子補助	1	1	
果樹共済農家負担軽減補助	58	53	55
米価下落緊急対策資金利子補助	5	5	5
認定農業者認定件数(新規)	16(11)	15(8)	24(13)

【参考資料】

認定農業者総数の推移	
H28	107人
H29	111人
H30	124人

*所得380万円以上
1,900時間労働/年

【成果】 安定的な経営をめざす農業者の借入に対し利子負担の軽減が図れた。認定農業者(地域農業のモデル的経営農家・地域農業を担う意欲的な農家)の優良事例が増加した。

③農業振興補助金事業 28,703千円

・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金 926千円 *町単独事業
生産者自らが消費地に出かけて行う販売促進活動や料理講習会の開催などのPR活動、また、PR用チラシの作成などに要する経費に対して補助金を交付し、さらなるブランド化の推進を図った。

6生産部(長芋、大栄西瓜、オリジナル野菜、花き、らっきょう、ぶどう)

【成果】 行政と生産者が一体となって、町内産農産物の販促等のPR活動を行ったことで、ブランド品の推進が図れた。

- ・経営所得安定対策推進事業費補助金 2,407千円 *国事業(国10/10)
経営所得安定対策制度を円滑に推進するため、実務を行う北栄町農業再生協議会に対して、補助金を交付した。

【成果】 申請に必要な書類の配布や回収、データの整理など必要経費を支援することで、事業の推進が図れた。

- ・鳥取梨生産振興事業費補助金 7,423千円 *県事業(県2/3)
鳥取県育成オリジナル新品種(新甘泉など)の導入と生産基盤の整備のための費用に対する支援を行った。
1農家(網掛け施設 27.05a)
4農家(スピードスプレーヤー 1台)
5農家(ジョイント大苗(新甘泉)育苗受委託 60.9a、1,015本)
4農家(乗用モア 1台)

【成果】 新甘泉の導入と生産基盤の整備により、梨産業の活性化を図った。

- ・戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金 5,306千円 *県事業(県3/4)
新規就農者の参入促進・梨産地活性化・生産者の所得向上のため、鳥取県育成新品種(新甘泉など)を主体とした果樹団地を戦略的に整備するための費用に対する支援を行った。
4農家 33.81a (果樹棚、新植)

【成果】 曲地内で梨団地を整備し、生産施設の支援及び新規就農者への参入後の支援を行った。

- ・集落営農組織等畑作支援補助金 209千円 *町単独事業
集落営農組織等において、水稻に加え新たに収益が高い畑作物への経営拡大を図るための費用に対する支援を行った。
1組織(かんしょ)

【成果】 集落営農組織等の新たな畑作物への取組を支援し、経営基盤の強化の支援が出来た。

- ・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 12,433千円 *県事業(県1/2)
産地で振興する果樹の品目品種の生産拡大を図るための費用に対する支援を行った。
1農家(ぶどうハウス 18a)
1農家(ぶどう改植 356.45a、4,604本)

【成果】 生食用ぶどうハウスの整備及び加工用ぶどうの改植をすることで、ぶどうの生産拡大を図った。

【過去の実績】

(千円)

年度	H28	H29	H30
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	925	888	92
経営所得安定対策推進事業補助金	2,647	2,735	2,407
鳥取梨生産振興事業費補助金	-	1,097	7,423
戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金	-	1,531	5,306
集落営農組織等畑作支援補助金	-	348	209
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	-	105	12,433
鳥取芝ブランド化生産振興事業補助金	2,115	1,090	-

④がんばる農家プラン支援事業 38,267千円 * 県事業(県1/3、町1/6)

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

- ・水田農業の事業拡大プラン 7,299千円
コンバイン4条、汎用乾燥機
- ・プラグ苗生産事業拡大プラン 14,000千円
生産用ハウス、台車、運搬車、商標登録出願、展示会販売促進
- ・花壇苗生産拡大プラン 4,500千円
培土配合・充填ライン整備
- ・花壇苗生産拡大プラン 1,965千円
土入機、播種機、循環扇及び加温器電気工事
- ・ブロッコリー生産拡大プラン 3,375千円
トラクター、ロータリー
- ・青ねぎ生産拡大プラン 4,167千円
野菜結束ライン、搬送コンベアー
- ・農福連携プラン 2,962千円
トラクター、集草機、らっきょう根切り機、動噴、土壤消毒機



【過去の実績】

H28		H29		h30	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
2	21,668	4	26,512	7	38,268

【成果】 農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化につながった。

⑤就農条件整備事業 4,323千円 * 県事業(県1/3、町1/6)

新規に作物を導入し、新規に就農する者に、必要不可欠な機械・施設を整備し、営農計画の実現と農業経営の安定を図った。

(整備内容)

- ハンマーモア、集草機 293千円
- フロントローダー、動噴、運搬車、プラソイラー、保冷库等 1,405千円
- ハウレンソウ調製機、野菜類袋詰め機、真空播種機 697千円
- トラクター、ラジコン動噴 1,800千円

【過去の実績】

H28		H29		H30	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
4	1,652	5	7,166	4	4,323



【成果】 新規就農者の初期設備投資にかかる負担を軽減することができた。

⑥現地課題チャレンジ試験補助金事業 551千円 * 町単独事業

農産物における現地の緊急的な課題について、課題解決のための試験実施を支援した。

【過去の実績】

H28		H29		H30	
課題(件)	金額(千円)	課題(件)	金額(千円)	課題(件)	金額(千円)
4	171	1	366	1	551

【成果】 畜産業における臭気対策実証実験
畜産業における臭気対策は、長年の課題となっていることから、臭気を消すのではなく、変えるという発想で、不快な臭いを低減させる実証実験を行う費用を支援した。

⑦北栄アグリフォーラム事業 625千円 *町単独事業

JA鳥取中央の農業祭と共同開催し、「永続する農業・農村経営を目指して」をテーマに講演会を実施したほか、ほのまる・加藤アプリなど鳥取県で農業に携わる吉本芸人のトークショーを実施した。

平成30年12月1日(土)実施
 永続する農業・農村を目材して
 講師:株式会社 田切農産 代表取締役 紫芝勉 氏
 参加者数:198人



【過去の実績】

年度	実施日	参加者数
H28	平成29年1月14日(土)	187人
H29	平成30年1月20日(土)	217人
H30	平成30年12月1日(土)	198人

【成果】 集落営農組織から農作物販売から加工、農地を守る取り組みなど実施する法人へと発展した「株式会社田切農産」の取り組みに触れることで、農業の振興及び町民への啓発につながった。

⑧集落営農体制強化支援事業 759千円 *県事業(県1/3、町1/6)

農作業の効率化及び省力化を図り、生産組合の財政基盤を強化するため、機械や施設を整備した費用を補助した。

・アッパーロータリー、播種機 759千円

【過去の実績】

H28		H29		H30	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
		1	815	1	759

【成果】 機械の導入により、農作業の効率化及び省力化が図れ、作業受託面積が増加し、財政基盤が強化された。

⑨6次産業化モデル支援事業 241千円 *町単独事業

県の6次産業化総合支援事業の対象とならない場合で、6次産業化(生産・加工・販売)を行う農業を展開していくための取り組みに対して支援した。

【過去の実績】*食と農の魅力創造支援事業

H28		H29		H30	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
4	617	4	444	3	241

【成果】 新商品の開発や独自販路を見出すきっかけづくりとなり、規模拡大の一助になった。

⑩企業等農業参入促進支援事業 7,500千円 *県事業(県1/3、町1/6)

・企業等農業参入促進支援事業補助金 7,500千円
 農業経営に意欲的な企業等の新規参入を促し、農業経営の初期段階の円滑な経営の推進を図るために農業参入する企業を参入検討段階から支援した。

ビニールハウス 1事業者 6棟 1,890㎡

【成果】 設備導入費用を補助することで企業の農業参入がスムーズに行えた。

⑪産地パワーアップ事業 205,464千円

- 産地パワーアップ事業費補助金 9,340千円
産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組に対する支援を行った。

*国事業(国:資材費の1/2)

西瓜 寒冷紗 54戸 240枚
果菜類 養液かん水装置、自動換気装置、遮光防砂ネット

- 産地パワーアップ事業費補助金【繰越】 5,157千円

産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組に対する支援を行った。

*国事業(国:資材費の1/2)

葉物類 寒冷紗 27戸 182枚

【成果】 寒冷紗の導入により小松菜、西瓜の育成拡大、養液灌水装置などの導入によりイチゴの生産強化及び面積拡大を行った。

- 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 146,502千円

施設園芸の産地を作るため導入する鳥取型低コストハウスの整備に対して支援を行った。

*県事業(国1/3(資材費の1/2)、県2/9、町1/9)

西瓜 低コストハウス 26戸 118棟 33,740㎡
果菜類 低コストハウス 1戸 5棟 2,554㎡、高設ベンチ

- 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金【繰越】 44,465千円

施設園芸の産地を作るため導入する鳥取型低コストハウスの整備に対して支援を行った。

*県事業(国1/3(資材費の1/2)、県2/9、町1/9)

葉物類 低コストハウス 12戸 48棟 11,841㎡

【成果】 鳥取型低コストハウスの導入により小松菜、イチゴの生産強化及び面積拡大を行った。

【過去の実績】 *鳥取型低コストハウスの導入状況

年度	H27		H28		H29		H30	
園芸産地活力増進事業	33棟	10,185㎡	-	-	-	-	-	-
鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	-	-	135棟	41,741㎡	197棟	54,952㎡	171棟	48,135㎡

⑫園芸産地活力増進事業 17,289千円

- 園芸産地活力増進事業 17,091千円
 - 西瓜選果場フリートレー仕分け制御システム 14,745千円 *県事業(県1/3、町1/6)
 - 東郷梨選果場製函・空箱供給設備 1,146千円 *県事業(県1/3、町1/6)
 - 新テッポウユリ委託苗実証ほ設置 1,200千円 *県事業(県1/3、町1/3)

【成果】 JA施設の機能向上・発展、新テッポウユリの育苗受委託体制の構築に繋がった。

- 戦略的園芸品目(白ネギ)総合対策事業 198千円 *県事業(県1/3、町1/3)
難防除病害「ネギ黒腐菌核病」の発生ほ場の土壌消毒に対して支援を行った。

【成果】 ほ場のネギ黒腐菌密度低減を図るとともに、周辺ほ場への病気の拡散を防止した。

⑬農業経営サポート事業 2,282千円 *町単独事業
 就農営農相談員を配置し、営農相談や新規就農者の支援を行った。また、農作業人材紹介センターを開設し、農業の雇用促進を図った。

・就農・経営等相談状況

	H28	H29	H30
就農相談	20人	23人	34人

・農作業人材紹介センター登録、照会状況

農業に特化したハローワークの開設も行い、農業の雇用へ結びついている。

	H28	H29	H30
新規求職者登録数	25人	9人	2人
紹介農家戸数(延べ数)	35戸	6戸	3戸
紹介者人数(延べ数)	41人	5人	3人

=マッチング件数

・体験農園の管理委託

JA鳥取中央青壮年部大栄支部ドリームクラブに体験農園の管理委託をし、町内の園児とサツマイモの植付けと芋掘りの農業体験交流を行った。

⑭中部フェスタ事業 320千円 *町単独事業

生産者等に「中部発！食のみやこフェスティバル」出展に関する経費を支払った。

【成果】 フェスタで北栄町ブースを設置し、北栄町及び町の特産農産物と加工品等を消費者にPRした。

⑮スマート農林水産業推進事業 2,848千円 *県事業(県1/2、町1/2)

北条ぶどう産地の連棟パイプハウスの長寿命化(補強)技術の検討及び実証ほ場の設置に対し、支援を行った。

【成果】 北条ぶどう産地の連棟パイプハウスの長寿命化(補強)技術の開発を行った。

⑯農産物PR事業 694千円 *町単独事業

滋賀県湖南市、東京都港区などで県外、大都市圏の消費者や飲食関係業者へ北栄町農産物品のPRを行った。

【成果】 県外の消費者、飲食店関係者へ北栄町農産品の魅力をPRするきっかけとなった。



款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	6 担い手育成支援費		

①担い手育成支援事業 25,621千円

・次世代人材投資資金(経営開始型) 16,686千円 *国事業(国10/10)
 持続可能な力強い農業を実現するため、新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を支援した。(13人)

【過去の実績】

H28		H29		H30	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
18	26,960	18	27,249	13	16,686

【成果】 就農初期の生活等安定を図る資金として支援できた。

- ・親元就農促進支援交付金 7,600千円 * 県事業(県2/3、町1/3)
親元での就農を促進し、地域農業の担い手としての定着するまでの間を支援した。(9組)

【過去の実績】

H28		H29		H30	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
8	6,600	7	6,400	9	7,600

【成果】 研修期間中の生活等安定を図る資金として支援した。

- ・就農応援交付金 1,000千円 * 県事業(県2/3、町1/3)
認定就農者(県知事が認定)に対し、就農初期の研修資金及び生活資金等の負担軽減を図るため、応援交付金を給付し、円滑な就農ができるよう支援した。(1人)

【過去の実績】

H28		H29		H30	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
-	-	-	-	1	1,000

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	7 農林業地域改善対策費	1,124千円	1,120千円

①地域改善対策負担軽減事業 1,060千円 * 町単独事業

県営ほ場整備事業(21世紀水田対策大倉地区)に係る地元負担金及び経常経費に対し補助した。

【成果】 地元負担の軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	8 畜産振興費	19,352千円	11,913千円

①畜産振興事業 11,913千円

- ・畜産経営維持継続支援対策補助金 906千円 * 町単独事業
枝肉価格が低迷し、所得が低下した場合に交付される事業の積立金の生産者負担軽減のため、支援した。

【過去の実績】

区分	H28		H29		H30	
	数量(頭)	助成単価(円/頭)	数量(頭)	助成単価(円/頭)	数量(頭)	助成単価(円/頭)
肉専用	87	2,400	51	2,400	89	2,400
交雑種	430	1,600	234	1,600	238	1,600
乳用種	17	1,000	12	1,000	18	1,000
養豚	4,795	105	4,586	105	2,800	105

【成果】 補てん減額分の生産者負担を軽減した。

- ・鳥取和牛振興増頭対策事業補助金(増頭対策) 8,380千円 * 県事業(県1/2、町1/6)
繁殖雌牛の増頭(計21頭)に対する導入経費を支援した。

【成果】 増頭に要する施設整備費及び繁殖雌牛の導入費用の負担を軽減した。

- ・乳用牛優良精液利用促進事業補助金 979千円 *町単独事業
優良精液の購入費の補助(1/2以内)を行い、優良精液の種付けをすることにより、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産を図り、安定した酪農経営を支援した。

【過去の実績】

H28		H29		H30	
配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)
259本	999	250本	948	251本	979

【成果】 優良精液を各酪農家が利用し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

- ・優良乳用牛購入事業補助金 700千円 *町単独事業
乳用牛の増頭を目的とした繁殖雌牛の購入について、その経費の一部を補助し、安定した事業経営を支援した。

【成果】 7頭の雌牛を増頭し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

- ・後口谷畜産団地刈払い・伐採作業委託料 755千円 *町単独事業
後口谷畜産団地の草木が繁茂し、敷地外に伸長して町道通行の支障となっているものについて伐採した。

【成果】 敷地外に垂れ下がっている草木を伐採し、町道の見通しが良くなった。

- ・不動産鑑定手数料 157千円 *町単独事業
後口谷畜産団地の土地や建物について、不動産鑑定を実施した。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 農地費		
				49,796千円	48,343千円

①単町農業農村整備事業 2,030千円 *町単独事業

町が管理する農道の除草、修繕を行った。

- ・農道管理委託料 1,126千円
公社シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会(スイカロード除草)へ委託した。

- ・農道修繕工事請負費 687千円
松神、北条西農免、米里曲線、東高尾の農道の修繕を行った。

- ・農道台帳管理費 217千円

【成果】 農道の適切な管理ができた。

②単県・団体営基幹農道借入金償還金補助金事業 2,911千円 *町単独事業

- ・土地改良事業に係る町道新設改良事業費の債務負担

【成果】 農道整備に係る負担軽減ができた。

③土地改良区地元負担軽減補助金事業 13,649千円 *町単独事業

地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。(町道新設改良事業費償還金補助を含む)

- ・北条砂丘土地改良区関係 3,485千円
- ・北条水系土地改良区関係 4,636千円
- ・大倉土地改良区関係 1,904千円
- ・大栄町土地改良区関係 3,624千円

【成果】 土地改良区へ補助することにより農家の負担軽減となった。

④国営事業 10,570千円

- ・国営東伯地区維持管理事業負担金 9,133千円 *国、県、町(北栄37.8%、琴浦62.2%)
- ・西高尾ダム周辺施設維持管理費 1,399千円 *町単独事業

【成果】 対象施設の適切な維持管理が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	10 中山間地域等直接支払費	384千円	383千円

①中山間地域等直接支払事業 383千円 *国事業(国1/3、県1/3、町1/3)

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等(東高尾地区)における農業生産の維持を図るための活動に対し補助するもの。

年度	H28	H29	H30
協定数	1	1	1
対象用地	34,447㎡	34,447㎡	34,447㎡

※協定期間 H27～H31

【成果】 中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	11 有害鳥獣防除費	1,211千円	771千円

①有害鳥獣防除事業 771千円

有害鳥獣の捕獲や駆除により、農林産物への被害を防いだ。

- ・鳥獣被害対策実施隊賃金 170千円 *町単独事業
- ・射撃環境改善事業補助金 11千円 *県事業(県1/3、町1/3)
有害鳥獣捕獲に従事する者の射撃練習に係る費用を支援し、野生鳥獣の保護管理を図った。
- ・ヌートリア等捕獲奨励金 543千円 *県事業(県1/3、町1/3)
一部町単独…カラス、アナグマ

【過去の実績】 (匹、頭、羽)

捕獲・駆除	奨励金	H28	H29	H30
ヌートリア	3,000円	148	90	68
イノシシ	10,000円	43	21	23
カラス	1,000円	5	19	28
シカ	猟期外 10,000円	4	5	3
アナグマ	3,000円	19	33	17

- ・ヌートリア・アナグマ対策講習会
講師報償費 8千円
- ・カラス一斉駆除用弾代 39千円

*シカの捕獲については、猟期(11/1～2月末)は奨励金5,000円。

【成果】 捕獲により農作物等への被害の軽減を図った。
 ストリア等による被害が継続しているため、鳥獣被害対策実施隊員を講師に「ストリア・アライグマ対策講習会(外来法による捕獲講習)」を開催し、農家が鳥獣被害から自衛できる体制づくりを行った。(参加者:27人)

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	12 多面的機能支払交付金費	104,852千円	88,926千円

①多面的機能活動支援交付金事業 88,926千円 *国事業(国1/2、県1/4、町1/4)
 地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。
 ふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付(無利子)事業を行った。(3組織)

【過去の実績】

	年度	H28	H29	H30
多面的機能(農地維持、資源向上(共同))活動支援交付金		25	24	24
多面的機能(資源向上(長寿命))活動支援交付金		17	15	15

【成果】

各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化を図れた。
 (組織数 24)*順不同

西新田場松風の里環境保全会	妻波地区農地・水・環境保全会	西園みどりの会	大谷ふるさと愛創会
TMA(田井)	江北環境保全会	六尾農地保全の会	下種地域ふるさと保全会
弓原地区農地・水・環境保全会	松神豊かな郷	原農村資源保全協議会	東高尾清流の郷
下神地域環境保全隊	北尾環境活動組織	穂波水とみどりの会	
瀬戸みどりネット	米里農地保全の会	大島みどりと水を守る会	
亀谷環境保全会議	まがり美土里グループ	西穂波地区環境保全会	
北条島地区水田耕作者の会	東園環境保全活動組織	別所地域農地・水・環境を守る会	

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	58,867千円	51,540千円

①しっかり守る農林基盤整備事業 51,540千円 *県事業(内容により補助率が異なる)
 農道補修、畑かん用水ポンプ修繕、畑かん用水管更新、台風24号災害による災害復旧など

【成果】 農業生産基盤の改良、新設及び改修等が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	14 環境保全型農業直接支援対策費	672千円	671千円

①環境保全型農業直接支払対策事業 671千円 *県事業(国1/2、県1/4、町1/4)
 農薬の50%削減と地球温暖化効果のある取組(カバークロープ(レンゲ草))など環境保全型農業に取り組む農家等に対し、交付金(8,000円/10a)を交付した。

【過去の実績】

H28		H29		H30	
件数	面積(a)	件数	面積(a)	件数	面積(a)
2	1,064	1	873	1	839

【成果】 環境保全を重視した農業生産に取り組んだ。

* 取組団体:原西部営農組合

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	1,398千円	1,398千円

①土地改良施設維持管理適正化事業 1,398千円 * 県事業(国30%、県30%、改良区等10%、町30%)

土地改良施設の整備・補修・維持管理に必要な事業費を5年間積み立て、整備補修を実施する事業に取り組む改良区に対し交付金を交付した。

・北条砂丘土地改良区関係 1,158千円

・大倉土地改良区関係 240千円

【成果】 5年後の事業実施に向け、積み立てが出来た。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	28 気象災害等対策費	420千円	357千円

①緊急防除支援事業 357千円

・緊急防除支援事業費補助金 357千円 * 県事業(県1/3、町1/3)

平成30年7月及び9月の記録的な大雨の影響で被害のあった園芸品目ほ場において、病害発生防止のための緊急防除及び生育回復のための液肥散布に対して支援を行った。

・西瓜 17戸 299.7a

・長芋 29戸 1,366.4a

・白葱7月 11戸 182.4a

・白葱10月 11戸 206.4a

・ブロッコリー 13戸 602.0a

・キャベツ 5戸 331.0a

【成果】 大雨の影響で被害のあった園芸品目の生産者の営農意欲の維持と産地の再興を図つ

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	1 林業振興費	3,630千円	2,176千円

①枯松伐採促進事業 106千円 * 町単独事業(事業費の60%を助成)

松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。

* 事業体:個人2名

【過去の実績】 (本)

	H28	H29	H30
枯松伐採	50	40	8

【成果】 枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大防止となった。

②林業労働者福祉向上推進事業 160千円 * 町単独事業(全市町村実施)

総林野面積、林業労働者数、人口により按分した額を県内全市町村で負担するものです。

* 事業体:1)鳥取県林業担い手育成財団

【成果】 林業労働者の確保のため、就労条件改善(年末一時金、年金掛金の一部を助成)を行った。

③間伐材搬出促進事業 617千円 *町単独事業(1,000円/㎡を助成)

間伐の推進、間伐材の搬出を促進するため、間伐材の搬出経費に対して助成を行った。

* 事業体:鳥取県中部森林組合

【過去の実績】

	H28	H29	H30
伐採面積(ha)	0.32	12.80	7.30

【成果】 国土保全、水源涵養などの公益的機能の回復、増進に役立った。

④森林クラウドシステム整備事業 1,156千円

地域森林計画の対象となっている民有林の所有者の氏名、住所、地目等を記載した林地台帳の整備を行った。

【成果】今後の森林施業の集約化及び効率化に資する情報の整備ができた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	2 松くい虫防除費	25,577千円	23,538千円

①松くい虫防除事業 18,012千円 *県事業

松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除及び被害木の伐倒駆除を実施した。

*高度公益機能森林(海岸付近 県補助65%) 地区保全松林(蜘蛛ヶ家山周辺 県補助50%)

業務内容	H30	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布(地上作業含む)	95ha	6,732千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	1,011千円
松くい虫被害特別伐倒駆除(枝条破碎)	256.3m³	8,883千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	108千円
養蜂群移転補償	1式	587千円
その他(動員費、事務費)	1式	691千円



【過去の実績】

業務内容	H28		H29	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布(地上作業含む)	95ha	5,201千円	95ha	5,354千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	936千円	8.5ha	988千円
松くい虫被害特別伐倒駆除(*)	194.7m³	4,551千円	297.8m³	5,526千円
松くい虫防除事業樹幹注入	-	-	-	-
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	130千円	1式	330千円
養蜂群移転補償	1式	539千円	1式	507千円
その他(動員費、事務費)	1式	319千円	1式	369千円

*H29の特別伐倒駆除(枝条破碎)については、H30の繰越事業

②松くい虫防除事業(特別伐倒駆除)【繰越事業】 5,526千円 *県事業

【成果】 松くい虫防除及び、松くい虫被害木の徹底伐採を行った。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	3 松林保全対策費	288千円	113千円

①松林保全推進事業 113千円 *町単独事業

松くい虫に強い松(抵抗性クロマツ)の苗木の購入を行い、関係者に配布し、松林の保全を行った。

* 6地区(国坂浜、田井、下神、松神、西園、大谷)

【過去の実績】 (本数)

	H28	H29	H30
購入本数	812	1,225	959
地区数	4	6	6

【成果】 抵抗性松を配布し、各地区にて植栽し、管理していただいた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予算現額	決算額
		目	4 竹林整備費	1,339千円	818千円

①竹林整備事業 818千円

・竹林整備事業補助金 818千円 * 県事業(県80%)

放置竹林を整備(伐採)する費用に対し、(森林環境保全税を活用し)支援を行った。

* 施行地面積が0.1~1.0ha未満

整備面積 0.4ha

整備箇所 2か所(亀谷、曲)

【過去の実績】

	H28	H29	H30
伐採本数	6,698本	4,018本	3,816本
箇所数	3	2	2

【成果】 竹林の拡大防止と森林環境の改善が図られた。

款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	予算現額	決算額
		目	1 水産業振興費	57千円	56千円

①水産振興事業 56千円 * 町単独事業

・種苗放流事業費補助金

水産資源の増大を図るため、漁協等が行う種苗(アワビ、サザエ、キジハタ)放流事業に対し支援した。

* 町負担 アワビ・サザエ (事業費 - (県負担: 事業費×1/3))×1/3

キジハタ (事業費 - (県負担: 事業費×3/4))×1/2

【過去の実績】

	H28		H29		H30	
	放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)	放流	漁獲(kg)
アワビ	500個	276	500個	230	500個	230
サザエ	1,500個	778	3,000個	1,397	3,000個	1,397
キジハタ	2,617.5尾	574	2,617.5尾	1,206	2,943.5尾	1,206

【成果】 中間育成種苗を放流し、資源管理が行われた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	1 商工振興費	106,560千円	98,947千円

①商工振興事業 6,207千円 * 町単独事業

商工会が行う経営支援事業、交流事業、地域活性化事業に補助し、商工業者の活動を支援した。また、町内進出企業の本社を訪問し、今後の事業計画等について聞き取りを行った。

【過去の実績】 商工会育成費補助金

H28		H29		H30	
会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)	会員数(人)	補助金額(千円)
373	5,600	375	5,734	377	5,800

会員数は年度末の数字

【成果】 商工会の経営支援事業及び地域総合支援事業に対して補助を行い、事業の支援を

②小口融資等貸付事業 146千円 * 県事業(町:出捐金あり)

これまでの融資残高に対する金額を年度当初に金融機関に預託し、預託金は年度末に償還される。新たな貸付はなかった。

【過去の実績】

	H28	H29	H30
新規融資決定件数	0	0	0
利用事業者数(償還)	4	3	3
年度末預託金(千円)	555	301	146

【成果】 設備投資や運営に係る経費の貸付が円滑に行われ、間接的に中小企業発展の一助になっている。

③マル経融資利子補助事業 219千円 * 町単独事業

事業者の経営改善のために経営改善貸付(マル経融資)を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行った。

【過去の実績】

	H28	H29	H30
件数	19	16	11
補助金額(千円)	435	504	219

【成果】 小口融資より活用しやすいマル経融資の利活用につながり、間接的に中小企業の発展の一助になった。

④中小企業支援事業 288千円 * 町単独事業

若者の地元就職やUターンを増加を目的に、従業員募集をしている町内企業及び移住定住や子育てに関する制度の情報を掲載した企業ガイドブックを作成した。

【過去の実績】

	H28	H29	H30
掲載企業件数	17	24	32

【成果】 成人式や各学校等へ800部配布。広く手にとってもらうことで町内企業情報をPRすることができた。

⑤産業振興奨励金事業 6,516千円 * 町単独事業

1) 企業立地等促進奨励金 5,016千円

事業所の新增設に伴う投下固定資産税相当額を奨励金として支給した。

* 該当企業に対し3ケ年間助成を行うものです。

9件(新規:1件 継続:8件)

2) 鳥取県中部地域企業雇用促進補助金 1,500千円

中部地区に進出した企業に町内者を正規雇用した場合に補助金を支給した。

*H26. 4月以降に県の進出協定を締結した企業が、中部圏域に事務所・工場等を新設し、かつ進出に際して、6か月以上の常用雇用を行った場合、町民1人あたりの雇用に対し30万円を支援するもので、定住自立圏構想に基づき、県東西部へ労働人口の流出を抑制する効果を期待し実施するものです。

1件 5名

【成果】 企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展や町内者の雇用促進に繋がり、地域経済の活性化の一助となった。

⑥ 観光農園体験促進事業 349千円 *町単独事業

三朝温泉の観光情報冊子「MisasaNavi」に北栄町内の観光農園の情報を掲載した。収穫体験スタンプラリーを実施し、北栄町HPおよび農業ポータルサイトで観光農園の情報を発信し、観光客の町内への誘引を図った。

【実績】

年度	スタンプラリー参加のべ人数
H28	911人 (県外: 320 、町外: 540 、町内: 51)
H29	649人 (県外: 177 、町外: 437 、町内: 36)
H30	128人 (県外: 37 、町外: 63 、町内: 28)

【成果】 町内外からの観光客に、本町の農産物の魅力にふれていただくきっかけとなった。

⑦ 就労・創業支援事業 1,459千円 *町単独事業

町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。

創業支援事業補助金	1件
1 製造業(土下)	1,194千円
由良宿まちづくり活性化支援事業補助金	1件
1 教育・学習支援業	265千円

*震災によって加速的に商店通りの活気が喪失された由良地区の商店地域の再生と、米花商店街を拠点とした、コナンのまちづくりに資する出店誘導のために5年間の時限的経過措置を設け実施するものです。

【成果】 創業時の初期投資に係る負担軽減をすることで、町内産業の振興や雇用機会を創出するきっかけとなった。

⑧ 地域商業自立促進事業 180千円 *町単独事業

米花商店街を拠点とした商店街の振興と周辺の賑わい創出に係る経費に対して、米花商店街を運営する商工会に補助を行った。

【成果】 米花商店街の看板の整備を支援した。米花商店街を訪れる人が増えることで町の賑わいにつながった。

⑨ 企業交流会事業 172千円 *町単独事業

北栄町と湖南市の企業間交流を目的に北栄町において交流会を開催した。講師を招いて「ビジネスマッチング交流会」を実施し、工場視察や懇談会を通じて交流を深めた。

【成果】 参加者から「資源の棚卸しが勉強になった」「異業種と交流できてよかった」「ビジネスのヒントになった」等の声があり、交流を深める中で互いに事業を展開するうえでの研修の場となった。



⑩砂丘地振興基金積立金事業 10千円 *町単独事業

砂丘地振興基金の定期預金利子を基金に組み入れた。

【過去の実績】

年度	H28	H29	H30
基金残高(千円)	95,333	95,361	88,999

※基金から基本計画策定委託料(繰越事業)財源の6,372千円を取り崩したことによる残高の減額

【成果】 資金を運用することにより、基金の増額を図ることができた。

⑪道の駅北条公園再整備事業 87千円 *町単独事業

道の駅「北条公園」運営連絡協議会を3回開催したほか、今後の協議の参考とするため、先進道の駅視察を行った。



【成果】 道の駅「北条公園」再整備に係る方向性について検討を深めた。

款	11 災害復旧費	項	3 農林施設災害復旧費	予算現額	決算額
		目	2 農地・農業用施設災害復旧費	39,782千円	7,176千円

農地・農業用施設災害復旧事業(単独) 7,176千円

年度	H28	H29	H30
事業費	330	1,420	7,176

【成果】 台風24号により被災した箇所の測量設計を業務委託し、早期に復旧工事の計画をした。実際の工事は、次年度繰越事業で実施。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	39,720千円	36,154千円

①北栄砂丘まつり交付金事業 4,056千円 *町単独事業

・第13回北栄砂丘まつり
 期日 平成30年8月19日(日)
 会場 お台場公園多目的広場

【成果】 町民が手づくりでイベントを企画・運営し、地元特産物・加工品の地産地消を促進した。また、書道パフォーマンスや有名レスラーが参戦した地元プロレス大会など地域で話題性のあるイベントを開催し、元気な北栄町を広くPRした。

②国内外の交流推進事業 5,162千円 *町単独事業

本町と友好交流協定を結んでいる台湾台中市大肚区及び滋賀県湖南市と交流を深めた。

【成果】 台湾台中市大肚区との交流では、北栄町青少年訪問団が大肚区を訪問(7月)し、大道中学校の生徒とパソコン授業などで交流したほか、ホームステイを体験するなど台湾の文化に触れ国際理解を深めた。
 また、大道中学校の青少年訪問団を受け入れ(1月)し、北条中学校で生徒同士の交流を行ったほか、町内8家庭でホームステイを行い次代を担う子どもたちの国際感覚を養うことができた。
 湖南市との交流では、まつりなど両市町で開催されたイベントでの相互交流をはじめ、北栄砂丘まつりを通じた青少年交流など、幅広い分野で交流を深め、関係人口の増加に寄与した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	16 移住推進費	85,047千円	54,797千円

①北栄暮らし支援事業 30,905千円

- ・移住相談会への参加 456千円
- ・移住奨励金 11,755千円
- ・若年層移住定住者住宅取得支援補助金 7,980千円
- ・移住促進家賃補助金 74千円(県1/2)
- ・IJUターン空き家改修支援事業補助金 1,000千円(県1/2)
- ・家財道具等処分費補助金 400千円(県1/2)※県外転入者が居住の場合
- ・定住支援住宅取得補助金 5,925千円
- ・移住支援員賃金 2,023千円(県1/2)

【実績】

事業名	H28	H29	H30
移住相談会(東京・大阪)	6回	6回	9回
移住奨励金	62名/20件	39名/14件	88名/28件
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	—	—	10件
移住促進家賃補助金	4名/2件	10名/4件	—
IJUターン空き家改修支援事業補助金	4件	0件	1件
家財道具等処分費補助金	7件	5件	4件
定住支援住宅取得補助金	—	—	14件
移住支援員賃金	1,862千円	1,969千円	2,023千円

※1 家賃補助金:H29年度制度廃止。交付決定後12ヶ月間の支払いのため、H30年度に残期間の支払い実績あり。

【成果】 北栄町への移住・定住を推進するため、県外での移住相談会への参加、新たな移住定住PR動画の作成、前年に引き続きパンフレットの作成、配布等を行い北栄町を広くPRした。PRを行ったことで、移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示することに繋がった。また、北栄町を周知することで鳥取県自体を周知するキッカケ作りに繋がり、鳥取県への関心を高めることができた。

奨励金交付、若年層の住宅取得に対する補助などを行い、移住・定住の促進を図ることができた。また、定住支援住宅取得補助金を策定し、町内者の定住を促進することができた。これまでの町外からの移住者増加を進める支援に加えて、町内者が住み続けたいと思うキッカケ作りとすることができた。

空き家の改修補助及び不要な家財の処分費用を補助することで、空き家の利活用を促進することができた。その結果、空き家を利用する移住者だけでなく、空き家の活用に苦慮していた所有者の支援に繋がった。

②おためし住宅事業 407千円 *町単独事業
 ・おためし住宅 消耗品費・光熱水費・通信費 407千円

【実績】	H28	H29	H30
人数/利用件数	29名/8組	7名/4組	11名/4組

【成果】 平成30年度は4組11名の利用者を受け入れ、北栄町での暮らしを体験し、北栄町を知りきっかけづくりとしていただいた。その内1組は北栄町内で農業体験を行い、町の特色も併せて体験していただいた。北栄町の雰囲気、農業を体験していただくことで、移住人口だけでなく関係人口作りにも貢献できた。

また、妻波地区の地域おこし協力隊によって利用を促進するチラシを作成し、イベント等で配布、県外の移住相談窓口等への配架を行い施設のPRを行った。また、HPの改善を行ったほか、料金支払方法の改定を行ったことで支払事務の効率化を進め、より利用しやすい環境となった。

③地域づくり地域おこし協力隊事業 5,951千円 *国事業(特交)

名探偵コナンによるまちづくり関係の地域おこし協力隊を1名採用し、コナン通りを中心とした由良宿地区の賑わい創出に関する取り組みを行った。アニメ声優を招いた集客イベントを企画立案、運営し県内外のコナンファンや観光客へ「名探偵コナンに会えるまち」北栄町を強く発信した。結果として、北栄町と「名探偵コナン」の関連がより深まり、観光客の誘致、メディア等による県外へのPRに繋がった。

妻波地区地域おこし協力隊は、任期2年目となり任期終了後の就農に向けたスイカ栽培に取り組み、地域の農地保全の活動も行いながら妻波地区の新たな担い手として活躍している。また、妻波地区の地域活動にも積極的に参加することで、地域住民の賑わい、交流を創出している。

【成果】 観光、農地保全、地域間交流、地域活性といったそれぞれの隊員が抱えるミッションを果たすことで、それぞれの取り組みから地域、町の活性化に寄与し地域の賑わいを創出した。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	2 観光費	106,795千円	96,852千円

①観光振興事業 42,331千円 *町単独事業

観光関係団体と連携して、県内外での観光PRを進めて、更なる誘客を図るとともに、各観光(レジャー)施設を整備して、観光客へのサービスを向上させ、町の観光振興を図った。

- ・県内外での観光PR等 957千円
- ・各種業務委託 1,189千円
(鳥取空港観光案内、観光地除草美化、観光素材写真撮影など)
- ・観光施設等の修繕工事及び遊具の安全点検、修繕等 23,462千円
- ・観光施設の解体・撤去工事 376千円
(レークサイド大栄中型複合遊具、お台場公園遊具)
- ・指定管理施設の備品購入 1,190千円
- ・北栄町観光協会補助金 12,485千円

- ・関係団体等負担金 1,406 千円
(鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、鳥取県地域振興対策協議会、道の駅連絡会、山陰DCなど)
- ・コナン通りタクシー利用料助成事業費補助金 165 千円

【成果】 ・観光関係団体と連携して、効果的な観光PRや情報発信を行い、観光施設や遊具の修繕等により、サービスの向上を図り、町全体の入込客数を増加させた。

②観光施設指定管理者委託事業 17,271千円 *町単独事業

4か所の町有施設に指定管理者を置き、サービスの向上と運営の効率化を図った。

- ・観光施設指定管理委託料 16,675 千円
 - <内訳> 北条海浜広場 5,220 千円
 - 蜘蛛ヶ家山山菜の里 270 千円
 - お台場公園 6,570 千円
 - レークサイド大栄 4,615 千円
- ・土地賃借料(北条海浜広場、レークサイド大栄案内誘導看板) 562 千円
- ・レークサイド大栄運営委員会報償費 12 千円

【実績】

年間利用状況(利用者数)

区 分		H28		H29		H30	
オートキャンプ場		10,150人		10,562人		11,374人	
お台場公園		38,404人		39,460人		54,108人	
レークサイド大栄		28,648人		36,294人		45,773人	
主催グラウンド ゴルフ大会	一般	37回	4,941人	37回	5,955人	33回	5,752人
	会員	7回	344人	8回	480人	8回	525人

【成果】 指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化が図られ、各施設の利用者数が伸びた。

③コナンのまちづくり事業 20,531千円 *町単独事業

- ・コナン大橋及びポケットパークの管理(電気代・水道代) 43 千円
- ・ノベルティグッズ(メモ帳、ピンバッジ等)の制作 1,067 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路の開催(委託先:北栄町観光協会) 6,649 千円
(H30開催委託分 4,920千円、R1(H31)開催委託分 1,730千円)
(H30累計入場者数22,091人、H30入場料収入6,430千円(町収入分))
- ・名探偵コナン巨大迷路装飾制作設置委託 305 千円
- ・ブロンズ像(5体)着彩メンテナンス 1,666 千円
- ・コナン駅構内観光案内所管理(土地賃借) 143 千円
(駅構内観光案内所利用者数:17,131人)
- ・巨大迷路改修、コナン通りソーラー照明等工事 4,076 千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金(交付団体:2団体) 2,950 千円
- ・まんが・アニメ関連商品開発支援事業補助金(交付団体:2団体) 60 千円

【成果】 巨大迷路リニューアルやブロンズ像着彩メンテナンス等、コナン通りの受け入れ環境を整備し、キャラクターコンテンツを活用した集客催事を開催することで、「名探偵コナンに会えるまち」の発信強化を図り、結果として青山剛昌ふるさと館の入館者は16万人を超え、コナンの家米花商店街も前年を超える入込客数となった。

また、地域の民間団体等の活動や関連商品開発を支援することで、まんが文化の定着、地域の活性化及び地域産業の振興を図ることができた。

④「まんが王国とっとり」協働推進事業 3,073千円

- ・キャラクター着ぐるみ制作委託 767 千円 (県1/2)
- ・キャラクター着ぐるみ稼動に係るレクチャー委託 237 千円 (県1/2)
- ・コナン通り他ARシステム使用料 87 千円 (県1/2)
- ・コナン通り表示サイン看板製作設置工事 902 千円 (県1/2)

【成果】 キャラクター着ぐるみ(江戸川コナン君)を制作し、稼動時の演技・アテンド方法について専門家のレクチャーを受け、町独自の催事やPR活動等へ積極的に活用することにより、「名探偵コナンに会えるまち」を内外により一層印象付けた。併せて、表示サイン(コナン駅前)やARシステムの整備により、コナン通りでの周遊性を高め、結果として青山剛昌ふるさと館やコナンの家 米花商店街の入込客数が増加した。

⑤ウォーキングコース整備事業 840千円

- ・ARウォーキングチラシ印刷 181千円 (県1/2)
- ・ウォーキングコースアプリ・砲台AR動画制作委託 659千円 (県1/2)

【成果】 平成28年度に行われたワールドトレイルズカンファレンス鳥取大会の際に本町が実施したウォーキングイベント「ほくえい謎解きウォーク」の成果を活かし、由良宿のまちなかやコナン通り・お台場公園などを周遊するスマートフォンアプリを活用したウォーキングコースを整備し、コース周辺への誘客を促進した。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	3 お台場公園サービスエリア費	2,872千円	2,864千円

①お台場公園サービスエリア管理事業 2,864千円 *町単独事業

お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。

- ・トイレ清掃委託料 2,000千円
- ・トイレトーパー等消耗品購入費 797千円
- ・施設の維持管理(消防設備点検、修繕費など) 66千円

【実績】

年間利用状況(利用者数)

区分	H28	H29	H30
レストラン・売店	79,108人	65,719人	53,286人
農産物直売所	261,704人	258,129人	255,545人
計	340,812人	323,848人	308,831人

【成果】 お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予算現額	決算額
		目	4 北条砂丘公園センター費	1,747千円	1,652千円

①北条砂丘公園センター管理事業 1,652千円 *町単独事業

北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を行った。

- ・トイレ清掃委託料 1,144千円
- ・トイレトーパー等消耗品購入費 86千円
- ・光熱水費(希望の館含む) 407千円
- ・施設の維持管理(トイレの修繕など) 14千円

【実績】

年間利用状況(利用者数)

区分	H28	H29	H30
農産物直売所・食事処	30,110人	28,130人	27,080人

【成果】 北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保できた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	7 環境衛生費	19,700千円	17,821千円								
①合併処理浄化槽特別会計繰出金事業 3,995千円 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰出金</td> <td>3,849</td> <td>4,440</td> <td>3,995</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	繰出金	3,849	4,440	3,995
年度	H28	H29	H30										
繰出金	3,849	4,440	3,995										
②合併浄化槽設置事業 1,552千円 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助事業費</td> <td>1,525</td> <td>0</td> <td>1,552</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	補助事業費	1,525	0	1,552
年度	H28	H29	H30										
補助事業費	1,525	0	1,552										
【成果】 平成30年度は3基の設置補助を行い、下水道区域外における生活環境の保全に寄与した。													
③浄化槽設置事業推進基金積立金事業 1千円 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金残高</td> <td>1,928</td> <td>1,835</td> <td>1,741</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	基金残高	1,928	1,835	1,741
年度	H28	H29	H30										
基金残高	1,928	1,835	1,741										
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	4 農業総務費	70,282千円	69,107千円								
①農業集落排水特別会計繰出金事業 9,135千円 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>繰出金</td> <td>12,639</td> <td>10,463</td> <td>9,135</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	繰出金	12,639	10,463	9,135
年度	H28	H29	H30										
繰出金	12,639	10,463	9,135										
②集落排水事業推進基金積立金事業 4千円 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基金残高</td> <td>10,376</td> <td>9,345</td> <td>8,310</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	基金残高	10,376	9,345	8,310
年度	H28	H29	H30										
基金残高	10,376	9,345	8,310										
款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	1 土木総務費	50,919千円	49,874千円								
①震災に強いまちづくり促進事業 5,035千円 住宅の耐震化(無料診断、耐震改修) (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>4,179</td> <td>5,359</td> <td>5,035</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	事業費	4,179	5,359	5,035
年度	H28	H29	H30										
事業費	4,179	5,359	5,035										
【成果】 住宅の耐震化について地道に啓発を続けており、年間数件ずつではあるものの、継続的に耐震改修工事が行われており、町内住宅の耐震化に寄与することができた。													
款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	1 道路維持管理費	98,035千円	56,277千円								
①道路維持管理事業 56,277千円 (千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>維持管理費</td> <td>96,070</td> <td>72,635</td> <td>56,277</td> </tr> </tbody> </table>						年度	H28	H29	H30	維持管理費	96,070	72,635	56,277
年度	H28	H29	H30										
維持管理費	96,070	72,635	56,277										
・維持修繕関係費 39,878千円 道路維持修繕 町道側溝修繕工事 45件 主な工事内容:舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕、安全施設修繕、原材料費 等													

- ・町道除草委託業務 5,734千円
通学路、幹線町道等
- ・測量設計委託料等 7,305千円
町道修繕、水路調査、道路台帳修正及びデータ化、土木積算システム賃貸借料
- ・除雪関係費①（町道） 1,330千円
冬期除雪 両高尾 平成30年12月1回
巡視・点検、除雪機械運転手育成事業
- ・除雪関係費②（消雪装置維持管理） 2,030千円
電気料金、点検整備、修繕、凍結防止剤購入等

【成果】 適宜、町道等の維持管理を行い、安全な交通を確保した。

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	2 道路新設改良費	181,399千円	96,115千円

①社会資本整備総合交付金事業 96,115千円

高江大谷線(妻波)、松神国坂線(下神・田井)外の道路改良工事(千円)

年度	H28	H29	H30
交付金事業費	167,312	147,228	96,115

【成果】 3路線の側溝改良による車道の拡幅を行い、安全性や走行性が向上した。また、橋梁の老朽化対策として、1橋の修繕工事と法定点検結果に基づき16橋の修繕設計を行い、施設の長寿命化を促進した。

款	7 土木費	項	3 河川総務費	予算現額	決算額
		目	1 河川総務費	2,739千円	2,639千円

①河川総務事業 245千円

天神川樋門操作 189千円

国から受託事業:江北排水樋門外2門

由良川樋門操作 56千円

県から受託事業:瀬戸排水樋門外1門 (千円)

年度	H28	H29	H30
受託事業費	303	356	245

【成果】 大雨時に河川からの逆流防止を図り、堤内地の浸水被害を防止した。

②河川関係負担金事業 252千円

由良川水系河川改修事業促進期成同盟会外2団体 (千円)

年度	H28	H29	H30
負担金	292	252	252

【成果】 由良川水系河川改修事業の促進に寄与した。

③浜川水路橋維持管理事業 2,142千円

弓原地区浜川の北条川放水路横断水路橋維持管理事業

操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等

(千円)

年度	H28	H29	H30
維持管理費	606	2,369	2,142

【成果】 水路橋の適切な維持管理を行い、浜川の機能を保全することができた。

款	7 土木費	項	5 都市計画費	予算現額	決算額
		目	2 下水道費	901,207千円	901,207千円

①下水道特別会計繰出金事業 901,187千円 (千円)

年度	H28	H29	H30
繰出金	724,891	837,466	901,187

②公共下水道事業推進基金積立金事業 20千円 (千円)

年度	H28	H29	H30
基金残高	65,691	62,961	0

款	11 災害復旧費	項	1 土木施設災害復旧費	予算現額	決算額
		目	1 道路橋梁災害復旧費	101,094千円	37,545千円

①道路橋梁復旧事業(補助) 648千円 (3件) (千円)

年度	H28	H29	H30
事業費	17,430	72,363	648

②道路橋梁復旧事業(単独) 48,866千円 (14件) (千円)

年度	H28	H29	H30
事業費	26,112	22,702	36,567

③法定外公共物復旧事業(単独) 540千円 (1件) (千円)

年度	H28	H29	H30
事業費	245	2,391	330

【成果】

平成30年9月30日に来襲した台風24号による豪雨により被災した町道施設等の災害復旧事業に着手、年度内に全て工事発注し、令和元年度7月末までに全箇所の復旧の目途が立った。



工事着手時



R1.6.11現在

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	1 児童福祉総務費	261,622千円	256,400千円

①子育て総務事業 197,308 千円

町内私立保育所(園)及び町外保育所(園)に委託し、保育を実施するとともに、保護者の仕事と育児の両立を図った。

- ・北条みどり保育園委託料 88,457 千円
園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H28	人数	8	13	14	14	13	24	86
H29	人数	8	14	15	15	15	13	80
H30	人数	9	10	17	16	13	17	82

※町外からの広域入所は含まず

- ・栄保育所委託料 30,166 千円
園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H28	人数	4	4	8	6	0	6	28
H29	人数	3	4	5	8	4	0	24
H30	人数	3	3	3	0	7	2	18

※町外からの広域入所は含まず

- ・広域保育委託料 68,246 千円
園児数 (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
H28	人数	8	12	18	9	17	14	78
H29	人数	8	10	11	15	8	20	72
H30	人数	11	12	10	11	10	6	60

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるように、支援を実施した。

②木育推進事業 300 千円

7か月児健診時に県産材を使った積木セットをプレゼントした。

配布数

H28	H29	H30
52	91	103

【成果】 親子で木と触れ合うことを通して、豊かな心を育んでもらえるきっかけを提供できた。



③在宅育児支援事業 14,295 千円 ※風のまちづくり事業充当(6,803千円)

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

支給件数

H29	H30
74	55

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行い、子育ての選択肢を広げた。

④ネウボラ事業 3,034 千円

専任のコーディネーター(保健師)が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

平成30年度の母子健康手帳交付件数は89件、養育支援訪問件数は延べ60件。

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦(世帯)については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

⑤産前産後サポート事業 182 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合にヘルパーを派遣した。

利用件数

H29	H30
2	1

【成果】母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え、子育てができる環境を整えた。

⑥産後ケア事業 87 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

- ・アウトリーチ型 延べ6件
- ・宿泊型 延べ3件
- ・デイサービス型(母子) 1件、デイサービス型(乳児) 1件

【成果】母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えた。

⑦パパママ教室 60 千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間づくりを行った。

- ・参加者62人 (妊婦 延べ43人、夫等家族 延べ19人)

【成果】夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。



⑧1歳児すくすく教室 21 千円

日々の育児が変化する1歳頃に、発達段階に沿った育児に関する知識の普及を行った。6か月児健診から1歳6か月児健診までの間、乳幼児と家族の状況を把握し育児支援を行った。

- ・参加者119人 (乳児57人 保護者62人)

【成果】参加者の日頃の困り事に応じた講話を行う事で育児不安の軽減につながった。また、保護者同士の情報交換や、身近な相談場所や支援者の周知機会になった。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	2 認定こども園管理運営費	525,198千円	515,444千円

①町立こども園管理運営事業 231,566 千円

保育・教育課程等に基づいて一人ひとりの発達に応じたきめ細やかな保育・教育を実施した。

- ・北条こども園管理運営事業 88,401 千円
- ・大誠こども園管理運営事業 68,246 千円
- ・由良こども園管理運営事業 46,922 千円
- ・大谷こども園管理運営事業 27,997 千円

園児数

(3月末現在)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
H28	42	64	81	98	101	86	472	19	491
H29	39	61	79	93	103	103	478	20	498
H30	30	62	73	96	95	109	465	14	479
北条こども園	10	26	33	41	36	55	201	8	209
大誠こども園	9	18	21	22	34	25	129	1	130
由良こども園	9	14	17	24	16	17	97	3	100
大谷こども園	2	4	2	9	9	12	38	2	40

保育料徴収の状況

(単位:千円・%)

区 分	H28年度			H29年度			H30年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	72,839	72,467	99.5	74,382	74,231	99.8	53,431	53,431	100.0
滞納繰越分	860	429	49.9	802	541	67.5	410	305	74.4
計	73,699	72,896	98.9	75,184	74,772	99.5	53,841	53,736	99.8

※H30年度分は北条みどりこども園を含まない。(認定こども園に移行したため)

※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

【成果】 職員配置については、国基準を上回る北栄町の基準を設け、適正な配置に努めることにより、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えた。

こども園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。

施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、施設の安全を確保した。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 放課後児童健全育成費	15,641千円	15,062千円

①放課後児童健全育成事業 15,062 千円

放課後児童クラブは保育に欠ける児童の安全な居場所となり、異年齢交流の場等児童の健全育成を図った。

北条なかよし学級 定員:100人

大栄こども学級 定員:80人

利用児童数等

区 分	児童数(3月)							月平均 登録数	最大登録		年日数 (日)	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		月	人数		
北条	H28	41	25	20	9	3		98	102.9	8月	113	285
	H29	34	28	19	17	7	2	107	112.9	8月	136	291
	H30	32	26	18	7	5	1	89	103.5	7月	118	289
大栄	H28	31	16	8	6	2	2	65	70.1	8月	84	291
	H29	24	30	14	5	6		79	76.1	7月	94	291
	H30	23	18	19	2	0	1	63	75.6	4月	100	289

※人数は、利用数ではなく申込数

【成果】 放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 地域子育て支援費	2,609千円	2,159千円

①北栄子育て支援センター事業 1,541 千円

子育て家庭の交流の場の提供や、母親のリフレッシュにつながる取り組みを行った。

・センター等利用数 (数値は述べ数)

区 分	H28	H29	H30
年間利用世帯数	3,234	3,820	4,186

【成果】 「リフレッシュできた」「他の人と交流できてよかった」などの声が多く、満足度の高い取り組みを行うことができ、親子の交流や母親の気分転換を図ることができた。

②ファミリー・サポート・センター事業 54千円

地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と援助ができる人(提供会員)の調整を行った。

会員数(3月末)

区分	H28	H29	H30
活動件数	11	1	7
提供会員	63	12	3
依頼会員	150	28	37
会員合計	213	40	40

※H29に会員登録状況を精査したため(資格の確認、登録希望の有無など)

【成果】 子育て世代のサポートを行った。

③乳幼児健康支援一時預かり事業 547千円

病気の回復期で集団保育への復帰が困難な子どもに対し、一時預かり保育を委託方式で実施した。

区分	H28	H29	H30
病児保育事業	50	22	17
病後児保育事業	21	19	14

※年間利用児童数(延人)

【成果】 病気の子どもを安心して預けてもらうことで、保護者の就労等のサポートができた。

④休日保育事業 16千円

日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託を行った。平成30年度の利用は、3件。

【成果】 保護者の就労等のサポートができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予算現額	決算額
		目	1 教育委員会費	1,782千円	1,776千円

①教育委員会事業 1,728千円 (教育関係負担金含む)

毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。

- ・教育委員会 定例会12回(毎月)、臨時会3回
- ・教育委員会視察10月11日～12日(1泊2日)
視察先:伯耆町教育委員会、岡山県総合教育センター、徳島県立総合教育センター
- ・総合教育会議 5月23日、11月27日
意見交換のテーマ 教育振興計画について/放課後児童クラブの民間委託について など
- ・計画訪問(こども園、小・中学校) 前期:5月～6月、後期:10月～11月
- ・その他、入学(園)式、卒業(園)式、運動会など多数
- ・負担金 郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金

【成果】 教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。

計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について協議した。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予算現額	決算額												
		目	2 事務局費	507,364千円	348,531千円												
		①事務局事業		19,595 千円													
<p>就学前教育に係る指導助言、就学相談や指導助言等を行うため、指導主事を4名配置。 音田教育振興基金から、経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。 授業用及び校務用パソコンの整備(リース)※教育振興事業から移動</p> <p>音田教育振興基金給付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給付金支給者</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>給付金合計額</td> <td>30万円</td> <td>60万円</td> <td>50万円</td> </tr> </tbody> </table>						項目	H28	H29	H30	給付金支給者	3人	6人	5人	給付金合計額	30万円	60万円	50万円
項目	H28	H29	H30														
給付金支給者	3人	6人	5人														
給付金合計額	30万円	60万円	50万円														
<p>【成果】 指導主事4名により、こども園幼児から中学校生徒までの子どもたちの豊かな育ちや学びなどについてこども園、小中学校等へ指導等を行った。学校教育以外においても家庭教育や人権教育にも指導的立場で意見を述べ、教育の振興を図った。 音田教育振興基金を活用し、向学心旺盛ながら経済的に支障があるなどの中学生に高等学校入学準備費を支給し、学習を支援した。</p>																	
		②事務局関係負担金事業		9,215 千円													
<p>教育に関する次の負担を行った。</p> <table> <tbody> <tr> <td>学校災害共済掛け金負担金</td> <td>1,136 千円</td> </tr> <tr> <td>少人数学級実施協力金</td> <td>6,000 千円</td> </tr> <tr> <td>中部こども支援センター負担金</td> <td>1,164 千円</td> </tr> <tr> <td>ICT共同化推進協議会負担金</td> <td>723 千円 など</td> </tr> </tbody> </table>						学校災害共済掛け金負担金	1,136 千円	少人数学級実施協力金	6,000 千円	中部こども支援センター負担金	1,164 千円	ICT共同化推進協議会負担金	723 千円 など				
学校災害共済掛け金負担金	1,136 千円																
少人数学級実施協力金	6,000 千円																
中部こども支援センター負担金	1,164 千円																
ICT共同化推進協議会負担金	723 千円 など																
<p>【成果】 少人数学級の導入により、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させたほか、不登校児童生徒の学校復帰を目指す中部子ども支援センターの活動を支援した。</p>																	
		③教育力向上事業		5,103 千円													
<p>大学教授等を講師に迎え授業研究を行うとともに、先進学校等の取り組み事例を学ぶなど、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サマースクール（7月25日ほか9日間、中央公民館講堂など） ・ウインタースクール【英語版】（1月17日ほか7日間、各中学校） ・生き方を学ぶ講演会 ・先進地視察(教育委員、事務局、教職員) ・学力等調査の実施(ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト) ・自治会等地域ボランティア学習支援（松神自治会外4団体） ・英語検定受験料助成 3級受検22人、準2級受検7人、2級受検1人 																	
<p>【成果】 サマースクール～まなびの広場～や自治会等地域ボランティア学習支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。 学力調査等の実施・分析により、指導内容の工夫を図った。</p>																	
		④ふるさと鳥取見学(県学)支援事業		688 千円													
<p>県の補助金(補助率1/2)を活用し、社会科見学を行った。 北条小学校 4年:米川用水、5年:海とくらしの史料館、BSS山陰放送 大栄小学校 4年:大成商事、5年:日本海TV、6年:妻木晩田遺跡</p>																	
		⑤県立特別支援学校通学支援事業		4,537 千円													
<p>県立倉吉養護学校小学部に通学する医療ケアが必要な児童について鳥取県交付金(10分の10)を活用し通学支援を行う事業。児童3名の通学を支援した。</p>																	

⑥発達支援体制整備事業 969 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。

⑦エアコン整備事業 241,386 千円

エアコン未整備の教室に空調機を設置した。

北条中:22室、大栄中:19室

北条小:28室、大栄小:29室(工事中)



【成果】

中学校全室にエアコンを設置することができ、教育環境の向上を図ることができた。

また、次年度に予定していた小学校への設置を前倒して着手し、次年度の暑さ対策に間に合う見込みとなった。

⑧小学生自転車用ヘルメット着用推進事業 63 千円

小学生自転車用ヘルメットの購入費補助を行った。

申請者:43人

【成果】

補助制度の創設・実施により、PTAでも積極的に制度の紹介をしていただくなど、着用の推進につなげることができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 額	決 算 額
		目	3 外国青年招致費		7,675千円

①外国青年招致事業 7,232 千円

外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。

- ・4月～7月 アメリカ国籍女性 大栄中学校勤務
- ・8月～3月 アメリカ国籍女性 北条中学校勤務
- ・8月～3月 ジャマイカ国籍女性 大栄中学校勤務

【成果】 中学校での学習活動に加え、小学校での外国語活動及び外国語科学習の先行実施において、円滑な実施に資することができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条小学校管理費		46,911千円

①北条小学校管理事業 43,518 千円 ※風のまちづくり事業充当(15,061千円)

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 体育館照明LED化工事 8,748 千円
- ・ 北校舎外壁修繕工事 567 千円
- ・ 防雪ネット設置工事 4,223 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員、外国語通訳等支援員等の設置
児童数 (平成30年5月1日現在)

12,714 千円

学年	学級数	男	女	合計
1年	3 組	28 人	35 人	63 人
2年	3 組	31 人	38 人	69 人
3年	2 組	24 人	34 人	58 人
4年	2 組	34 人	28 人	62 人
5年	2 組	33 人	25 人	58 人
6年	2 組	35 人	27 人	62 人
特別支援学級	7 組	20 人	14 人	34 人
合計	21 組	205 人	201 人	406 人

【成果】 北条小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 2,584 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

区 分	H28	H29	H30
利用児童数	34人	50人	63人
対全校児童数	8.3%	12.3%	15.5%

※H29から米里自治会児童は全学年バス通学に変更
H30からさつきヶ丘自治会児童は冬期バス通学に変更

【成果】・遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 大栄小学校管理費		

①大栄小学校管理事業 35,582 千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 転落防止設置工事 1,348 千円 ・ ブロック塀撤去及びフェンス設置工事 929 千円
- ・ 図工室修繕工事 1,267 千円 ・ 小プール床修繕工事 713 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 13,663 千円

児童数 (平成30年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	3 組	33 人	39 人	72 人
2年	2 組	32 人	21 人	53 人
3年	2 組	36 人	29 人	65 人
4年	2 組	21 人	35 人	56 人
5年	2 組	35 人	22 人	57 人
6年	2 組	23 人	38 人	61 人
特別支援学級	5 組	18 人	3 人	21 人
合計	18 組	198 人	187 人	385 人

【成果】 大栄小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

②スクールバス管理事業 9,177 千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

区 分	H28	H29	H30
利用児童数	187人	166人	188人
対全校児童数	49.0%	44.9%	48.8%

【成果】 遠距離通学児童の安全な登下校の確保をした。

款	9	教育費	項	2	小学校費	予 算 現 額	決 算 額																															
			目	3	小学校教育振興費(共通)	3,582千円	2,904千円																															
<p>①小学校外国語教育活動事業 2,235 千円 小学校に1名ずつ外国語活動支援員を配置。学習時間を大幅に増やし、小学3、4年生の外国語活動、5、6年生の外国語科の学習を先行して実施。 【成果】 ALT、英語専科教員と連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。</p> <p>②小学校教育振興関係負担金事業 135 千円 次のとおり負担した。 ・ 中部小学校教育研究費負担金 89 千円 ・ 中部学校保健会負担金 8 千円 ・ 中部小学校体育連盟負担金 26 千円 【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。</p> <p>③児童通学支援事業 527 千円 北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。</p> <p>補助対象地区 松神、下神</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助児童数</td> <td>11人</td> <td>33人</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>対全校児童数</td> <td>2.7%</td> <td>8.1%</td> <td>8.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H29から冬季は3年生以上も対象</p> <p>【成果】 遠距離通学児童の通学時の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減をした。</p>								区 分	H28	H29	H30	補助児童数	11人	33人	35人	対全校児童数	2.7%	8.1%	8.6%																			
区 分	H28	H29	H30																																			
補助児童数	11人	33人	35人																																			
対全校児童数	2.7%	8.1%	8.6%																																			
款	9	教育費	項	2	小学校費	予 算 現 額	決 算 額																															
			目	4	北条小学校教育振興費	8,759千円	8,321千円																															
<p>①北条小学校教育振興事業 8,321 千円 学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。 ・ 児童用図書・教材備品購入費 2,854 千円 就学援助事業(要保護・準要保護) 3,681 千円 経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">対象</td> <td>保護者数</td> <td>28人</td> <td>27人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>45人</td> <td>40人</td> <td>51人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">児童の割合</td> <td>10.9%</td> <td>9.8%</td> <td>12.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別支援教育就学奨励事業 589 千円 特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">対象</td> <td>保護者数</td> <td>15人</td> <td>20人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>15人</td> <td>20人</td> <td>22人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。</p>								区分	H28	H29	H30	対象	保護者数	28人	27人	38人	児童数	45人	40人	51人	児童の割合		10.9%	9.8%	12.6%	区分	H28	H29	H30	対象	保護者数	15人	20人	21人	児童数	15人	20人	22人
区分	H28	H29	H30																																			
対象	保護者数	28人	27人	38人																																		
	児童数	45人	40人	51人																																		
児童の割合		10.9%	9.8%	12.6%																																		
区分	H28	H29	H30																																			
対象	保護者数	15人	20人	21人																																		
	児童数	15人	20人	22人																																		

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																												
		目	5 大栄小学校教育振興費	6,215千円	5,690千円																												
<p>①大栄小学校教育振興事業 5,690 千円</p> <p>学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用図書・教材備品購入費 2,509 千円 <p>就学援助事業(要保護・準要保護) 1,731 千円</p> <p>経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象 保護者数</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>32人</td> <td>32人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>児童の割合</td> <td>8.2%</td> <td>8.6%</td> <td>7.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別支援教育就学奨励事業 394 千円</p> <p>特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象 保護者数</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>13人</td> <td>13人</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。</p>						区分	H28	H29	H30	対象 保護者数	24人	24人	20人	児童数	32人	32人	28人	児童の割合	8.2%	8.6%	7.3%	区分	H28	H29	H30	対象 保護者数	13人	13人	13人	児童数	13人	13人	13人
区分	H28	H29	H30																														
対象 保護者数	24人	24人	20人																														
児童数	32人	32人	28人																														
児童の割合	8.2%	8.6%	7.3%																														
区分	H28	H29	H30																														
対象 保護者数	13人	13人	13人																														
児童数	13人	13人	13人																														
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																												
		目	6 言語通級指導教室費	103千円	95千円																												
<p>①言語通級指導教室事業 95 千円</p> <p>大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。</p> <p>【成果】 必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める小集団指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせた。</p>																																	
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																												
		目	7 発達通級指導教室費	222千円	221千円																												
<p>①発達通級指導教室事業 221 千円</p> <p>大栄小学校に発達障がい通級指導教室「まなびの教室」を設置。発達障がいのある児童等に指導を行った。</p> <p>【成果】 一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけた。</p>																																	

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	1 北条中学校管理費	46,675千円	45,660千円

①北条中学校管理事業 45,660 千円 ※風のまちづくり事業充当 (20,745千円)

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 体育館照明LED化工事 14,526 千円
- ・ 柔剣道場床修繕工事 1,922 千円
- ・ グラウンド整備工事 2,384 千円
- ・ 野球場防球ネット補修工事 1,264 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 11,216 千円

生徒数 (平成30年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	27 人	34 人	61 人
2年	2 組	31 人	35 人	66 人
3年	3 組	40 人	32 人	72 人
特別支援学級	3 組	8 人	3 人	11 人
合計	10 組	106 人	104 人	210 人

【成果】 北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	2 大栄中学校管理費	59,689千円	44,782千円

①大栄中学校管理事業 44,782 千円 ※風のまちづくり事業充当 (9,226千円)

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

- ・ 武道館照明LED化工事 5,702 千円
- ・ 教室ロッカー改修工事 1,066 千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 12,594 千円

生徒数 (平成30年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2 組	23 人	26 人	49 人
2年	3 組	35 人	45 人	80 人
3年	2 組	33 人	30 人	63 人
特別支援学級	4 組	13 人	1 人	14 人
合計	11 組	104 人	102 人	206 人

【成果】 大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 中学校教育振興費(共通)	15,330千円	9,247千円
①中学校教育振興関係負担金事業				561 千円	
次のとおり負担した。					
・県中学校体育連盟負担金		82 千円	・中部教育協議会負担金	153 千円	
・特別支援教育研究会負担金		5 千円	・県中学校指導部連盟負担金	1 千円	
・学校図書館協議会負担金		3 千円	・県中学校文化連盟負担金	6 千円	
・県中部学校保健会負担金		4 千円	・中国ソフトボール大会開催地負担金	222 千円	
【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。					
②学習事業				221 千円	
中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞いたほか、総合的な学習として、運動会、文化祭等を行った。					
【成果】 卒業生等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を見つめる上で参考とさせたほか、運動会等により学級集団で目標達成を目指す取り組みを図った。					
③修学旅行引率費補助金事業				174 千円	
引率費の一部を助成した。					
北条中学校 3学年 76名 教職員 8名		5月9日～2泊3日	奈良・京都・大阪方面		
大栄中学校 3学年 69名 教職員 8名		4月25日～2泊3日	東京方面		
④生徒派遣事業				2,349 千円	
各種大会等に参加のためのバスの借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。					
・バス借り上げ		842 千円	・交通費等助成	1,506 千円	
・主な派遣先 全国中学柔道大会(広島県)、中国中学ソフトボール選手権大会(岡山県)					
⑤心の教室相談事業				1,194 千円	
大栄中、北条中にそれぞれ相談員1人を設置して、生徒の悩み相談を行った。					
(相談件数)					
区分	H28	H29	H30		
北条中	37件	34件	54件		
大栄中	32件	46件	68件		
【成果】 心の教室相談員の配置により、気軽に相談できる環境を整え、悩み等の解決を図った。					
⑥職場体験学習事業				89 千円	
北条・大栄中学校2年生が町内事業所の協力のもと、社会体験学習を実施した。					
【成果】 体験を通して、働くことの楽しさや厳しさを経験したほか、社会の規律やマナーを学んだ。					
⑦部活動振興事業				4,659 千円	
・部活動指導員の設置					
北条中:卓球、バスケットボール、サッカー、バドミントン、吹奏楽					
大栄中:柔道、卓球(男女)、剣道、バレーボール					
【成果】 10名の指導員による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。					

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	4 北条中学校教育振興費	9,266千円	9,001千円

①北条中学校教育振興事業 9,001 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費 2,983 千円

就学援助事業(要・準要保護) 4,154 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H28	H29	H30
対象	保護者数	20人	25人	24人
	生徒数	25人	28人	31人
生徒の割合		12.0%	13.6%	14.8%

特別支援教育就学奨励扶助事業 325 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H28	H29	H30
対象	保護者数	7人	3人	6人
	生徒数	7人	3人	6人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予算現額	決算額
		目	5 大栄中学校教育振興費	7,235千円	6,002千円

①大栄中学校教育振興事業 6,002 千円

学校教育における各種教材備品等の整備充実を図ることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費 1,879 千円

就学援助事業(要保護、準要保護) 2,342 千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

区分		H28	H29	H30
対象	保護者数	12人	14人	17人
	生徒数	15人	15人	17人
生徒の割合		7.00%	7.1%	8.3%

特別支援教育就学奨励事業 399 千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

項目		H28	H29	H30
対象	保護者数	11人	10人	7人
	生徒数	12人	10人	7人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	4 学校給食費	147,498千円	147,037千円

①学校給食センター管理事業 58,080 千円

小・中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、業務効率の向上、安全管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	H28	H29	H30
北条こども園	232 回	235 回	238 回
北条小学校	190 回	191 回	189 回
大栄小学校	189 回	188 回	188 回
北条中学校	190 回	190 回	188 回
大栄中学校	190 回	188 回	186 回

・学校給食調理等業務委託 (単位:千円)

区分	H28	H29	H30
委託料	39,960	39,960	39,960

※業務委託はH28から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立(6月)

卒業生バイキング給食(小6、中3)

サプライズ給食(年2回)

全国学校給食週間(特別献立、交流給食、小中学生給食作品展)

・給食費の徴収状況

(単位:千円・%)

区分	H28年度			H29年度			H30年度			
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
小学校	現年	41,086	40,711	99.1	45,100	44,986	99.7	45,025	45,022	99.99
	滞納	1,570	647	41.2	1,298	272	21.0	1,030	268	26.0
	計	42,656	41,358	97.0	46,398	45,258	97.5	46,055	45,290	98.3
中学校	現年	25,344	25,095	99.0	28,772	28,620	99.5	27,948	27,942	99.98
	滞納	2,117	449	21.2	1,917	183	9.5	1,553	88	5.7
	計	27,461	25,544	93.0	30,689	28,803	93.9	29,501	28,030	95.0
合計	70,117	66,902	95.4	77,087	74,061	96.1	75,556	73,320	97.0	

【成果】 年間を通し、安心安全な学校給食の提供が実施できた。また、学校給食週間、試食会等における食育の取り組みを計画的に実施することができた。

学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。



②給食費事業(賄材料費) 79,801 千円 ※風のまちづくり事業充当(5,786千円)

県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多用し、児童生徒の食育推進に繋げた。町費負担による地元食材を使ったサプライズ給食事業を実施した。

・地産地消率(県指定44品目)

区分	H28	H29	H30
国内産	100 %	100 %	100 %
うち県内産	95 %	95 %	94 %
県平均	65 %	67 %	70 %

【成果】 年間を通し、入札等によりなるべく安価に、そして安定的に、品質の良い学校給食用食材の供給を行った。また、地元食材を用いたサプライズ給食を実施し、子どもたちの食育推進と地産地消、さらには北栄町産食材のPRに繋げることができた。



款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	1 社会教育総務費	47,546千円	45,620千円

①社会教育総務費事業 1,239千円

- ・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 3回
- ・委員の各種研修等への参加 3回

【成果】 社会教育に関する企画立案によって社会教育を振興し、研修参加などによって委員及び職員の資質向上を図ることができた。

②社会教育総務関係負担金事業 606千円

社会教育に関する協議会等の負担金

- ・東伯郡社会教育協議会
- ・鳥取県社会教育協議会
- ・鳥取県社会教育委員連絡協議会
- ・倉吉地区少年補導センター

【成果】 関係機関との連携により社会教育振興につながった。

③青少年育成北栄町民会議交付金事業 495千円

各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行う青少年育成北栄町民会議に交付金を交付した。

【成果】 あいさつ運動、見守りパトロール等により、地域が一体となって取り組む青少年健全育成につながった。

- ・あいさつ運動モデル自治会 15自治会(うち新規登録3)
- ・あいさつ運動推進事業所 73事業所(うち新規登録10)



あいさつ運動モデル自治会認定式

④家庭の教育力アップ事業 21千円

「子育て学習講座」を実施し、子どもの発達段階に応じた学習機会を保護者に提供する。

年度	H28	H29	H30
回数	1回	2回	1回
参加者	24人	96人	18人

※H28～ こども園は
社会教育関係団体活動費
補助金事業での実施

【成果】 栄保育所において、県のファミリーテーター派遣事業を利用し、参加型の子育て講座を実施した。日ごろの悩みが自分だけのものではなく、共有できたことで保護者同士のつながりも深めることができ、今後のよりよい子育てにつながる学習ができた。北条みどりこども園についても、講演会等の実施を働きかけたが、実現しなかった。

⑤社会教育推進事業 86千円

届ける学びを目的に「生涯学習出前講座」を実施し、地域住民を対象に学習情報・機会の提供を図る。

- 回数 年間95回(含:おとなほくえい塾22回、視聴覚教材貸出7回)
- 会場 各自治会公民館等
- 参加者 延べ2,484人(含:おとなほくえい塾374人、視聴覚教材貸出197人)

年度	H28	H29	H30
回数	55回	73回	95回
参加者	1,324人	1,763人	2,484人

【成果】 自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体から申し込みがあった。内容に対する満足度も高く、ニーズにあった講座を提供して、住民の自主的な学びにつなげた。

⑥社会教育関係団体活動費補助金事業 184千円

社会教育関係団体の活動に対し補助した。

- ・町婦人会
- ・北条こども園PTA
- ・大誠こども園PTA
- ・由良こども園PTA
- ・大谷こども園PTA
- ・大栄小学校PTA

【成果】 各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、園行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員等の資質向上につながった。

⑦学校・家庭・地域連携協力推進事業 952千円

- ・放課後子供教室推進事業「子どもほくえい塾」(国・県・町それぞれ1/3負担)
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施した。
※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	H28	H29	H30
回数	126回	169回	145回
参加者	1,720人	2,757人	2,784人
ボランティア・保護者	1,171人	1,248人	1,280人

- ・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回
運営委員会を開催し、放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営・実施を図ることができた。

【成果】 放課後子供教室では、多くの地域の方々に協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動が実施できた。また、放課後子ども総合プラン運営委員会での意見などを参考に改善に努めた。

⑧通学合宿事業 72千円

- ・家庭から離れて、さらにメディアから離れて共同生活をするにより自主性と協調性を養うとともに、今後のメディアとのつきあい方を考えるきっかけづくりをした。
対象は小学5、6年の希望者。今年度は北条小からの希望者が少なく、大栄小16名のみ大栄健康増進センターにて実施した。

【成果】 通学合宿を通して食事作りができるようになり家庭での手伝いに生かしたり、異学年との交流が深まったりして活動の達成感を感じている。また、ゲーム・テレビ等メディアとのつきあい方を考えるきっかけになった。さらに、町内各団体・鳥取短期大学など、幅広い年齢層のボランティアとの関わりができた。



⑨地域副読本作成事業 776千円

- ・平成29年度に発行した「まちの姿」編に引き続き、歴史編の作成に取り掛かった。小学校6年生の授業に利用できるものを作成することに決定し、編集の際、学校の協力も得る体制で進行している。当初、今年度発行を予定していたが、他業務業務量の増大、外部編集関係者の事情、学校の意見等を勘案し、来年度に発行を延ばすこととした。(繰越事業)

【成果】 編集会議を開催し、素案を作成。文化財保護委員会に提出し、意見を求める予定。来年度発行に向け、作業が進んでいる。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	2 成人式費	554千円	539千円

①成人式事業 539千円

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。

- 期 日 平成31年1月3日(木)
- 会 場 北条農村環境改善センター
- 内 容 式典、恩師激励及び新成人決意表明、祝賀アトラクション、記念品授与、記念写真撮影

	H28	H29	H30
対象者	169人	146人	152人
出席者	128人	105人	116人
出席率	76%	72%	76%



【成果】 新成人代表が成人としての決意表明を行い、また、参加者受付、式典の司会も新成人が行うなど、新成人が主体的に参画し運営に関わることで新成人としての自覚を持つきっかけとなった。また、地元へ帰郷する機会となり、地域の良さを再確認することで愛着心を育てる一助となった。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	3 公民館費	47,068千円	44,855千円

①中央公民館管理事業 4,488千円

町民が身近に感じ、いつでも「つどい」、「ふれあい」、「学ぶ」ことのできる中央公民館として、十分に機能が発揮できるよう施設の適正な管理を行った。

〔中央公民館利用実績〕

	H28	H29	H30
開催日数	352日	358日	358日
利用者数※	17,064人	18,041人	19,252人



※会議室・ロビー利用者数

【成果】 中央公民館 施設の点検を行い必要な対策をしながら町民が安心・安全で気軽に利用できる学習施設として子どもから高齢者まですべての年代を対象に学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。

②公民館運営事業 18,793千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕 12,382千円

大栄分館の管理運営をNPO法人まちづくりネットに委託し、地域住民の参画と協働に基づき、地域に根ざした「行って元気が出る中央公民館」としての運営を行った。

・中央公民館大栄分館利用実績

	H28	H29	H30
開催日数	359日	359日	359日
利用者数※	42,057人	45,482人	45,403人

※会議室・ロビー利用者数

【成果】 すべての町民を対象に健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進が図れた。

③公民館講座事業 1,098千円

ニーズが多様化、高度化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広げ、心の豊かさと健康的・文化的な生活の向上をめざし、公民館活動を行った。

〔シニアクラブ(高齢者教室)〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に、学習講座を毎月開催し、生涯学習の推進した。

学習別会員数

	H28	H29	H30
総合学習	54	48	55
パソコン	18	19	23
ニュースポーツ	57	57	54
歌 唱	24	23	31
習 字	8	10	8
フラダンス	11	11	9
絵てがみ	18	17	15
食を考える	15	10	12
絵画	-	6	6



シニアクラブコース別学習
歌唱

学習別参加者

内 容	H28		H29		H30		
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
総合学習	8	延べ147	7	延べ185	8	延べ194	
コース別学習	7	延べ693	10	延べ919	10	延べ932	
全 体 学 習	開講式・講演	1	86	1	85	1	80
	ニュースポーツ交流会	1	49	1	48	1	49
	野外学習	2	72	2	72	2	61
	閉講式・講演	1	86	1	80	1	80

〔自治会生涯学習部長研修〕

自治会の学習活動を促進するとともに、地域課題解決の意識を高めるため、講師を招き、関係機関と合同で地域の人づくり・地域づくりに役立てる研修を実施した。

	H28		H29		H30	
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回
参加自治会数	33	36	20	37	20	—
参加者数	46	50	29	49	29	—

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に地域づくり・人づくり活動の推進と多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施した。

	H28		H29		H30	
	回	人数	回	人数	回	人数
青少年対象講座	23	235	23	362	20	417
成人対象講座	19	214	23	199	25	260

【成果】 青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりを推進した。また、自主的な活動を促進し、ともに学ぶ仲間を広げる取組みとなった。

④北栄文芸編集・発行経費事業 746千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発刊するとともに広く「文芸」に触れ合う場として公民館ロビーや自治会公民館、医院などに文芸誌を配置した。

〔発刊実績〕 (H29～H30)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

【成果】 随筆や川柳、短歌など小中高校生を含めた町民に幅広く作品を募集し、文芸誌を発刊。自治公民館などの町内の各所に「北栄文芸」を配置することにより、北栄町内の各所で文芸に親しむ環境が広がった。また、文化・学術的な生涯学習活動につながった。

⑤展示・鑑賞・発表経費事業 1,904千円

〔第14回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：平成30年11月3日(土・祝)～15日(水)】

出展状況

	H28	H29	H30
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	7	6	7
洋画	22	27	20
デザイン	—	—	5
書道	27	24	33
彫刻	1	2	2
版画	3	3	4



美術展開会式

写真	17	18	20
工芸	40	18	27
ちぎり絵	11	11	13
切り絵	3	2	4
俳画	7	6	5
絵手紙	9	8	11
和紙あかり	19	10	10
計	166	135	161



美術展表彰式

〔第13回公民館まつり〕

北栄町民を対象に文化・芸術・芸能活動の発展と生涯学習の推進を図るため、公民館まつり実行委員会を組織し、日ごろの創作活動や文化・芸能活動を幅広く町民に発表し、更なる取組みの発展を図った。会期初日は、作品展会場でオープニングセレモニーを行い、テープカット、文化教室成果発表や体験コーナーなどの多様な催しを実施した。また、芸能発表会は、会期最終日に多くの芸能活動団体等が日ごろの活動を発表した。

〔公民館まつり展示・発表状況〕

	H28	H29	H30
作品展	32部門 345点	32部門 308点	30部門314点
芸能発表会	51組 290人	57組273人	52組260人



公民館まつり芸能発表

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】 ・美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日頃の取組みを発表する場となった。また、住民には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。

・公民館まつりの作品展・芸能発表では、多くの活動団体・個人の発表、来場者の鑑賞、また、町民が集い交流することで親睦を深め生涯学習意欲を高めることができた。

・ロビー展は、文化団体との連携により出展の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し創作意欲の向上を図るとともに多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することができた。

⑥成果還元活動費補助金事業 117千円

〔文化教室等成果還元活動の推進〕

文化教室等が、作品展・芸能・音楽などを町内各所で発表し、地域周辺住民の楽しみとして還元された活動に対し補助した。

	H28	H29	H30
団体数	17(団体)	20(団体)	21(団体)
延べ回数	39(回)	39(回)	39(回)



ロビー展

【成果】 幅広く町民に生きがいと喜びを提供するなど地域に還元することができた。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、健康の増進や人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑦町文化団体協議会補助金事業 300千円

〔文化団体協議会の活動支援〕

町民の文化的な生活や学びの推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な推進・啓発に対し支援するとともに、中央公民館事業である美術展や公民館まつりの文化芸術作品の出品や芸能活動発表等の事業運営で連携するための活動経費の一部を補助した。

【成果】 町民の生涯学習推進と文化・芸術活動の発展に寄与した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	4 図書館費	49,096千円	47,390千円

①図書館管理事業 10,047千円

図書館利用者が「いつでも、誰でも」安全に快適に利用でき、居場所となれる施設として、適正な管理を行った。

空きスペースとなっていた図書館車庫をオープンギャラリーとして、改装工事を実施した。
[図書館車庫オープンギャラリー改装工事費] 6,470千円

【成果】 コナン通りに面している施設として、町民や観光客の賑わいを応援するスペースとなった。台場・反射炉模型を常設展示することで、近代化遺産を周知する機会となった。町民に親しまれるよう名称募集を行い、「ギャラリー ゆらり」に決定。今後は町内施設と連携した展示、グループ活動や学校の活動の成果発表の場として活用されるよう、管理運営を行っていく。

②図書館運営事業 21,636千円

図書館利用者が快適に読書する環境を整え、適正な運営を図った。また、図書館資料の充実に努め、地域を支える情報拠点としての取組みを進めた。

[図書・視聴覚資料等購入費] 4,750千円

【成果】 ・町民の持つ多様なニーズに応えるため、資料を幅広く計画的に収集した。また、展示や特集コーナーを随時入れ替え、利用に供した。

年度	H28	H29	H30
利用登録者数(人)	12,839	13,058	13,317
実利用者数(人)	2,298	2,219	2,102
貸出冊数	89,297	86,123	85,194
蔵書冊数	139,665	131,151	132,432
資料購入数	4,331	4,002	3,872

(北条分室・雑誌・AV資料全て含む)

* 主な事業・行事
(図書館)

項目	H28		H29		H30	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
あたまイキイキ音読教室	12回	118人	12回	89人	12回	97人
出前音読教室	7回	208人	6回	97人	17回	192人
図書館まつり	3日間	854人	2日間	726人	2日間	651人
「源氏物語を読む」講座	20回	539人	20回	509人	20回	488人
郷土史入門講座	3回	97人	4回	97人	4回	93人

『特集・展示コーナー』

<特集コーナー>

「熱中症予防」「ホタル」「七夕」「人権絵本」「保存食」
「敬老おすすめの本」「中学生おすすめの本」「クリスマス」
「男女共同参画の本」「若い人におすすめの本」
「大山開山1300年」「絵本作家どいかや特集」
「開館25周年ベストリーダー」「新生活応援」「のりもの」など



読みメンおはなし会

<パネル展>

「自閉症啓発パネル展」「結核と性感染症パネル展」「ホタルマップ」
「原爆と人間パネル展」「動物愛護パネル展」「けんせつ絵本」
「北方領土パネル展」「新春書家三人展」など

(北条分室)「絵本・紙芝居などの読みきかせ」…北条地区のこども園・保育園・小学校・福祉施設などへ、毎月1回ずつ(読みきかせボランティア「つくしんぼ」による)「夏休みビデオ上映会」「工作教室」「しおり作り」などを実施
「特集コーナー」「パネル展」は、図書館と同様の設置、独自開催するなど取組みを行った。

項目	H28		H29		H30	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
図書館まつり	3日間	384人	2日間	246人	2日間	166人

- 【成果】
- ・おはなし会に変化を持たせて実施することで、親子の参加の場を提供できた。
 - ・土曜講座「源氏物語を読む」「郷土史入門」はともに受講生が熱心で、学びの機会を提供できた。また、講座に関する図書等の貸出と利用促進を図った。
 - ・図書館まつりでは、親子で参加できる内容を企画したことで、新たな利用者の掘り起こしができた。
 - ・テーマを決めて特集コーナーを設置したりパネル展示をすることで、来館促進を図った。
 - ・図書館・北条分室ともに連携し、同時にコーナーを設置し、相乗効果を図ることができた。



ブックリサイクル(図書館まつりにて)



認知症予防講演会

③「今こそ絵本を！」推進事業 636 千円

(ブックスタート…生後7か月児対象)

乳児健診時に生後7か月の乳児と保護者に絵本等を手渡す。ブックスタートの趣旨説明や読みきかせボランティアによる絵本の読みきかせを行った。

年度	H28	H29	H30
対象者(組)	107	89	104
配布数	107	89	100

(マタニティ・ファーストブック…妊婦さん対象)

教育総務課(ネウボラ)が母子手帳を配布する時に、「絵本引換券」を発行し、図書館へ出産までに来館していただく。おなかの赤ちゃんに絵本を読むことで、母子ともに心が安定するなど効果があることを説明し、絵本1冊と「みんな、絵本から」(柳田邦男 著)を手渡し、人生における絵本との出会いを提供した。

年度	H28	H29	H30
対象者(組)	142	116	100
配布数	86	64	58

(絵本講座)

- ・「認知症予防の最新情報～音読の効果も含めて～」(高齢者編)

日時:平成30年10月6日(土) 午後1時30分～

場所:大栄農村環境改善センター 多目的ホール

講師:鳥取大学医学部教授 浦上克哉 氏

※地域包括支援センターとの連携事業

- ・どいかや氏による絵本の読みきかせ&ワークショップ(親子編)

日時:平成30年11月24日(土) 午後1時30分～

場所:北栄町図書館 1階フロア

講師:絵本作家 どいかや 氏



どいかや氏によるワークショップ(ぬり絵)

・絵本のすすめ講座(中学生編)

日時:平成30年11月24日(土) 午後1時30分～

場所:大栄農村環境改善センター 多目的ホール

講師:柳田邦男 氏(ノンフィクション作家&絵本推進活動家)

- 【成果】 ・町長室、出納室前に「おすすめ絵本コーナー」の棚を設置したことで、「今こそ絵本を！」推進事業の周知が進み、絵本に触れる機会を提供できた。
- ・ブックスタートについては、健診の参加にあわせ実施し、欠席者を除いて対象者に絵本を届けることができた。マタニティ・ファーストブックから始まる絵本が子育て・人生に重要な役割を果たすことへの認知が拡がり始めた。
 - ・認知症予防講演会を受けて、絵本を含めた音読が脳の活性化に効果的であることが分かり、出前講座を含め音読教室の参加者が増え、他課との連携により、事業周知も進んだ。
 - ・絵本作家による絵本の読みきかせ&ワークショップについては、事前に特集コーナーを設置したり、周知をし、多くの参加者があった。ぬり絵のワークショップでは、先生の指導のもと、大人も子どもも真剣に取り組んだ。さらに、講演会後も絵本の貸出につながった。
 - ・「絵本のすすめ講座」では、昨年に続き中学生を対象に開催した。アンケート結果から、絵本が小さい子どものためだけではなく、一生涯を通じて楽しめるものであること、今後も人生のパートナーとして絵本を読みたいという生徒の声が多く、絵本の普及につながる機会となった。

④図書館関係負担金事業 5千円

鳥取県図書館協会負担金

- 【成果】 他の市町村図書館との連携、情報交換のできる場が提供された。また、全国図書館大会や部門別研究集会への参加など、様々な支援・情報が得られ、業務遂行の上で参考になった。

⑤開館25周年記念事業 121千円

開館25周年を記念し、「本を読んでいるコナン」のイラストの入った読書通帳を作成し、貸出の推進を図った。さらに年ごとのベストリーダーを本とともに展示したり、図書館年表を作成して、玄関ロビーに展示し、来館者に情報提供を行った。

- 【成果】 読書通帳を活用した方を対象に、応募のあった方の中から7名に、図書館まつりのオープニングで記念品を贈呈した。また、完成したオープンギャラリーと、常設展示の由良台場や六尾反射炉の模型のお披露目を行い、多くの町民の方に周知できた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	5 文化費	944千円	900千円

①青少年劇場巡回公演委託事業 747千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、生の優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。

学校名	事業名	演目
大栄小	青少年劇場巡回公演(児童劇)	グリムのハンスと大悪魔
大栄中	芸術鑑賞教室	SWING! ～ブラックボトムプラスバンド演奏会～

※北条小学校は文化庁主催の狂言を鑑賞した。

※北条中学校は芸術宅配便事業を希望したが、希望の演目が無かった。

- 【成果】 芸術に触れる機会を提供したことにより、児童生徒が感動し、芸術への関心を高めることができた。



SWING! (大栄中)

②北栄文化回廊事業

153千円

北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、中央公民館に文化イベントを集結し、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを出現させるとともに、「北条ふるさとまつり」と連携し、「北栄文化」のイメージの浸透を図った。

また、図書館、青山剛昌ふるさと館とも連動し、期間中、町全体で集中的に「北栄文化」の発信を行った。

メイン期間 平成30年11月3日(土・祝)～11月15日(木)

イベント名称等	場 所	人 数
北栄町美術展(11/3～15)	北条農村環境改善センター	913 人
郷土玩具と北條土人形展(10/26～11/25)	北栄みらい伝承館	676 人
お茶席(11/4)	中央公民館(本館)	150 人
北条砂丘太鼓(11/4)	北条農村環境改善センター駐車場	- 人
書道パフォーマンス(11/4)	北条農村環境改善センター駐車場	- 人
朝の元気配達便出張録音(11/4)	北条農村環境改善センター駐車場	16 人
図書館まつり【図書館本館】(11/3～4)	北栄町図書館(本館)	651 人
図書館まつり【北条分室】(11/3～4)	北栄町図書館(北条分室)	166 人
齋尾家限定公開(11/11)	齋尾家	17 人
生涯学習課関係 計		2,589 人

※ふるさとまつりオープニング

※ふるさとまつりオープニング

北条ふるさとまつり(11/4)	北条農村環境改善センター駐車場ほか	2,000 人
青山剛昌名探偵コナン特別原画展など	青山剛昌ふるさと館	4,777 人
全体 計		9,366 人

※期間中来館者数



北栄町美術展



郷土玩具と北條土人形展



齋尾家限定公開



北条砂丘太鼓・書道パフォーマンス(北条ふるさとまつり)

【成果】 複数の展示・イベントを集中的に行うことで多くの方に「北栄文化」を感じ取っていただく機会を提供できた。「北条ふるさとまつり」との相乗効果を狙い、まつりの日にイベントを集中させ、狙いどおり「北条砂丘太鼓」「書道パフォーマンス」は多くの方に観覧いただき、今年の約2倍にあたる150名を予定していた「お茶席」も定員に達した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 文化財保護対策費	6,846千円	6,123千円
<p>①文化財保護対策事業 3,113千円</p> <p>本町の文化財保護行政を円滑に推進するため、文化財に対する啓発や調査研究を行うとともに町内に存在する指定文化財等の維持、管理を行った。また、国登録有形文化財の齋尾家住宅の限定公開を実施することにより、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供した。</p> <p>文化財保護委員会の指導・助言を受けながら、未整理の埋蔵文化財資料の整理や北栄町歴史民俗資料館資料収集方針を制定し、行ったお別れ展示による除籍、譲渡など各種資料の再整理・再保存に取り組み、収蔵する資料に係る文化財の保護を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護委員会の開催 2回 ・齋尾家住宅限定公開 2回 ・指定文化財等の保護、管理報償 国指定3件 県指定12件 町指定21件 ・お別れ展示の実施 来場者数903人 譲渡資料割合84% ・歴史探訪ウオークの開催(台風接近に伴い中止) ・国特別天然記念物「オオサンショウウオ」の保護 <p>【成果】 町内の各種文化財資料の保管・活用方針への助言等を参考に再整理等を行い、他の教育関係機関等との連携を進めるとともに資料活用や郷土文化の理解と未来への伝承、重要な資料の継承につなげた。特にお別れ展示を用いた除籍・譲渡にかかる取組は、全国から注目され東京大学で開催された「第18回文化資源学フォーラム」で発表し、博物館等の収蔵庫問題に一石を投じた。</p> <p>町内にある多くの貴重な文化財について、直接知り、楽しむ機会などを提供できたとともに情報収集を行い、関係各所へ提供することで情報発信につなげた。</p> <p>必要に応じ、文化財やそれに付随する施設等の補修・維持管理を行い、文化財保護に対する意識の啓発に努めた。</p>					
<p>②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業 3,010千円</p> <p>北栄町の誇れる近代化遺産である由良台場、六尾反射炉を発信するため、関係自治体と連携し、活用に向け情報を収集した。</p> <p>【成果】 ・民間グループと連携し、発信イベントを行った(オールウェイズ・砂丘花火特別鑑賞会場)。 ・六尾反射炉水路調査を実施し、調査・研究を進めることができた。 ・来年度佐賀市との連携による調査実施につなげることができた。 ・明治150年事業として、由良台場・六尾反射炉模型を修繕し展示、パネル展を行った。 ・図書館移動図書館車庫を改修し、オープンギャラリー内に模型常設コーナーを開設できた。 ・上記内容を活かし、3/24に湯梨浜町・琴浦町との連携事業としてイベント開催し、町内外に幅広く発信し、文化財の保護と活用を促進しつつ、住民への浸透を図ることができた。</p>					
款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 歴史民俗資料館費	6,564千円	6,206千円
<p>①歴史民俗資料館管理事業 4,254千円 ※風のまちづくり事業充当(140千円)</p> <p>歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。</p> <p>【成果】 博物館資料アドバイザーの助言を得て資料の再整理・再保存を実施し、資料を活用した展示を行うことができた。</p>					
<p>②歴史民俗資料館展示事業(下表参照) 1,951千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回 					

【入館実績】

期間	開館日数	事業内容	入館者数	町内	町外
4/14～5/6	23	門脇博油彩画展	390人	220人	170人
6/1～7/1	27	砂丘開拓の歴史	207人	157人	50人
7/13～8/26	39	明治・大正・昭和の生活道具	439人	232人	207人
9/7～9/30	22	木村香翠書展	497人	173人	324人
10/6～10/21	16	県博移動美術館	316人	185人	131人
10/26～11/25	31	特別企画展 郷土玩具と北條土人形	676人	431人	245人
12/7～1/27	40	写真で辿る北栄町の歴史	155人	114人	41人
2/15～3/31	38	豊田太蔵・収父子展	262人	150人	112人
企画展小計			2,942人	1,662人	1,280人
4/1～3/31		生田和孝・加藤廉兵衛常設展のみ	317人	242人	75人

総入館者数 3,259人

	H28	H29	H30
入館者数(人)	2,479	3,356	3,259

【成果】 各種展示を通じて町内の文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供できた。「明治・大正・昭和の生活道具」では「お別れ展示」を連携企画として開催し、町の歴史や人々の暮らしを伝えることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	8 民芸実習館費	1,584千円	1,223千円

①民芸実習館費事業 1,223千円

多くの町民が陶芸や油絵などの文化的創作活動が安心・安全、かつ、充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

〔利用実績〕

	H28	H29	H30
開館日数	176日	155日	190日
利用者数	1,201人	1,116人	1,184人



陶芸教室

【成果】 陶芸教室や木工教室、水墨画教室、木版画教室を開催し、文化教室への新規加入や施設の利用促進を図るとともに、施設設備の修繕により、民芸実習館の有効な活用を促進することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	9 町内遺跡発掘調査費	2,666千円	2,646千円

①町内遺跡発掘調査事業 2,646千円

開発行為に伴い、踏査・試掘を実施。(国庫補助事業)

・場所 北栄町江北、由良宿、上種

・状況 江北・・・小型風車設置に伴う調査。調査地は江北天神山遺跡の北西方向に位置しており、未踏査区域であったため、試掘を実施した。遺物・遺構は発見されなかった。

由良宿・・・大栄中学校のエアコン設置工事に伴う調査。由良遺跡の範囲内での工事であったため、試掘を実施した。遺物・遺構は発見されなかった。

上種・・・産業廃棄物処理施設増設に伴う調査。鳥取県生産遺跡調査報告書に記載にある鉄山谷たたら隣の近隣であったため、試掘を実施した。遺物・遺構は発見されなかった。

【成果】 3箇所の試掘を実施し、いずれの場所においても遺物・遺構は発見されなかったが、町内における包蔵地の状況確認をする一助となった。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	12 町内埋蔵文化財整理事業費	5,259千円	5,011千円
<p>①町内埋蔵文化財整理事業 5,011千円</p> <p>現在までに発掘調査等で蓄積された埋蔵文化財資料を再整理のうえ適切に収蔵・管理し、継続的な調査・研究を実施する。また、それらの結果をもとに埋蔵文化財を活用した教育普及活動につなげる。(国庫補助事業)</p> <p>《状況》 保管している出土資料及び調査記録資料を、報告書に掲載され展示に活用できるもの等に仕分けしたうえで写真撮影・リスト化した。また、劣化している保存容器を更新した。</p> <p>【成果】 資料の写真記録・リスト化、活用しやすい収蔵ができたことで、今後の教育普及活動につなげた。</p>					
款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	1 保健体育総務費	5,878千円	5,766千円
<p>①保健体育総務事業 51,901千円</p> <p>北栄町スポーツ推進委員(25人) 地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。</p> <p>《主な活動内容》 協議会開催 4回 訪問型ニュースポーツ体験事業 20回 (地域の団体等に対するニュースポーツの指導) 北栄町すいか・ながいも健康マラソン大会の運営協力 6月17日 体力測定・ミニ体力測定の実施 10月23日、11月23日、2月8日 北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月18日 元旦マラソン&ウオーキング大会 1月1日 東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 他</p> <p>北栄町スポーツ表彰 本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を収めた選手及び団体を表彰する。 2月24日開催 体育功労賞2人、優秀指導者賞2人、スポーツ最優秀賞6人、スポーツ優秀賞15人、スポーツ敢闘賞117人、スポーツ奨励賞61人</p> <p>【成果】 生涯スポーツの普及と社会体育振興に取組み、町民の体力向上と健康増進につなげた。</p>					
<p>②保健体育総務関係負担金事業 575千円</p> <p>県体育協会負担金、郡体育協会分担金、県スポーツ推進委員協議会負担金、郡スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか</p> <p>【成果】 関係機関との連携を図り、関係機関が実施する各種事業により、社会体育振興につなげた。</p>					
款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	2 保健体育振興費	43,001千円	41,920千円
<p>①保健体育振興事業 650千円</p> <p>北栄町スポーツ県外派遣費補助金 県、または県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。補助決定件数 32件</p>					

【成果】 中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上につながった。

②北栄スポーツクラブ事業 41,090千円

一般財団法人北栄スポーツクラブを指定管理者として町内社会体育施設の管理、主な社会体育事業の実施を委託し、総合型地域スポーツクラブの振興を図っている。

社会体育事業(町委託) 北栄町駅伝競走大会ほか

指定管理施設

北条体育館 大栄体育館 大誠体育館 勤労者体育センター 北条ふれあい会館
大栄ふれあい会館 北条野球場 大栄野球場 北条運動場 大栄運動場
北条多目的広場 B&G海洋センター

年度	H28	H29	H30
全施設延べ利用人数	191,021人	194,825人	197,725人
スポーツクラブ会員数	1,183人	1,279人	1,271人

【成果】 総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,000名を超え、毎年増えている。また、北栄スポーツクラブが実施する「シニアスポーツ教室」「はつらつ運動教室」も利用者が増えており、高い評価を得ている。

北栄町版健康寿命日本一大作戦は、取組み自治会が1自治会増。(既取組み自治会8)

北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

③ウォーキングのまち北栄町推進事業 171千円

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウォーキングを実施した。

北栄てくてくウォーキング 2回(計画していた1回は台風で中止) 参加者延べ257人

【成果】 日常生活の中で気軽に取り組めるウォーキングを行うことで運動習慣の定着につながった。

④訪問型ニュースポーツ体験事業 9千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、参加者の希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながら、ニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	H28	H29	H30
回数	16回	22回	20回
訪問した委員	延べ38人	延べ54人	延べ51人

【成果】 小学校親子会など、地域のみなさんにスポーツ推進委員指導によるニュースポーツを体験していただき、生涯スポーツ人口増の取組みを低年齢層から広げることができた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予算現額	決算額
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費		

①すいか・ながいも健康マラソン大会事業 17,034千円

第31回大会 6月17日開催

参加申込者数 4,920人

お台場公園多目的広場を発着点とする3キロ、5キロ、10キロのコースで参加者が健脚を競った。

年度	H28	H29	H30
参加申込者	4,669人	4,729人	4,920人



ゴール後はスイカを堪能

〔歳入〕

参加料	15,865,500円
出店料	50,700円
広告掲載料	300,000円
協力金	146,000円
合計	16,362,200円

【成果】 6月第3日曜日の開催に変更し4回目。参加者の熱中症に対してのリスク軽減を図り、大会を通じた健康づくりにつながった。また、たくさんの町民がボランティアで大会運営に関わることで、本町の文化・産業・農業を全国に発信し、魅力ある町づくりを推進することができた。

3キロコースで誤発砲により当日のタイム確定が不可能になるトラブルがあったが、タイムの調査を行い、該当のすべてのランナーにお詫びの通知及び完走証などを送り、適切な対応に努めた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	1 人権推進費	1,143千円	1,100千円

①人権対策関係負担金事業 288千円

県人権文化センター負担金
東伯郡同和对策協議会負担金
部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金
とっとり被害者支援センター負担金

【成果】 関係団体の活動を通じて、人権対策事業の進展に資した。

②人権啓発活動事業 521千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切に思いやりや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。
また、人権啓発用ワッペン・リボンをこども園・保育所(園)、小・中学校等に配布・着用した。
なお、11月10日(土)に「北栄町じんけんフェスティバル2018」を開催した。

〔人権の花運動〕

期 日 平成30年10月9日(火)、10月16日(火)
場 所 大栄小学校、北条小学校
内 容 花の苗各820株の栽培
参加人数 小学校児童787人、人権擁護委員5人



人権の花運動

【成果】 命を大切にし、人を大切にする心を育てることに寄与できた。

〔北栄町じんけんフェスティバル2018〕

期 日 平成30年11月10日(土)
場 所 大栄農村環境改善センター
内 容 演題:「夫源病～もっと楽にやっいていける人間関係って?～」
講師:石蔵 文信氏 (大阪大学人間科学研究科 未来共創センター招へい教授)
参加人数 300人

【成果】 家庭内の人間関係に触れながら、人生を生き生きと過ごすことなどについての講演。また、女性団体連絡協議会と連携し、男女共同参画フォーラムと共同開催として実施。

③人権擁護委員事業 264千円

地域において人権思想を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人
(主な活動内容)

- ・特設人権相談(町内月1回)
- ・街頭啓発活動(人権擁護委員の日・人権週間)
- ・事業所訪問(人権週間) ※24事業所

倉吉人権擁護委員協議会負担金
倉吉人権擁護委員協議会県連合会負担金



街頭啓発活動

【成果】 地域住民に対し人権思想の普及と人権相談による人権擁護に資することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	2 隣保館運営費	10,796千円	10,344千円

①隣保館管理運営事業 9,625千円

町全体を対象とした人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を行い、福祉の向上にもつなげる取組みをした。

【成果】 人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。また、「ほくほくプラザだより(館報)」等による情報発信により、施設利用者の増加につながった。

事業名		H28	H29	H30
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権教育推進(担当者)連絡会	1回	2回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	人権ワークショップ講座	1回	1回	-
	同和問題現地研修	1回	1回	2回
	習字教室	23回	24回	24回
	押し花教室	12回	4回	5回
	絵本の読み聞かせ	12回	12回	12回
	おしゃべりサロン	12回	12回	12回
ほくほくパソコンネット講座	26回	26回	26回	
相談件数	57件	93件	95件	
施設利用者数	2,060人	2,307人	2,600人	

②部落解放中学3年生交流参加負担金事業 19千円

部落解放中学3年生交流会の参加生徒・指導者に補助を行った。

【成果】 同和問題や様々な人権問題の解消に向けて学習する仲間づくりの場への参加・指導を支援し、参加者の人権尊重社会をつくる一員としての自覚や認識を高めることができた。

③隣保館関係負担金事業 74千円

鳥取県隣保館連絡協議会負担金
中部地区隣保館集会所連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動及び連携を通じて事業運営の充実と人権啓発の進展を図ることができた。

④隣保館運営審議会(児童館運営委員会も兼ねる)の開催 33千円

隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】 「ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)」の事業実施状況や事業計画などを説明し意見を伺うことによって事業実施の参考とすることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	3 児童館運営費	5,912千円	5,661千円

①児童館管理運営事業 5,635千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域組織活動の支援を行った。

主な事業等	H28	H29	H30
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室	2回	10回	3回
料理教室	1回	3回	3回
創作教室	-	3回	4回
たのしい科学実験	1回	1回	1回
工作・木工教室	-	3回	1回
お魚教室	2回	2回	1回
ほくほく食堂	-	1回	3回
電波教室	-	1回	
解放子ども会の集い	1回	1回	1回
子ども会交流会	1回	-	-
職場訪問			3回
ふしぎ実験教室	1回	-	-
たのしい科学実験	1回	-	-
工作教室	1回	-	-
長期連携行事(もち米作り)	-	-	3回
異文化を学ぶ(ハロウィン)	-	-	-
キャンドル作り	1回	-	-
お弁当を作ってピクニック!	1回	-	-
ひなまつりクッキング	1回	-	-
ちまき作り	1回	-	-
ヨットカーづくり他	1回	-	-
朝ごはんを作ろう!	1回	-	-
カラーソルトフラワーづくり	1回	-	-
オリジナルマグカップ作り	1回	-	-
ビーズアクセサリ作り	1回	-	-
サバイバルメシタキ	1回	-	-
ランプシェード作り	1回	-	-
カレンダー作り	1回	-	-
鏡もち作り	1回	-	-
手打ちうどん作り	1回	-	-
カプラで遊ぼう	1回	-	-
施設利用者数	5,739人	7,790人	10,446人

【成果】 地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成・資質向上に貢献した。

②児童館関係負担金事業 26千円

児童健全育成推進財団会費
鳥取県児童館連絡協議会負担金
鳥取県子ども会育成連絡協議会負担金

【成果】 関係団体の活動と連携を通じて、児童館活動の質的向上を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	4 人権教育費	19,140千円	18,769千円

①人権を学ぶ会事業 657千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民と一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

・人権を学ぶ会

項目		H28	H29	H30
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	60回	63回	63回
	延参加者	1,039人	995人	1,032人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	6回	8回	12回
	延参加者	119人	185人	224人

・各種会議並びに研修会

項目		H28	H29	H30
人権教育推進協力員会議	実施回数	3回	4回	4回
	延参加者	38人	53人	60人
人権教育地区推進員会議	実施回数	3回	3回	3回
	延参加者	208人	202人	231人

【成果】 身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。また、男女共同参画推進会議と連携し、取組めた。

②人権学習会事業 233千円

小・中学生の希望者を対象に人権学習会を開催し、人権に関する知識や認識を広げたり深めたりした。

項目		H28	H29	H30
小学生学習会	実施回数	22回	22回	21回
	延参加者数	213人	201人	266人
中学生学習会	実施回数	22回	22回	26回
	延参加者数	168人	102人	111人

【成果】 お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることによって、しっかりした自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていこうとする意識や態度を育むことができた。

③人権教育推進員設置事業 2,184千円

人権教育推進員(1人)を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を努めた。

項目		H28	H29	H30
人権教育事業所研修	実施回数	41回	23回	19回
	延参加者	1,171人	973人	1,026人
人権教育に係る講演等	実施回数	1回	1回	1回
	延参加者	37人	45人	17人

【成果】 各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

④鳥取県人権教育推進協議会負担金事業 27千円

鳥取県人権教育推進協議会に対し、市町村負担金を交付し活動を支援した。

【成果】 鳥取県人権教育推進協議会等が主催する「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の運営が円滑に行われ、この集会に参加することにより町民はもとより、県民全体の人権意識高揚につなげることができた。

⑤北栄町人権教育・啓発推進協議会委託事業 1,094千円

全町民を対象に人権問題の正しい認識を広げる活動を行う北栄町人権教育・啓発推進協議会に啓発事業の一部を委託し、各種全国大会等に積極的に構成員を派遣した。さらに、ワーキンググループ(実行委員会)を設置し、じんけんフェスティバル2018を主催した。



第70回全国人権・同和教育研究大会



北栄町じんけんフェスティバル2018

(H30の主な大会派遣)

大会名	開催場所	参加者数
第43回部落解放・西日本夏期講座	米子市	81人
第43回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会	鳥取市	44人
部落解放研究第52回全国集会	岡山市	1人
第70回全国人権・同和教育研究大会	大津市 他	5人
第33回人権啓発研究集会	新潟市	1人
部落解放第50回全国高校生集会	神戸市	1人
第41回全国人権保育集会	さいたま市	2人

機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。

(平成30年8月、12月、平成31年2月発行)

【成果】 町内の各種団体等で構成される北栄町人権教育・啓発推進協議会に事業を委託することにより、人権啓発を広範に進めることができた。

会 計 名	予算現額	決算額
国民健康保険事業特別会計	1,955,266千円	1,855,920千円

平成30年度は、歳入総額1,921,557千円、支出総額1,855,920千円で収支は65,637千円の黒字となった。

1 国民健康保険税の収納状況

(単位:千円・%)

区 分	H28年度		H29年度		H30年度			
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
現年分	一般被保険者分	430,036	98.1	434,381	99.0	455,828	449,872	98.7%
	退職被保険者等分	19,356	100.0	9,432	100.0	3,388	3,388	100.0%
	計	449,392	98.1	443,813	99.0	459,216	453,260	98.7%
滞納繰越分	一般被保険者分	11,411	52.9	10,307	58.1	10,020	5,898	58.9%
	退職被保険者等分	565	58.2	327	79.2	82	26	31.7%
	計	11,976	53.1	10,634	58.6	10,102	5,924	58.6%
合 計	461,368	96.0	454,447	97.4	469,318	459,184	97.8%	

2 療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

(単位:件・千円)

区 分	H28年度		H29年度		H30年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
療養給付	一般	64,244	1,088,474	64,712	1,066,531	64,574	1,092,637
	退職者	3,378	51,822	1,858	28,718	796	10,939
療養費	一般	454	3,494	516	3,367	437	5,666
	退職者	19	143	9	74	3	21
審査支払等手数料	—	3,712	—	3,858	—	6,270	
高額療養費	一般	2,454	159,478	2,423	140,617	2,361	154,825
	退職者	98	9,612	60	4,636	23	1,821
高額介護合算療養費	8	205	5	57	3	16	

【成果】被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付(保険者負担分7割～9割及び高額療養費等)を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

3 出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

(単位:件・千円)

区 分	H28年度		H29年度		H30年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	0	0	0	0	0	0
出産育児一時金	20	8,400	14	5,704	11	4,737
葬祭費	35	525	26	390	25	375

【成果】出産育児・葬祭等に要する経費について給付を行い、経済的な負担を軽減した。

4 特定健康診査受診状況

	H28	H29	H30
特定健診受診率	37.0%	39.3%	41.6%

(※H30は速報値)

【成果】特定健診受診率は、国が示す目標値60%と比較すると依然として低い状態であり、受診率向上対策が課題となっている。

5 国民健康保険の加入状況(年間平均)

区 分		H28年度	H29年度	H30年度
世帯数		2,444世帯	2,385世帯	2,342世帯
被保険者数	一般被保険者	4,261人	4,185人	4,115人
	退職被保険者数	219人	115人	42人
	計	4,480人	4,300人	4,157人
介護保険第2号被保険者数		1,587人	1,446人	1,322人

H28年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		90人	420人	6人	18人	0人	15人	549人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
	89人	397人	3人	34人	157人	35人	715人	

H29年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		79人	414人	3人	18人	0人	50人	564人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
	92人	396人	9人	38人	154人	37人	726人	

H30年度中 増減内訳 (単位:人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		79人	396人	2人	13人	0人	10人	500人
	減少	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
	88人	344人	6人	26人	164人	15人	643人	

6 療養の給付等の内訳

区 分		H28年度		H29年度		H30年度	
		費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	一般	606,791	142,406	593,940	141,921	616,953	149,928
	退職者	24,903	113,714	17,397	151,282	5,608	133,535
入院外	一般	480,451	112,756	469,738	112,243	488,402	118,688
	退職者	26,661	121,741	12,484	108,555	5,099	121,412
歯 科	一般	83,610	19,622	85,900	20,526	84,956	20,645
	退職者	5,394	24,631	2,564	22,294	1,105	26,300
調 剤	一般	281,976	66,176	269,287	64,346	263,471	64,027
	退職者	15,709	71,730	7,366	64,053	3,384	80,570
食事療養	一般	27,911	6,550	28,360	6,777	29,113	7,075
	退職者	1,396	6,375	1,288	11,200	433	10,321
訪問看護	一般	9,909	2,326	12,497	2,986	12,337	2,998
	退職者	0	0	0	0	0	0
合 計		1,564,711	349,266	1,500,821	349,028	1,510,861	363,450

【成果】療養の給付等は1人あたりで見ると増加に転じ、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図っていく必要がある。

会 計 名	予算現額	決算額
介護保険事業特別会計	1,638,323千円	1,601,779千円

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者(40歳以上)が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「こけないからだ講座」の拡充及び「地域ケア会議」を実践し、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。

【地域ケア会議の状況】



月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、理学療法士、歯科衛生士、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議を行った。

	H28	H29	H30
新規件数	64件	60件	71件
評価件数	28件	2件	0件

【成果】

利用者一人ひとりの生活機能向上に着目して、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。

決算は、歳入総額16億4,456万1千円、歳出総額16億177万9千円、実質収支額は4,278万2千円であった。

1 認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(1) 認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
31年3月末	35	105	132	157	128	125	75	757
30年3月末	46	99	129	148	126	127	77	752
※うち死亡者	0	8	13	13	22	26	34	116

※平成30年度中に死亡した認定者数

(2) 要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(単位:人)

申請区分	申請件数	審査結果									申請取下	合計
		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当			
①新規申請	186	25	36	45	23	19	12	10	6	10	186	
更 新	支援1	13	5	5	1				2		13	
	支援2	55	6	34	3	9	1	1	1		55	
	介護1	75	1	2	37	28	3	4			75	
	介護2	78		8	12	38	14	3	1	2	78	
	介護3	53		1	3	3	33	9	4		53	
	介護4	67		1	1	3	11	32	16	3	67	
	介護5	34					1	9	22	2	34	
②小計	375	12	51	57	81	63	58	43	3	7	375	
変 更	支援1・2の者	32		3	7	10	6	2	2	2	32	
	介護1～5の者	43			2	9	15	16		1	43	
	③小計	75	0	3	7	12	15	17	18	0	3	75
合計(①+②+③)	636	37	90	109	116	97	87	71	9	20	636	

2 地域支援事業 56,387 千円

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業 49,992 千円

(ア) 介護予防・生活支援サービス事業 44,566 千円

● 訪問型サービス

(単位:人、回)

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防訪問介護相当サービス	307		

● 通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防通所介護相当サービス	884		
シニアフィット教室	845	141	通所型サービスA
生きがいデイサービス	1,066	154	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	320	48	通所型サービスC

● 介護予防ケアマネジメント

事業名	延人数	備考
シニアフィット週1回教室	37	通所型サービスA
生きがいデイサービス	37	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	23	通所型サービスC

介護予防サービス計画書作成		H28	H29	H30
事業所委託	件数	956 件	1,001 件	1,116 件
	委託料	3,845 千円	4,101 千円	4,661 千円
包括直営	件数	436 件	607 件	667 件

(イ) 一般介護予防事業 5,426 千円

● 地域介護予防活動支援事業

(単位:人、回)

事業名	延人数	開催回数	備考
リフレッシュ教室	356	48	認知症予防
はつらつ！お達者教室	761	96	認知症予防
食べて！うたって！笑わー会	579	48	認知症予防
転倒予防教室	401	24	
こけないからだ講座	92	11	
こけないからだ講座(フォロー)	212	16	

● 介護予防普及啓発事業

認知症サポーター養成講座	271	10	
介護予防運動サポーター養成講座	30	2	
高齢者サークル事業	7,307	1,003	サークル数 16団体
介護予防講座(健康教室)	358	17	

● 地域リハビリテーション活動支援事業

お口の機能向上事業	57	9	
リハビリテーション専門職派遣事業	25	18	

【こけないからだ講座の状況】



体調の維持・向上の実現のため、重りを使い、歌いながら、ゆっくりとした体操を毎週1回、3ヵ月の教室を実施。教室終了後も、住民主体で継続実施している。

	H28	H29	H30
新規自治会	4	3	2
継続自治会	15	18	21

(2) 包括的支援事業・任意事業 6,395 千円

(ア) 在宅医療・介護連携推進事業

中部圏域の共通課題について、1市4町、医師会、福祉保健局担当者会にて検討し事業の推進を図り、医療・介護機関の社会資源マップをインターネット上で情報提供している。

	延人数	開催回数	備考
地域づくりしよいやの会	301	3	

	29年度	30年度	備考
退院調整率	89.0%	91.6%	
連携シート提出率	77.9%	81.1%	

(イ) 生活支援体制整備事業 5,468 千円

第1層(町全域)協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層(旧町単位)協議体「助け合い推進会議(よっしゃやらあ会)」を設置し、生活支援や助け合い活動の推進について協議した。

	延人数	開催回数	備考
生活支援サポート養成講座	6	1	
第1層協議体		1	
第2層協議体	85	18	

(ウ) 認知症総合支援事業 106 千円

認知症初期集中支援チームを設置し、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント・相談等の初期の支援を包括的・集中的に行った。

開催回数	実件数	延件数	備考
2回	2件	2件	新たに介護(予防)サービスに1件つながった

(エ) 権利擁護事業 12 千円

高齢者等虐待防止連絡協議会		1	
---------------	--	---	--

● 高齢者虐待対応の状況(実数) (単位:人)

	通報相談件数	虐待判断件数	備考
養護者による虐待	6	4	
施設従事者による虐待	1	1	

(オ) 任意事業 782 千円 (単位:人、回)

主な事業名	延人数	開催回数	備考
在宅介護者慰労事業	44	2	
家族介護用品支給事業	63		
認知症の人と家族のつどい	53	12	

認知症高齢者等が行方不明になった時、地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

	H28	H29	H30
協力機関登録数	33	39	41
事前登録者	10	13	9
GPS貸与者	6	6	2

3 介護保険給付費

区 分	種 別	延件数(件)	給付額(円)
居宅(介護予防)サービス	訪問介護	683	56,861,888
	訪問入浴介護	27	1,390,575
	訪問看護	533	20,126,665
	訪問リハビリテーション	33	709,353
	居宅療養管理指導	113	580,284
	通所介護	2,060	225,085,552
	通所リハビリテーション	1,758	124,942,371
	短期入所生活介護	268	33,598,950
	短期入所療養介護(介護老人保健施設)	258	16,917,287
	福祉用具貸与	2,998	36,437,739
	福祉用具購入費	59	1,307,745
	住宅改修費	65	3,724,512
	特定施設入居者生活介護	36	7,622,847
	居宅介護支援計画	4,604	58,489,897
	計		587,795,665
地域密着型(介護予防)サービス	地域密着型通所介護	17	1,423,161
	認知症対応型通所介護	24	3,748,194
	小規模多機能型居宅介護	388	50,420,922
	認知症対応型共同生活介護	847	206,396,392
	計		261,988,669
施設介護サービス	介護老人福祉施設	701	176,140,592
	介護老人保健施設	1,352	372,813,512
	計		548,954,104
小 計		1,398,738,438	

特定入所者(介護予防)サービス等	特定入所者介護サービス費	食費 1,380	31,014,008
		居住費 735	10,990,770
	計		42,004,778

高額介護サービス等	高額介護サービス費	2,475	25,637,035
	高額医療合算サービス費	113	2,894,142
	計		28,531,177

諸 費	審査支払手数料	16,655	1,582,225
-----	---------	--------	-----------

介護給付費合計額			1,470,856,618
----------	--	--	---------------

【成果】 事業計画内での給付費の決算となり、平成22年度から実施している地域ケア会議等の取り組みの成果だと考えられる。

4 介護保険料の収納状況

(単位:千円)

区 分	H28年度		H29年度		H30年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	314,117	100.0	324,590	100.0	337,380	337,380	100.0
現年度分普通徴収	24,363	94.6	21,920	94.4	23,212	22,532	97.1
滞納繰越分	1,789	45.3	2,069	58.6	2,707	1,740	64.3
計	340,269	99.0	348,579	99.2	363,299	361,652	99.5

65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年 度	H28	H29	H30
65歳以上人口	4,859 人	4,945 人	5,045 人
高齢化率	31.8 %	32.7 %	33.7 %
介護認定者数	728 人	752 人	757 人
65歳以上	714 人	737 人	743 人
40～64歳	14 人	15 人	14 人
認定率	15.0 %	15.1 %	15.0 %
介護給付費	1,461,210千円	1,423,878千円	1,470,857千円

要介護認定者数における年度末の状況 (単位:人)

年 度	H28	H29	H30
要支援1	33	46	35
要支援2	82	99	105
要介護1	114	129	132
要介護2	159	148	157
要介護3	137	126	128
要介護4	120	127	125
要介護5	83	77	75
合 計	728	752	757

介護保険の資格取得者・喪失者の状況 (単位:人)

年 度	H28	H29	H30
取得者(65歳到達・転入)	292	282	287
喪失者(死亡・転出)	212	196	187
増 減	80	86	100

居宅サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H28	H29	H30
要支援1	20	20	21
要支援2	60	66	73
要介護1	81	92	80
要介護2	104	90	96
要介護3	61	62	62
要介護4	46	43	40
要介護5	22	17	15
合 計	394	390	387

地域密着型サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H28	H29	H30
要支援1	1	3	3
要支援2	3	4	5
要介護1	14	21	18
要介護2	36	28	29
要介護3	27	25	28
要介護4	15	18	17
要介護5	7	5	4
合 計	103	104	104

施設サービス利用者の状況(各年度の3月サービス利用者数) (単位:人)

年 度	H28	H29	H30
介護老人福祉施設	59	56	65
介護老人保健施設	111	111	101
介護療養型医療施設	0	0	0
合 計	170	167	166

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
住宅新築資金等貸付事業特別会計	34,531千円	34,529千円

住宅新築資金等貸付事業は、歴史的・社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境の整備改善を図るため、住宅新築及び宅地取得に資金を貸付け、その回収を行っている。

平成30年度償還額(件数)は住宅新築(20件)2,074,286円、宅地取得(6件)231,000円。

平成30年度末現在の滞納状況は、滞納者16名(22件)、滞納額32,175,392円。

平成30年度の決算は、予算現額34,531千円に対し、歳入総額2,354千円、歳出総額34,529千円となり、収支差額△32,175千円。歳入不足額は翌年度繰上充用金で補填した。

1 住宅新築資金等貸付金償還状況

(単位:件、円)

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
30	住宅新築	現年度分	4	1,505,660	761,709	0	743,951
		滞納分	16	26,169,119	1,312,577	0	24,856,542
		小計	20	27,674,779	2,074,286	0	25,600,493
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	6	6,805,899	231,000	0	6,574,899
		小計	6	6,805,899	231,000	0	6,574,899
合 計		26	34,480,678	2,305,286	0	32,175,392	

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
29	住宅新築	現年度分	12	2,275,277	1,039,688	0	1,235,589
		滞納分	17	26,405,238	1,471,708	0	24,933,530
		小計	29	28,680,515	2,511,396	0	26,169,119
	宅地取得	現年度分	0	0	0	0	0
		滞納分	7	6,996,899	191,000	0	6,805,899
		小計	7	6,996,899	191,000	0	6,805,899
合 計		36	35,677,414	2,702,396	0	32,975,018	

年度	種別	件数	調定額	償還済額	不納欠損額	未納額	
28	住宅新築	現年度分	9	3,452,800	1,555,492	0	1,897,308
		滞納分	17	26,247,883	1,739,953	0	24,507,930
		繰上償還	1	1,492,264	1,492,264	0	0
		小計	27	31,192,947	4,787,709	0	26,405,238
	宅地取得	現年度分	3	725,675	614,438	0	111,237
		滞納分	7	7,133,162	247,500	0	6,885,662
		繰上償還	1	1,139,927	1,139,927	0	0
		小計	11	8,998,764	2,001,865	0	6,996,899
	合 計		38	40,191,711	6,789,574	0	33,402,137

2 住宅新築資金等貸付事業に係る町債の償還状況

(単位:円)

年度	種別	元 金	利 子	計
30	住宅新築	1,378,931	94,823	1,473,754
	宅地取得	0	0	0
	計	1,378,931	94,823	1,473,754

年度	種別	元 金	利 子	計
28	住宅新築	3,923,267	387,293	4,310,560
	宅地取得	907,100	78,252	985,352
	計	4,830,367	465,545	5,295,912

年度	種別	元 金	利 子	計
29	住宅新築	3,181,330	179,588	3,360,918
	宅地取得	1,762,200	51,644	1,813,844
	計	4,943,530	231,232	5,174,762

・起債残高

元金	1,376,061 円
利子	50,567 円
計	1,426,628 円

【成果と課題】 住宅新築資金等貸付金債権管理マニュアルをもとに滞納者の個別方針を作成し、効果的な滞納対策を実施する体制を構築した。

会 計 名	予算現額	決算額
下水道事業特別会計	1,475,358千円	1,321,635千円

下水道事業は、下水道法に基づく公共用水域の水質保全を目的とした事業

天神川流域関連公共下水道～昭和59年度事業開始(平成元年度より一部供用開始)

- ・(北条処理区)特定環境保全公共下水道～平成7年度事業着手(平成12年より一部供用開始)
- ・(大栄処理区)特定環境保全公共下水道～平成3年度事業着手(平成8年より一部供用開始)

平成30年度の事業内容は、処理施設の長寿命化工事、管路及び処理施設の維持管理を行った。平成29年度から繰越となっていた鳥取県中部地震による災害復旧関連工事に取り組んだ。

また、経営部門については、特別会計の公営企業会計化(一部適用)に取り組んだ。

平成30年度の決算は、予算現額 1,475,358千円に対し、歳入総額 1,480,287千円、歳出総額 1,321,635千円で、歳入歳出差引残高は 158,652千円であった。なお、この残高は、地方公営企業法が適用されたことに伴い、下水道事業会計に引き継いだ。

1 工事及び委託業務等

- ・ストックマネジメント全体計画作成業務
- ・北条下水道管理センター長寿命化計画に伴う改築工事
- ・大栄浄化センター破砕機改修工事
- ・災害復旧に係る業務
- ・公営企業法適用化助言業務

2 処理場の維持管理

① 北条下水道管理センター関係

- ・汚水処理量 362,346m³ ・汚泥処分量 275.28t

② 大栄浄化センター関係

- ・汚水処理量 748,810m³ ・汚泥処分量 442.94t

③ 維持管理関係

- ・処理場運転管理委託に包括的民間委託の手法(ユーティリティ費用算入)

北条下水道管理センター 16,770千円 前年度 20,376千円(電気料金・薬品費・燃料費等・運転管理委託料)

大栄浄化センター 32,340千円 前年度 32,720千円(" ")

単位:千円

年度	H28	H29	H30
北条下水道管理センター	29,755	26,685	24,120
大栄浄化センター	48,638	52,832	46,261
計	78,393	79,517	70,381

3 処理区の維持管理

単位:m、箇所

処理区	管渠		マンホールポンプ場	
	建設年度	数量	建設年度	数量
天神	S59～H10	13,846	H5	1
北条	H6～H21	68,708	H11～H21	25
大栄	H3～H24	100,622	H7～H24	46
計		183,176		72

単位:千円

年度	H28	H29	H30
天神処理区	20,923	21,390	21,049
北条処理区	9,890	7,769	8,827
大栄処理区	18,859	23,051	18,606
計	49,672	52,210	48,482

4 平成30年度末 整備状況

下水道整備面積	519.6 ha	下水道整備人口	14,533人
管渠延長	183.2km	水洗化人口	13,083人
		水洗化率	90.0%
		普及率	100%

水洗化率の推移

単位：%

年度	H28	H29	H30
天神処理区	98.7	98.9	99.0
北条処理区	86.0	87.8	87.9
大栄処理区	86.0	87.0	88.7
計	88.0	89.1	90.0

【成果】 平成29年度に引き続き実施していた鳥取県中部地震に伴う災害復旧関連工事が全て完了した。処理場等の適切な維持管理に努めることができた。また、公営企業会計化の取り組みにより、平成31年3月31日に下水道事業特別会計を廃止とし、下水道事業会計(一部適用)へ移行した。

【農業集落排水事業特別会計】

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
農業集落排水事業特別会計	15,052千円	14,484千円

北条島地区農業集落排水事業(平成9年5月供用開始)に係る維持管理費
 処理施設～クリーンセンター島

平成30年度の決算は、予算現額15,052千円に対し、歳入総額 14,484千円、歳出総額 14,484千円で、実質収支額は0円であった。

1 平成30年度末 接続戸数 79戸

2 管渠整備 なし

3 維持管理経費

・処理施設維持管理委託料 948千円

・汚泥抜取処分手数料 71.73t 782千円

4 起債償還状況

・H30年度償還額	元金	9,555千円
	利子	2,205千円
	合計	11,760千円

・起債償還終了年度 令和8年度

【成果】 大きな事故もなく、適切な維持管理に努めることができた。

会 計 名	予算現額	決算額
風力発電事業特別会計	468,733千円	383,167千円

風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、平成30年度で14年目を迎えている。
1,500kW／9基 総定格出力 13,500kW

1. 平成30年度決算の状況

平成30年度の決算は、予算現額 4億6,873万3千円に対し、歳入総額4億6,985万4千円、歳出総額 3億8,316万7千円で、歳入歳出差引残額は8,668万円であった。なお、この残額は、地方公営企業法が適用されたことに伴い、風力発電事業会計に引き継いだ。

基金には、132万円を積立し、平成30年度末の残高は、5億7,818万3千円となった。

年度	H28	H29	H30
施設等管理事業費	235,272千円	480,746千円	316,153千円

2. 視察・見学者 524名（17団体）

3. 平成30年度 年間発電量

売電実績 19,022,688kWh

売電収入 421,543千円

(単位:kWh)

月	過去平均 売電電力量 ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量(実績) ③	過去平 均との 比較 ③/①	売電 電力量 達成率 ③/②	予想 平均 風速 m/s	平均 実績 風速 m/s
3	2,553,174	2,850,552	2,832,480	110.9%	99.4%	6.7	6.4
4	2,001,970	1,562,004	1,539,624	76.9%	98.6%	5.2	5.2
5	1,487,006	1,250,883	1,296,360	87.2%	103.6%	4.7	4.8
6	760,384	1,581,444	997,800	131.2%	63.1%	4.9	4.7
7	1,069,172	1,082,403	880,656	82.4%	81.4%	4.3	4.1
8	935,662	1,122,174	579,264	61.9%	51.6%	4.6	4.7
9	1,143,676	1,698,894	1,507,464	131.8%	88.7%	5.1	5.1
10	1,615,200	1,717,281	1,234,104	76.4%	71.9%	5.4	4.9
11	2,043,252	2,156,787	1,221,192	59.8%	56.6%	6.2	5.0
12	2,708,900	2,678,832	2,446,104	90.3%	91.3%	6.7	6.0
1	2,505,586	3,805,380	2,492,376	99.5%	65.5%	7.8	6.4
2	2,432,158	2,425,950	1,995,264	82.0%	82.2%	6.5	5.9
年計	21,256,140	23,932,584	19,022,688	89.5%	79.5%	5.7	5.3

【成果】 風力発電施設を適正に管理運営したうえで、一般会計へ風のまちづくり事業分として、1億5,000万円(平成30年度分7,000万円、風のまちづくり基金分8,000万円)の繰出しを行った。また、令和元年度から地方公営企業法適用の準備を行った。

会 計 名	予算現額	決算額
栄財産区特別会計	4,814千円	861千円

平成30年度の決算は、予算現額4,814千円に対し、歳入総額2,019千円、歳出総額861千円、翌年度へ繰り越すべき財源は924千円で、実質収支額は234千円であった。

管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1 栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内 容
8月20日	5名	平成29年度決算審議
10月22日	4名	台風24号による災害復旧協議(現地確認等)
12月17日	6名	平成30年度補正予算、平成31年度当初予算協議 台風24号による災害復旧協議(工事方法協議)
1月17日	5名	平成30年度補正予算協議 台風24号による災害復旧協議(工事方法決定)

2 事業等の状況

- ・栗林の管理 草刈2回(5/16、8/27)
- ・栗の販売 1本1,000円で販売。30名(33本)が購入

3 災害復旧工事の状況

平成30年9月30日に来襲した台風24号の豪雨により被災した栄財産区管理道の法面の災害復旧工事に着手、平成31年4月に完成した。



工事着手時



完成時

4 財政調整基金の状況

年度	H28	H29	H30
基金残高(千円)	61,833	62,233	62,833

5 財産等の状況

(1) 栄財産区所有地

地 目	面積(m ²)
山 林	375,529
畑 地	55,938
雑種地	1,377
原 野	623
計	433,467

(前年度末に変動なし)



(2) 保安林指定

森林の所在地	面積(m ²)
西高尾字谷奥1798	33,854
同 1788-1	72,560
同 1788-2	20,304
同 1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同 852-1	52,555
同 852-2	15,467
同 852-3	64,794
同 852-313	10,804
同 852-313	6,014
計	363,249

(前年度末に変動なし)

【成果】 区有地の適正管理を行うことができた。また、栗販売の促進を行い、多くの方に「財産区」を知っていただくとともに、自主財源の確保を行うことができた。

【合併処理浄化槽事業特別会計】

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
合併処理浄化槽事業特別会計	7,453千円	7,174千円

事業名 浄化槽市町村整備推進事業

目的 公共下水道処理区域外の地域について生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

全体計画 合併処理浄化槽 (5人槽～21人槽)

事業期間 平成18年度 ～ 平成20年度

対象地域 浄化槽による汚水処理が、経済的・効率的である地域
青木、岩坪、高千穂、及び由良宿3区・下種・松神・田井・北尾・江北浜
東新田場・米里の各一部

平成30年度の決算は、予算現額 7,453千円に対し、歳入総額 7,174千円、歳出総額 7,174千円で、実質収支額は0円であった。

1 整備状況

平成18年度	24	基	
平成19年度	26	基	
平成20年度	2	基	
合 計	52	基	(接続済 51)・・・ 接続率 98%

2 維持管理経費

法定検査手数料(7条・11条)	284千円
保守点検清掃委託料	2,969千円

3 起債償還状況

H30年度償還額	元金	1,812千円	利子	918千円
			計	2,730千円

・起債償還終了年度 令和20年度

【成果】 大きな事故もなく、適切な維持管理に努めることができた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
大栄歴史文化学習館特別会計	125,723千円	121,183千円

「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここに訪れる人々に彼の作品を通じ、青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。

総入館者数 161,309人 (うち有料入館者数 149,014人)

入場料収入 83,693,400円

有料入館者(数)の内訳

種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計
H30	109,257人	9,946人	22,822人	6,989人	149,014人
H29	84,088人	8,069人	17,465人	9,032人	118,654人
H28	70,648人	6,938人	15,104人	7,298人	99,988人
前年比	129.9%	123.3%	130.7%	77.4%	125.6%

誘客活動 県内の道の駅、ホテル・旅館及び土産物店等に割引券を設置し、鳥取県を訪れた観光客の誘客を進めた。併せて、Web割引券の発行及び旅行雑誌・CM等への割引券の掲載により誘客活動を進めた。(優待券利用者数52,513人)

また、下記のイベント実施のほか、神戸市営地下鉄での吊革広告や加西サービスエリア(下り)および宝塚北サービスエリアへの広告掲出、109シネマズ大阪エキスポシティ映画館でのCM放映、旅行雑誌等への広告掲載を行うことで、県内者だけでなく県外者への誘客活動も進めた。

1 イベントの実施

名探偵コナンバースデーメッセージ募集	3/1～4/13
青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集	4/1～5/18
GWイベント	4/28～5/6
名探偵コナン誕生日チケットプレゼント	5/4
先生・キッド誕生日メッセージコーナー設置	6/1～24
すいか・ながいもマラソンポストカードプレゼント・入館者全員100円引き	6/17
青山剛昌先生誕生日記念イベント(アクリルキーホルダープレゼント)	6/21～24
七夕メッセージコーナー設置	6/25～7/9
名探偵コナンイラストコンテスト	7/2～9/14
七夕イベント(マグネット判プレゼント)	7/6～9
暑中見舞いハガキポスト設置	7/21～8/19
コナン通りARラリー	7/21～8/26
夏休みイベント(でんしゃ王国・工作・フリマ・飲食テント等)	8/11～15
青山剛昌ふるさと館入館者100万人達成セレモニー	8/15
入館者100万人達成記念イベント(カプセルボールペンプレゼント)	9/1～10
9月3連休イベント(フリマ・飲食テント・じゃんけん大会、チケットケースプレゼント等)	9/15～17、22～24
BUG in 青山剛昌ふるさと館	10/27、28
ハロウィンイベント	10/27、28
プレミアムマイスター認定クイズ取得者限定イベント(リストバンドプレゼント)	11/1～1/31
名探偵コナン謎解きチャレンジ	11/3～12/2
キャラクターイラスト年賀状募集	11/3～1/7
アニメ聖地88贈呈式	11/3
クリスマスメッセージコーナー設置	12/3～12/25
年賀状ポスト設置	12/1～31
クリスマスイベント(工作・マグネットプレゼント・似顔絵)	12/15、22～24
お正月イベント(缶バッジプレゼント・亜海れい子コンサート)	1/1～4
青山剛昌先生と話そうDAY	1/3
旧正月イベント(缶バッジプレゼント)	2/2～9
VD・WDメッセージコーナー設置	2/9～3/14
VD・WDイベント(缶バッジプレゼント)	2/10～11、3/9～10
Twitter連動企画3万人達成マグネットプレゼント	3/1～31
青山剛昌ふるさと館開館12周年記念イベント	3/16、17、23、24、30、31
青山剛昌ふるさと館入館者100万人達成記念イベント	3/17
青山剛昌ふるさと館年間入館者16万人達成セレモニー	3/31

2 館内展示の入れ替え

青山剛昌名探偵コナン特別原画展第1期～第6期	4/1～3/31 年間を通じて展示
劇場版名探偵コナン「ゼロの執行人」原画展示	4/13展示開始
安室透グッズ展示	10/9～3/3
コナンカフェパネル等展示	10/9～3/3
コナンカフェサイン・グッズ展示	3/4～6/14
館外壁面懸垂幕制作・設置	
阿笠博士オブジェ制作・設置	
「ルーツを探る」コーナー改修	
イベント用屋外テント制作・購入	
エントランス内装飾・貼付	
館内トイレ壁面シート制作・貼付	
「ターボエンジン付スケートボード」展示改修	

【成果】

年間を通じて数多くの集客イベント及び館内展示入れ替えを実施したことにより、有料入館者数は、開館以来過去最高となった。また、入館料および施設使用料の収入増加、基金繰入金の活用等により、平成24年度から始まった一般会計への償還が完了した。

〈一般会計への償還状況〉

一般会計からの繰入金A	平成29年度までの償還額B	平成30年度償還額C	差引(A-B-C)
100,042千円	58,500千円	41,542千円	0円

※平成24～30年度の利息分も含む

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
後期高齢者医療事業特別会計	164,570千円	163,245千円

平成30年度は、歳入総額164,715千円、支出総額163,245千円となり、収支は1,470千円の黒字となった。

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

1 後期高齢者医療保険料の収納状況 (単位:千円・%)

区 分	H28年度		H29年度		H30年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分	101,993	99.7	106,769	99.7	117,108	117,016	99.9
過年度賦課分	-	-	-	-	-	-	-
滞納繰越分	136	50.5	123	29.9	634	346	54.5
計	102,129	99.6	106,892	99.4	117,742	117,362	99.7

2 被保険者数

※ 65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

区 分		平成29年 3月末現在(人)	平成30年 3月末現在(人)	平成31年 3月末現在(人)
被保険者数	65歳～69歳※	3人	3人	6人
	70歳～74歳※	8人	8人	7人
	75歳～79歳	758人	742人	800人
	80歳～84歳	789人	778人	706人
	85歳～89歳	535人	563人	602人
	90歳～94歳	288人	298人	308人
	95歳～99歳	97人	91人	96人
	100歳～	15人	15人	16人
	計	2,493人	2,498人	2,541人

3 療養の給付等の内訳

区 分	H28年度		H29年度		H30年度	
	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	1,220,695	492,216	1,306,238	522,913	1,299,975	511,600
入院外	526,323	212,227	507,543	203,180	548,352	215,801
歯 科	53,689	21,649	52,504	21,018	57,837	22,761
調 剤	357,284	144,066	367,498	147,117	366,532	144,247
食事療養	70,753	28,529	72,840	29,159	65,645	25,834
食事療養歯科					253	99
訪問看護	8,230	3,319	6,775	2,712	10,956	4,312
合 計	2,236,974	902,006	2,313,398	926,100	2,349,550	924,655

【成果】療養の給付等は増加傾向にあり、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図っていく必要がある。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額(税抜)
水道事業会計(収益的支出)	241,900千円	203,076千円

水道事業の概要

給水件数は前年度比20件増の5,898件、給水人口は前年度比1.0ポイント減(152人減の14,960人)。

給水量は前年度比2.1ポイント増(1,513,424^m³)、1日当り平均給水量は4,146^m³、1人1日平均給水量は約0.28^m³。配水量は前年度比2.0ポイント減(1,769,346^m³)。

有収率(配水量に対する給水量の割合)は、前年度比3.4ポイント増の85.5%。

年度	記号等	H28	H29	H30
行政区域人口(人)		15,344	15,196	15,045
給水人口(人)		15,260	15,112	14,960
給水戸数(戸)		5,899	5,878	5,898
配水量(m ³)	①	1,833,778	1,806,095	1,769,346
給水量(m ³)	②	1,504,384	1,482,254	1,513,424
有収率(%)	②/①	82.0	82.1	85.5
1日平均配水量(m ³)		5,024	4,948	4,848

【成果】 安全な水を安心して供給できるよう、水道施設の適切な維持管理等を行った。
老朽管の改良工事を進め、修繕費が減額になるよう努めた。
前年度に引き続き、鳥取県中部地震により被害を受けた施設等の災害復旧を実施し完了した。

○原水及び浄水費 26,091千円

水源地施設の維持管理、水質検査等

- ・水源地動力費(電気代) 19,603千円
- ・薬品費(滅菌消毒薬品代) 1,042千円
- ・修繕費(滅菌器、ポンプ他) 1,436千円
- ・委託料(滅菌設備、水質検査他) 3,647千円

水道施設概要	
取水能力	9,018 ^m ³ /日
水源地	8箇所
貯水量	5,980 ^m ³
配水池	7箇所

○配水及び給水費 18,551千円

水道配水・給水管及び施設の維持管理

- ・修繕費(配水給水管漏水修理等) 12,851千円
- ・委託料(検針) 2,293千円
- ・工事請負費 3,380千円

平均給水量	4,146 ^m ³ /日
-------	------------------------------------

○受託工事費 1,833千円

消火栓修繕等工事にかかる費用

○総係費 17,735千円

職員人件費、水道料金にかかる印刷費、通信費、委託料ほか

○減価償却費、資産減耗費 129,646千円

固定資産にかかる減価償却費、資産除却による減耗費

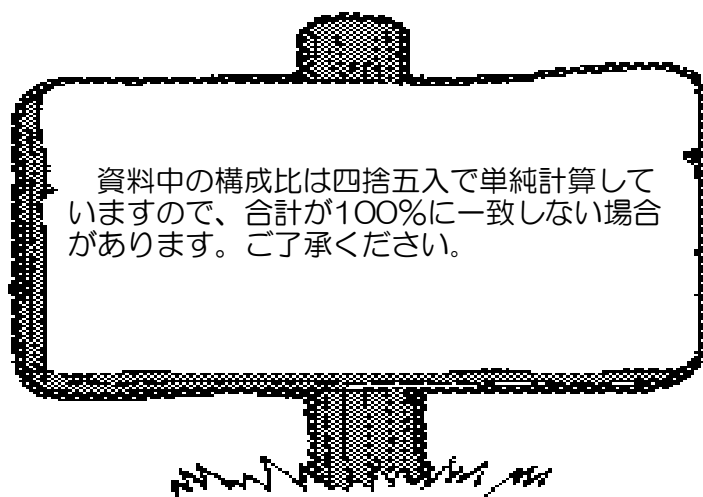
○支払利息及び企業債取扱諸費 19,726千円

企業債利息

○雑支出 986千円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額(税抜)
水道事業会計(資本的支出)	327,876千円	236,568千円
○配水施設等改良費 災害復旧工事や他事業工事に伴う配水管移転ほか	151,926千円	
・工事請負費	138,693千円	
・委託料(設計業務)	4,909千円	
○水道供給整備事業 工事請負費	87千円	
○営業設備費 取替量水器購入等	1,199千円	
○企業債償還金	83,356千円	

資 料 編



平成30年度各会計別決算状況

(単位: 千円)

会 計 名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C) (D)	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額 (D-E) (F)	予算に対する決算額の比率	
					通次繰越	明許繰越	事故繰越		合計(E)	歳入(B/A)
一 般 会 計	9,924,138	9,517,930	9,044,883	473,047	202,204			270,843	95.9	91.1
国民健康保険事業特別会計	1,955,266	1,921,558	1,855,920	65,638			0	65,638	98.3	94.9
介護保険事業特別会計	1,638,323	1,644,561	1,601,779	42,782			0	42,782	100.4	97.8
住宅新築資金等貸付 事業特別会計	34,531	2,354	34,529	△ 32,175			0	△ 32,175	6.8	100.0
下水道事業特別会計	1,475,358	1,480,287	1,321,635	158,652			0	158,652	100.3	89.6
農業集落排水事業特別会計	15,052	14,484	14,484	0			0	0	96.2	96.2
風力発電事業特別会計	468,733	469,854	383,167	86,687	24,407			62,280	100.2	81.7
栄財産区特別会計	4,814	2,019	861	1,158	924			234	41.9	17.9
合併処理浄化槽事業特別会計	7,453	7,174	7,174	0			0	0	96.3	96.3
大栄歴史文化学習館特別会計	125,723	133,328	121,183	12,145			0	12,145	106.0	96.4
後期高齢者医療事業特別会計	164,570	164,714	163,245	1,469			0	1,469	100.1	99.2
合 計	15,813,961	15,358,263	14,548,860	809,403	227,535	0	227,535	581,868	97.1	92.0

平成30年度一般会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町税	1,422,971	15.0	1,410,907	13.9	12,064	0.9
2 地方譲与税	88,012	0.9	87,380	0.9	632	0.7
3 利子割交付金	3,572	0.0	3,676	0.0	△ 104	△ 2.8
4 配当割交付金	5,066	0.1	6,722	0.1	△ 1,656	△ 24.6
5 株式等譲渡所得割交付金	3,966	0.0	7,314	0.1	△ 3,348	△ 45.8
6 地方消費税交付金	252,143	2.6	242,487	2.4	9,656	4.0
7 自動車取得税交付金	23,843	0.3	24,789	0.2	△ 946	△ 3.8
8 地方特例交付金	5,955	0.1	5,248	0.1	707	13.5
9 地方交付税	3,665,418	38.5	3,770,609	37.2	△ 105,191	△ 2.8
10 交通安全対策特別交付金	1,991	0.0	2,090	0.0	△ 99	△ 4.7
11 分担金及び負担金	62,379	0.7	84,519	0.8	△ 22,140	△ 26.2
12 使用料及び手数料	37,204	0.4	37,310	0.4	△ 106	△ 0.3
13 国庫支出金	872,827	9.2	1,209,757	11.9	△ 336,930	△ 27.9
14 県支出金	853,140	9.0	1,028,227	10.1	△ 175,087	△ 17.0
15 財産収入	96,585	1.0	37,516	0.4	59,069	157.5
16 寄付金	193,302	2.0	355,354	3.5	△ 162,052	△ 45.6
17 繰入金	383,435	4.0	434,147	4.3	△ 50,712	△ 11.7
18 繰越金	513,734	5.4	688,204	6.8	△ 174,470	△ 25.4
19 諸収入	234,087	2.5	184,550	1.8	49,537	26.8
20 町債	798,300	8.4	525,717	5.2	272,583	51.8
歳入合計	9,517,930	100.0	10,146,523	100.0	△ 628,593	△ 6.2

※引き上げ分の地方消費税収(114,503千円)は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	100,170	1.1	101,294	1.1	△ 1,124	△ 1.1
2 総務費	1,368,342	15.1	1,647,123	17.1	△ 278,781	△ 16.9
3 民生費	2,375,547	26.3	2,497,621	25.9	△ 122,074	△ 4.9
4 衛生費	586,622	6.5	566,249	5.9	20,373	3.6
5 農林水産業費	694,833	7.7	705,264	7.3	△ 10,431	△ 1.5
6 商工費	200,315	2.2	259,111	2.7	△ 58,796	△ 22.7
7 土木費	1,466,151	16.2	1,631,982	16.9	△ 165,831	△ 10.2
8 消防費	252,993	2.8	243,007	2.5	9,986	4.1
9 教育費	988,466	10.9	778,152	8.1	210,314	27.0
10 公債費	966,724	10.7	979,067	10.2	△ 12,343	△ 1.3
11 災害復旧費	44,720	0.5	223,919	2.3	△ 179,199	△ 80.0
歳出合計	9,044,883	100.0	9,632,789	100.0	△ 587,906	△ 6.1

平成30年度国民健康保険事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 国民健康保険税	459,185	23.9	454,448	20.7	4,737	1.0
2 国庫支出金	0	0.0	406,695	18.5	△ 406,695	皆減
3 療養給付費等交付金	0	0.0	46,334	2.1	△ 46,334	皆減
4 前期高齢者交付金	0	0.0	548,067	24.9	△ 548,067	皆減
5 県支出金	1,297,621	67.5	87,073	4.0	1,210,548	1390.3
6 共同事業交付金	0	0.0	459,604	20.9	△ 459,604	皆減
7 繰入金	126,210	6.6	139,240	6.3	△ 13,030	△ 9.4
8 諸収入	4,474	0.2	7,024	0.3	△ 2,550	△ 36.3
9 繰越金	34,068	1.8	50,155	2.3	△ 16,087	△ 32.1
歳入合計	1,921,558	100.0	2,198,640	100.0	△ 277,082	△ 12.6

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	10,968	0.6	83,481	3.9	△ 72,513	△ 86.9
2 保険給付費	1,277,308	68.8	1,253,950	57.9	23,358	1.9
3 後期高齢者支援金等	0	0.0	237,236	11.0	△ 237,236	皆減
4 前期高齢者納付金等	0	0.0	863	0.0	△ 863	皆減
5 老人保健拠出金	0	0.0	5	0.0	△ 5	皆減
6 介護納付金	0	0.0	96,493	4.5	△ 96,493	皆減
7 共同事業拠出金	1	0.0	463,060	21.4	△ 463,059	△ 100.0
8 保健事業費	20,529	1.1	15,038	0.7	5,491	36.5
9 諸支出金	36,958	2.0	14,446	0.7	22,512	155.8
10 国民健康保険事業納付金	510,156	27.5	0	0.0	510,156	皆増
歳出合計	1,855,920	100.0	2,164,572	100.0	△ 308,652	△ 14.3

平成30年度介護保険事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 介護保険料	361,653	22.0	348,578	21.2	13,075	3.8
2 使用料及び手数料	972	0.1	1,216	0.1	△ 244	△ 20.1
3 国庫支出金	372,372	22.6	355,292	21.6	17,080	4.8
4 支払基金交付金	416,791	25.3	422,529	25.7	△ 5,738	△ 1.4
5 県支出金	226,112	13.7	222,237	13.5	3,875	1.7
6 財産収入	6	0.0	9	0.0	△ 3	△ 33.3
7 繰入金	207,754	12.6	200,211	12.2	7,543	3.8
8 繰越金	53,598	3.3	88,047	5.4	△ 34,449	△ 39.1
9 諸収入	5,303	0.3	4,678	0.3	625	13.4
歳入合計	1,644,561	100.0	1,642,797	100.0	1,764	0.1

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	26,547	1.7	25,090	1.6	1,457	5.8
2 保険給付費	1,470,856	91.8	1,423,878	89.6	46,978	3.3
3 地域支援事業費	56,387	3.5	51,563	3.2	4,824	9.4
4 積立金	19,018	1.2	22,008	1.4	△ 2,990	△ 13.6
5 諸支出金	28,971	1.8	66,660	4.2	△ 37,689	△ 56.5
歳出合計	1,601,779	100.0	1,589,199	100.0	12,580	0.8

平成30年度住宅新築資金等貸付事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 県支出金	34	1.4	34	1.1	0	0.0
2 財産収入	2	0.1	5	0.2	△ 3	△ 60.0
3 繰入金	12	0.5	279	9.2	△ 267	△ 95.7
4 諸収入	2,306	98.0	2,703	89.5	△ 397	△ 14.7
歳入合計	2,354	100.0	3,021	100.0	△ 667	△ 22.1

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 資金貸付事業費	46	0.1	46	0.1	0	0.0
2 諸支出金	34	0.1	5	0.0	29	580.0
3 公債費	1,474	4.3	5,175	14.4	△ 3,701	△ 71.5
4 前年度繰上充用金	32,975	95.5	30,770	85.5	2,205	7.2
歳出合計	34,529	100.0	35,996	100.0	△ 1,467	△ 4.1

平成30年度下水道事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 分担金及び負担金	2,688	0.2	3,268	0.2	△ 580	△ 17.7
2 使用料及び手数料	277,005	18.7	248,308	18.6	28,697	11.6
3 国庫支出金	117,871	8.0	67,915	5.1	49,956	73.6
4 繰入金	964,148	65.1	840,216	63.0	123,932	14.8
5 諸収入	1,355	0.1	8,485	0.6	△ 7,130	△ 84.0
6 町債	72,200	4.9	149,100	11.2	△ 76,900	△ 51.6
7 繰越金	45,020	3.0	17,039	1.3	27,981	164.2
歳入合計	1,480,287	100.0	1,334,331	100.0	145,956	10.9

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 下水道費	260,327	19.7	266,070	19.5	△ 5,743	△ 2.2
2 公債費	875,395	66.2	916,816	67.1	△ 41,421	△ 4.5
3 災害復旧費	85,199	6.4	156,326	11.4	△ 71,127	△ 45.5
4 諸支出金	23,516	1.8	27,298	2.0	△ 3,782	△ 13.9
7 前年度繰上充用金	77,199	5.8	0	0.0	77,199	皆減
歳出合計	1,321,636	100.0	1,366,510	100.0	△ 44,874	△ 3.3

平成30年度農業集落排水事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料及び手数料	4,314	29.8	3,872	25.2	442	11.4
2 繰入金	10,170	70.2	11,498	74.8	△ 1,328	△ 11.5
歳入合計	14,484	100.0	15,370	100.0	△ 886	△ 5.8

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 事業費	2,724	18.8	2,718	17.7	6	0.2
2 公債費	11,760	81.2	12,652	82.3	△ 892	△ 7.1
歳出合計	14,484	100.0	15,370	100.0	△ 886	△ 5.8

平成30年度風力発電事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 売電収入	421,543	89.7	461,286	67.3	△ 39,743	△ 8.6
2 諸収入	3,334	0.7	47,569	6.9	△ 44,235	△ 93.0
3 財産収入	1,318	0.3	113	0.0	1,205	1066.4
4 繰越金	43,660	9.3	176,586	25.8	△ 132,926	△ 75.3
歳入合計	469,855	100.0	685,554	100.0	△ 215,699	△ 31.5

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	322,611	84.2	486,972	75.9	△ 164,361	△ 33.8
2 公債費	60,556	15.8	154,922	24.1	△ 94,366	△ 60.9
歳出合計	383,167	100.0	641,894	100.0	△ 258,727	△ 40.3

平成30年度栄財産区特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 財産収入	1,800	89.2	524	68.4	1,276	243.5
2 繰越金	219	10.8	242	31.6	△ 23	△ 9.5
歳入合計	2,019	100.0	766	100.0	1,253	163.6

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	861	100.0	547	100.0	314	57.4
歳出合計	861	100.0	547	100.0	314	57.4

平成30年度合併処理浄化槽事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料及び手数料	2,735	38.1	2,351	34.1	384	16.3
2 繰入金	4,089	57.0	4,534	65.9	△ 445	△ 9.8
7 繰越金	350	4.9	0	0.0	350	皆増
歳入合計	7,174	100.0	6,885	100.0	289	4.2

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 浄化槽費	4,444	61.9	3,805	58.2	639	16.8
2 公債費	2,730	38.1	2,730	41.8	0	0.0
歳出合計	7,174	100.0	6,535	100.0	639	9.8

平成30年度大栄歴史文化学習館特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 使用料	97,159	72.9	75,467	70.3	21,692	28.7
2 諸収入	791	0.6	391	0.4	400	102.3
3 繰入金	20,193	15.1	13,619	12.7	6,574	48.3
4 財産収入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
5 繰越金	15,183	11.4	17,882	16.7	△ 2,699	△ 15.1
歳入合計	133,328	100.0	107,361	100.0	25,967	24.2

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	121,183	100.0	92,178	100.0	29,005	31.5
歳出合計	121,183	100.0	92,178	100.0	29,005	31.5

平成30年度後期高齢者医療事業特別会計

(歳入)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 後期高齢者医療保険料	117,362	71.3	106,892	69.8	10,470	9.8
2 繰入金	43,770	26.6	43,308	28.3	462	1.1
3 繰越金	180	0.1	141	0.1	39	27.7
4 諸収入	2,571	1.6	2,868	1.9	△ 297	△ 10.4
5 国庫支出金	831	0.5	0	0.0	831	皆増
歳入合計	164,714	100.0	153,209	100.0	11,505	7.5

(歳出)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 総務費	2,772	1.7	1,858	1.2	914	49.2
2 健診事業費	2,745	1.7	2,725	1.8	20	0.7
3 後期高齢者医療広域連合納付金	157,723	96.6	148,096	96.8	9,627	6.5
4 諸支出金	5	0.0	350	0.2	△ 350	△ 98.6
歳出合計	163,245	100.0	153,029	100.0	10,216	6.7

平成30年度普通会計決算状況

この後の資料は総務省が毎年実施している地方財政状況調査（決算統計）をもとにしています。

普通会計とは・・・

一般会計に企業会計以外の特別会計を合算したもので、決算統計で地方公共団体相互間の比較や時系列比較が可能となるように求めたものです。

北栄町の場合、一般会計及び住宅新築資金等貸付事業特別会計を合算したものです。

歳入

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町税	1,422,971	15.0	1,410,907	14.0	12,064	0.9
2 地方譲与税	88,012	0.9	87,380	0.9	632	0.7
3 利子割交付金	3,572	0.0	3,676	0.0	△ 104	△ 2.8
4 配当割交付金	5,066	0.1	6,722	0.1	△ 1,656	△ 24.6
5 株式等譲渡所得割交付金	3,966	0.0	7,314	0.1	△ 3,348	△ 45.8
6 地方消費税交付金	252,143	2.7	242,487	2.4	9,656	4.0
7 自動車取得税交付金	23,843	0.3	24,789	0.2	△ 946	△ 3.8
8 地方特例交付金	5,955	0.1	5,248	0.1	707	13.5
9 地方交付税	3,665,418	38.7	3,770,609	37.3	△ 105,191	△ 2.8
10 交通安全対策特別交付金	1,991	0.0	2,090	0.0	△ 99	△ 4.7
11 分担金及び負担金	10,519	0.1	15,665	0.2	△ 5,146	△ 32.9
12 使用料及び手数料	96,945	1.0	117,757	1.2	△ 20,812	△ 17.7
13 国庫支出金	872,844	9.2	1,209,888	12.0	△ 337,044	△ 27.9
14 県支出金	853,175	9.0	1,028,261	10.2	△ 175,086	△ 17.0
15 財産収入	96,587	1.0	37,425	0.4	59,162	158.1
16 寄附金	193,302	2.0	355,354	3.5	△ 162,052	△ 45.6
17 繰入金	383,435	4.0	434,510	4.3	△ 51,075	△ 11.8
18 繰越金	480,759	5.1	657,433	6.5	△ 176,674	△ 26.9
19 諸収入	221,917	2.3	169,741	1.7	52,176	30.7
20 町債	798,300	8.4	525,717	5.2	272,583	51.8
歳入合計	9,480,720	100.0	10,112,973	100.0	△ 632,253	△ 6.3

歳入(自主・依存財源別)

(単位:千円、%)

区分	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 自主財源	2,906,435	30.7	3,198,792	31.6	△ 292,357	△ 9.1
町税	1,422,971	15.0	1,410,907	14.0	12,064	0.9
諸収入	221,917	2.3	169,741	1.7	52,176	30.7
使用料及び手数料	96,945	1.0	117,757	1.2	△ 20,812	△ 17.7
繰越金	480,759	5.1	657,433	6.5	△ 176,674	△ 26.9
財産収入	96,587	1.0	37,425	0.4	59,162	158.1
繰入金	383,435	4.0	434,510	4.3	△ 51,075	△ 11.8
分担金及び負担金	10,519	0.1	15,665	0.2	△ 5,146	△ 32.9
寄附金	193,302	2.0	355,354	3.5	△ 162,052	△ 45.6
2 依存財源	6,574,285	69.3	6,914,181	68.4	△ 339,896	△ 4.9
地方交付税	3,665,418	38.7	3,770,609	37.3	△ 105,191	△ 2.8
県支出金	853,175	9.0	1,028,261	10.2	△ 175,086	△ 17.0
町債	798,300	8.4	525,717	5.2	272,583	51.8
国庫支出金	872,844	9.2	1,209,888	12.0	△ 337,044	△ 27.9
地方譲与税	88,012	0.9	87,380	0.9	632	0.7
地方消費税交付金	252,143	2.7	242,487	2.4	9,656	4.0
自動車取得税交付金	23,843	0.3	24,789	0.2	△ 946	△ 3.8
地方特例交付金	5,955	0.1	5,248	0.1	707	13.5
利子割交付金	3,572	0.0	3,676	0.0	△ 104	△ 2.8
株式等譲渡所得割交付金	3,966	0.0	7,314	0.1	△ 3,348	△ 45.8
配当割交付金	5,066	0.1	6,722	0.1	△ 1,656	△ 24.6
交通安全対策特別交付金	1,991	0.0	2,090	0.0	△ 99	△ 4.7
歳入合計	9,480,720	100.0	10,112,973	100.0	△ 632,253	△ 6.3

歳入(町税等明細書)

(単位:千円、%)

区分	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 町民税	618,062	43.4	597,393	42.3	20,669	3.5
(1)個人	556,542	39.1	537,225	38.1	19,317	3.6
1 現年課税分	554,799	39.0	534,063	37.9	20,736	3.9
2 滞納繰越分	1,743	0.1	3,162	0.2	△ 1,419	△ 44.9
(2)法人	61,520	4.3	60,168	4.3	1,352	2.2
1 現年課税分	61,420	4.3	60,121	4.3	1,299	2.2
2 滞納繰越分	100	0.0	47	0.0	53	112.8
2 固定資産税	651,689	50.8	660,920	50.8	△ 9,231	△ 1.4
(1)固定資産税	651,350	45.8	660,567	46.8	△ 9,217	△ 1.4
1 現年課税分	648,318	45.6	656,345	46.5	△ 8,027	△ 1.2
2 滞納繰越分	3,032	0.2	4,222	0.3	△ 1,190	△ 28.2
(2)交納付金	339	0.0	353	0.0	△ 14	△ 4.0
1 現年課税分	339	0.0	353	0.0	△ 14	△ 4.0
3 軽自動車税	60,456	4.2	58,936	4.2	1,520	2.6
1 現年課税分	60,222	4.2	58,598	4.2	1,624	2.8
2 滞納繰越分	234	0.0	338	0.0	△ 104	△ 30.8
4 町たばこ税	92,764	6.5	93,658	6.6	△ 894	△ 1.0
1 現年課税分	92,764	6.5	93,658	6.6	△ 894	△ 1.0
合 計	1,422,971	100.0	1,410,907	100.0	12,064	0.9

国民健康保険税	459,185	100.0	454,448	100.0	4,737	1.0
1 現年課税分	453,261	98.7	443,813	97.7	9,448	2.1
2 滞納繰越分	5,924	1.3	10,635	2.3	△ 4,711	△ 44.3

歳出(目的別)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	100,050	1.1	101,174	1.1	△ 1,124	△ 1.1
2 総務費	1,357,939	15.0	1,636,735	17.0	△ 278,796	△ 17.0
3 民生費	2,629,655	29.1	2,749,816	28.5	△ 120,161	△ 4.4
4 衛生費	348,466	3.9	331,605	3.4	16,861	5.1
5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	-
6 農林水産業費	693,003	7.7	703,610	7.3	△ 10,607	△ 1.5
7 商工費	177,629	2.0	236,709	2.5	△ 59,080	△ 25.0
8 土木費	1,496,374	16.6	1,659,507	17.2	△ 163,133	△ 9.8
9 消防費	252,913	2.8	243,007	2.5	9,906	4.1
10 教育費	970,900	10.7	761,889	7.9	209,011	27.4
11 公債費	968,198	10.7	984,243	10.2	△ 16,045	△ 1.6
12 災害復旧費	44,720	0.5	223,919	2.3	△ 179,199	△ 80.0
歳出合計	9,039,847	100.0	9,632,214	100.0	△ 592,367	△ 6.1

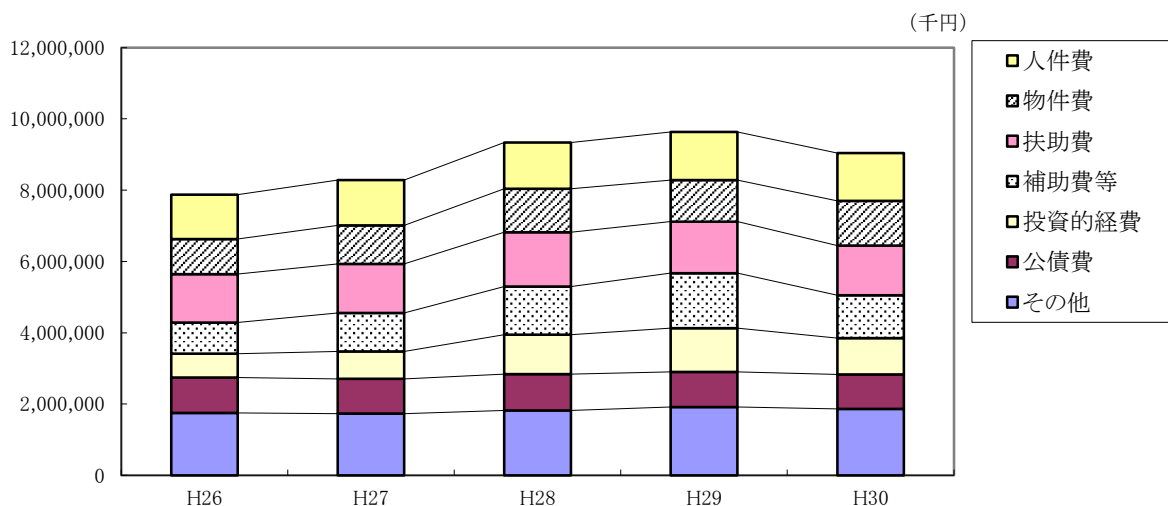
歳出(性質別)

(単位:千円、%)

款	平成30年度決算額		平成29年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 人件費	1,344,504	14.9	1,350,103	14.0	△ 5,599	△ 0.4
2 物件費	1,246,669	13.8	1,162,642	12.1	84,027	7.2
3 維持補修費	30,630	0.3	48,543	0.5	△ 17,913	△ 36.9
4 扶助費	1,394,611	15.4	1,444,926	15.0	△ 50,315	△ 3.5
5 補助費等	1,204,653	13.3	1,544,589	16.0	△ 339,936	△ 22.0
6 普通建設事業費	969,657	10.7	1,002,666	10.4	△ 33,009	△ 3.3
7 災害復旧費	44,720	0.5	223,919	2.3	△ 179,199	△ 80.0
8 公債費	968,198	10.7	984,243	10.2	△ 16,045	△ 1.6
9 積立金	309,080	3.4	397,660	4.1	△ 88,580	△ 22.3
10 投資及び出資金	0	0.0	3,000	0.0	△ 3,000	△ 100.0
11 貸付金	14,851	0.2	12,801	0.1	2,050	16.0
12 繰出金	1,512,274	16.7	1,457,122	15.1	55,152	3.8
歳出合計	9,039,847	100.0	9,632,214	100.0	△ 592,367	△ 6.1

財政状況・財政指標の推移

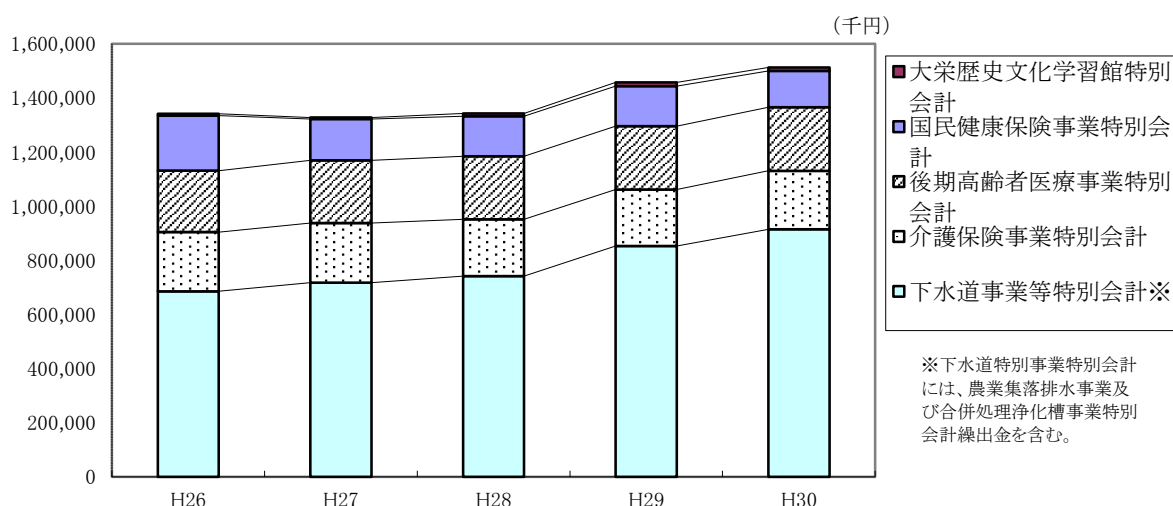
◆主な性質別歳出の推移



(単位:千円)

区分	H26	H27	H28	H29	H30
人件費	1,243,637	1,268,753	1,293,592	1,350,103	1,344,504
物件費	982,564	1,080,596	1,219,544	1,162,642	1,246,669
扶助費	1,358,903	1,382,997	1,524,245	1,444,926	1,394,611
補助費等	876,362	1,078,588	1,352,328	1,544,589	1,204,653
投資的経費	671,444	767,430	1,105,566	1,226,585	1,014,377
公債費	985,866	974,723	1,019,878	984,243	968,198
その他	1,755,806	1,731,296	1,819,020	1,919,126	1,866,835
合計	7,874,582	8,284,383	9,334,173	9,632,214	9,039,847

◆繰出金の推移



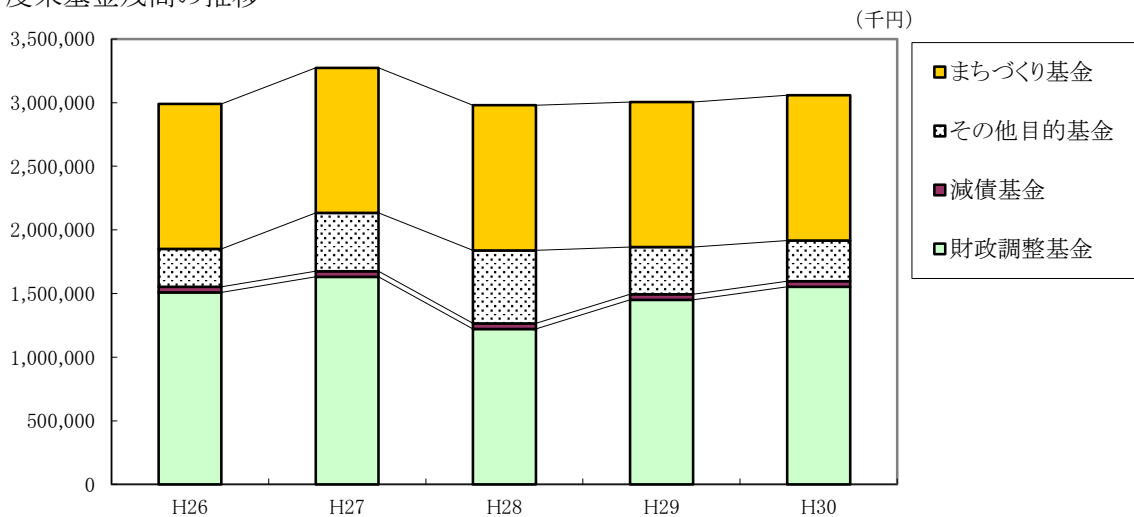
※下水道特別事業特別会計には、農業集落排水事業及び合併処理浄化槽事業特別会計繰出金を含む。

(単位:千円)

区分	H26	H27	H28	H29	H30
国民健康保険事業特別会計	204,085	152,213	147,806	148,089	134,117
後期高齢者医療事業特別会計	226,936	232,479	233,159	234,233	234,429
介護保険事業特別会計	218,157	219,707	209,819	208,812	216,479
下水道事業等特別会計※	685,705	717,434	741,379	852,370	914,317
大栄歴史文化学習館特別会計	6,571	5,343	9,927	13,618	12,932
合計	1,341,454	1,327,176	1,342,090	1,457,122	1,512,274

※1 下水道事業、農業集落排水事業、合併浄化槽事業各特別会計の合計

◆年度末基金残高の推移

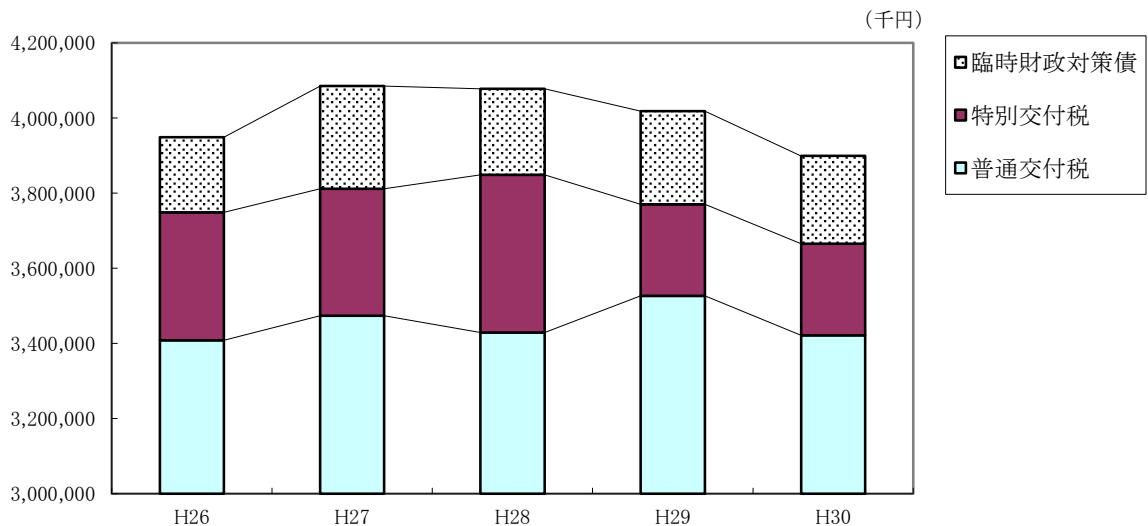


(単位:千円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30
財 政 調 整 基 金	1,508,722	1,631,547	1,221,853	1,450,063	1,551,691
減 債 基 金	43,953	43,987	44,023	44,036	44,049
そ の 他 目 的 基 金	297,149	458,199	573,593	370,044	321,750
ま ち づ くり 基 金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
合 計	2,989,824	3,273,733	2,979,469	3,004,143	3,057,490

※目標とする積立規模＝財政調整基金＋減債基金で10億円

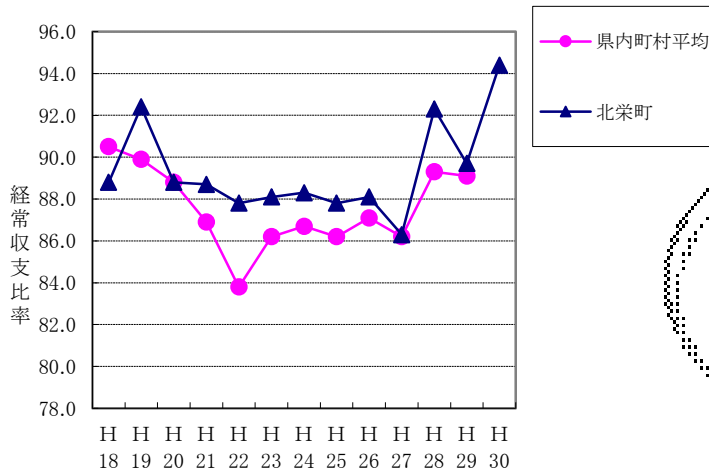
◆地方交付税・臨時財政対策債(借入額)の推移



(単位:千円)

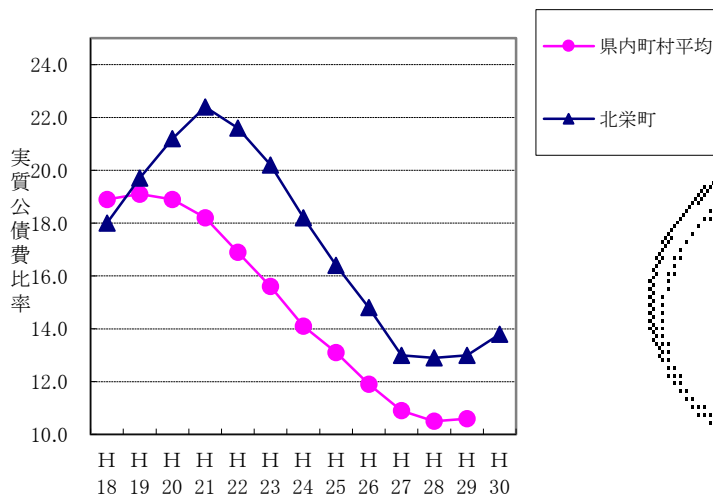
区 分	H26	H27	H28	H29	H30
臨 時 財 政 対 策 債	200,000	273,000	229,448	247,517	233,500
特 別 交 付 税	340,254	338,027	419,463	243,909	244,128
普 通 交 付 税	3,408,401	3,473,932	3,429,190	3,526,700	3,421,290
合 計	3,948,655	4,084,959	4,078,101	4,018,126	3,898,918

◆ 経常収支比率の推移



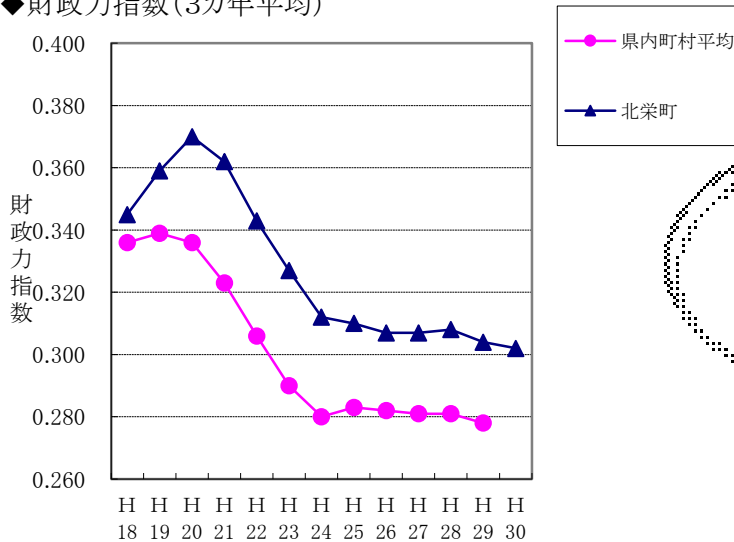
経常収支比率
 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合。

◆ 実質公債費比率(3カ年平均)



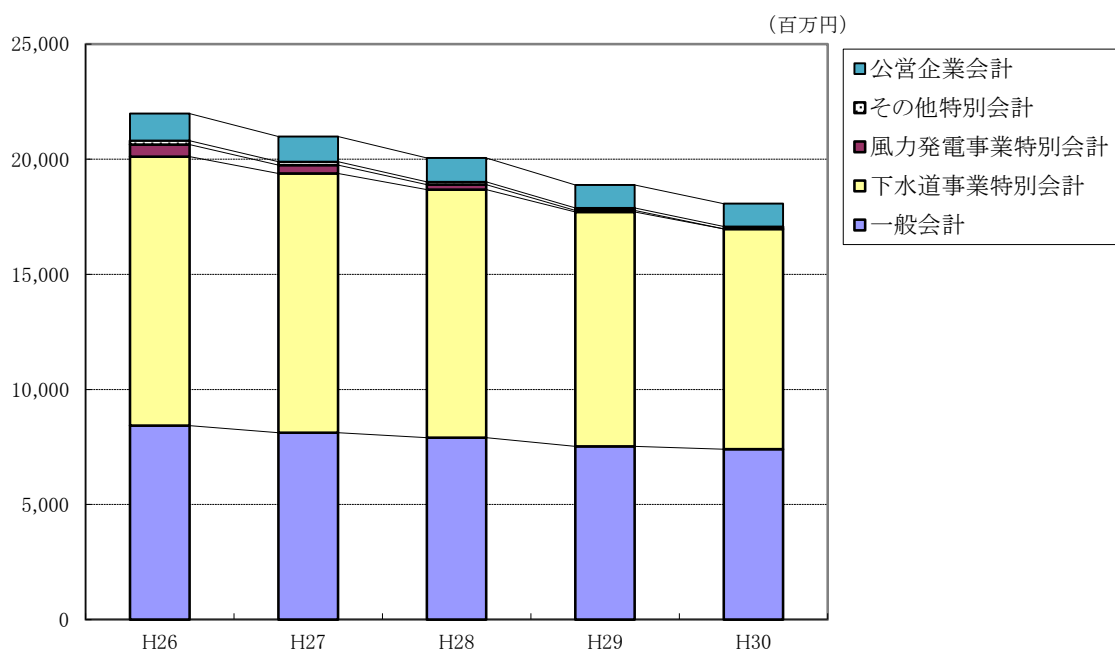
実質公債費比率
 地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰入金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額に充当されたものの占める割合の過去3年度平均値。地方債協議制度の下で、18%以上の団体は、地方債の発行に際し許可が必要となる。

◆ 財政力指数(3カ年平均)



財政力指数
 地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年度平均値。
 財政力指数が高いほど財源に余裕があるといえる。

◆会計別年度末起債残高



(単位:百万円)

会計名	H26	H27	H28	H29	H30
一般会計	8,428	8,127	7,904	7,522	7,404
下水道事業特別会計	11,687	11,248	10,773	10,191	9,570
風力発電事業特別会計	522	368	214	60	0
その他特別会計	168	150	133	116	104
住宅新築資金等貸付事業特別会計	19	13	8	3	2
農業集落排水事業特別会計	101	90	80	70	60
介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	48	47	45	43	42
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公営企業会計	1,178	1,089	1,035	990	989
水道事業会計	1,178	1,089	1,035	990	989
合計	21,983	20,982	20,059	18,879	18,067

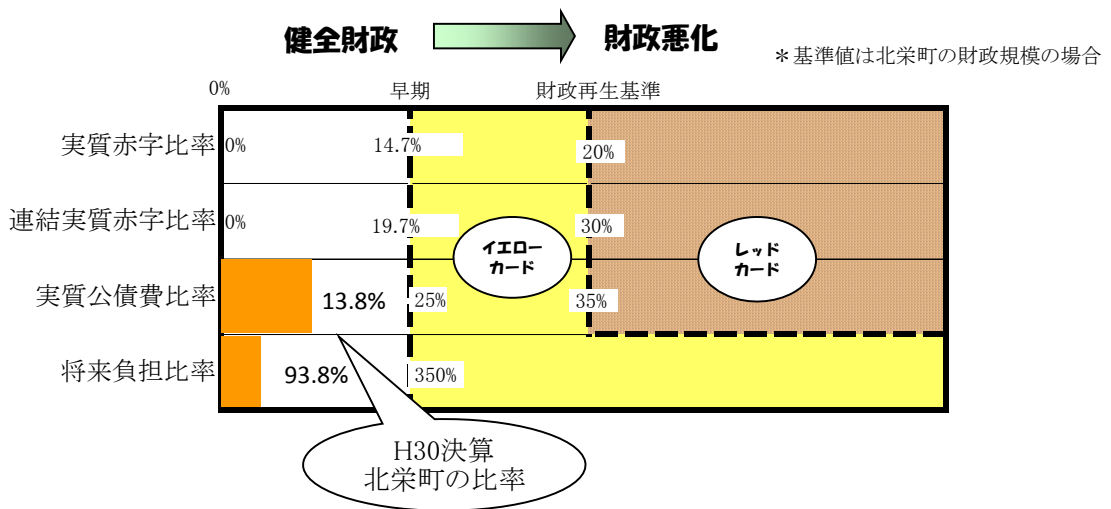
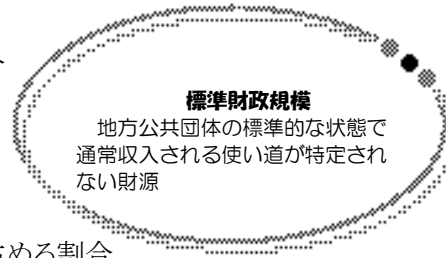
※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。(下水道事業特別会計、風力発電事業特別会計は公営企業会計への移行によりH30は3月末時点。)

※ 公営企業会計は3月末時点。

財政健全化判断比率

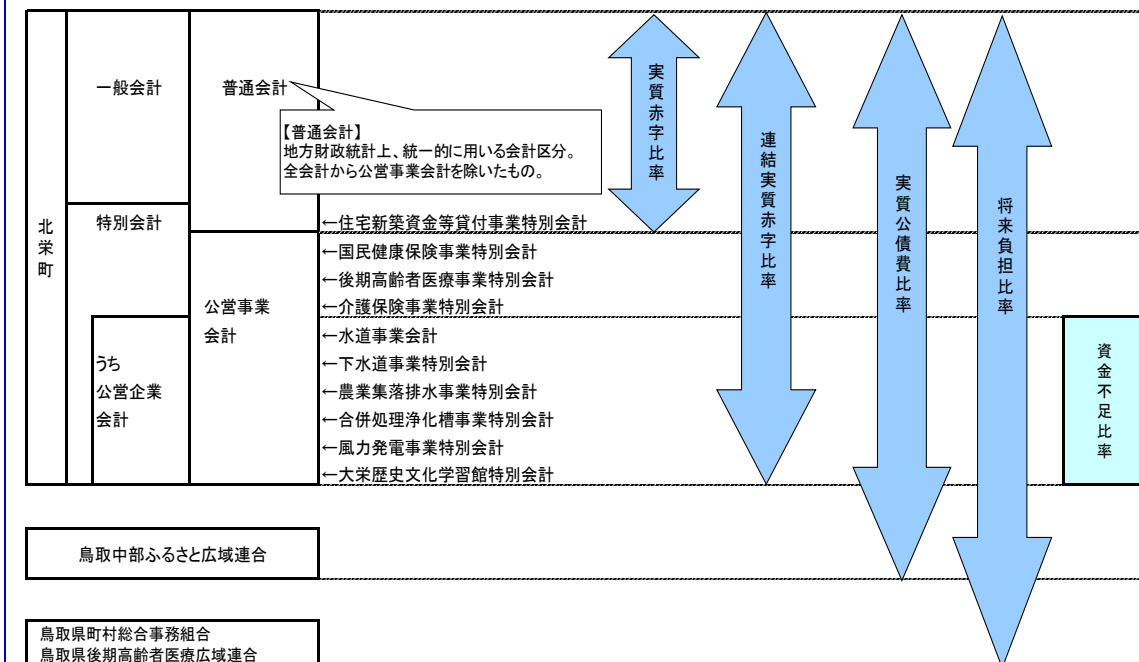
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」が平成19年6月に公布され、総務省から財政健全化の基準が示されました。

- ◆実質赤字比率
普通会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- ◆連結実質赤字比率
全会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- ◆実質公債費比率
一般会計等が負担する公債費が標準財政規模に占める割合
- ◆将来負担比率
一般会計等が将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合



いずれかの早期健全化基準を超えると『早期健全化団体』となり、さらに財政再生基準を超えると『財政再生団体』となります。

◎健全化判断比率の対象について



地方債の状況

(単位:千円)

区 分	平成29年度末 現在高	平成30年度 発行額	平成30年度 元金償還額	平成30年度末 現在高
一般会計債	7,522,021	798,300	915,851	7,404,470
1. 普通債	4,458,515	535,100	655,536	4,338,079
(1) 総務	1,554,100	45,700	253,527	1,346,273
(2) 民生	487,672	0	60,374	427,298
(3) 衛生	668,663	0	44,274	624,389
(4) 農林水産	208,187	0	84,775	123,412
(5) 土木	385,821	260,200	35,258	610,763
(6) 消防	14,681	0	11,940	2,741
(7) 教育	1,139,391	229,200	165,388	1,203,203
2. 災害復旧	141,300	29,700	12,348	158,652
(1) 農林水産	0	0	0	0
(2) 土木	141,300	29,700	12,348	158,652
3. その他	2,922,206	233,500	247,967	2,907,739
(1) 減収補てん債	0	0	0	0
(2) 臨時財政対策債	2,875,941	233,500	233,800	2,875,641
(3) 減税補てん債	46,265	0	14,167	32,098
(4) 臨時税収補てん債	0	0	0	0
住宅新築資金等貸付 事業特別会計債	2,755	0	1,379	1,376
下水道事業特別会計債	10,190,424	72,200	692,952	9,569,672
農業集落排水事業特別会計債	69,963	0	9,555	60,408
風力発電事業特別会計債	60,400	0	60,400	0
合併処理浄化槽事業特別会計債	43,281	0	1,812	41,469
水道事業会計債	989,696	82,400	83,356	988,740
合 計	18,878,540	952,900	1,765,305	18,066,135



北栄町役場

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1

電話番号: 0858-37-3111 FAX番号: 0858-37-5339

北条支所 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1

電話番号: 0858-36-3111 FAX番号: 0858-36-4595